

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

医療需給総覧

version

1.0

地域分析

千葉県 | 東葛南部医療圏

(医療圏コード：1202)

目次

1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

1/ 地域の概況

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

千葉県 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場合に見直しの検討が必要とされています。

二次医療圏	人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	可住地面積割合 (%)
千葉	974,951	271.77	3,587.4	79%
東葛南部	1,796,572	253.81	7,078.4	95%
東葛北部	1,407,697	358.14	3,930.6	93%
印旛	718,337	691.66	1,038.6	81%
香取海匝	262,351	717.47	365.7	83%
山武長生夷隅	410,235	1,161.73	353.1	65%
安房	120,093	576.50	208.3	45%
君津	324,720	758.19	428.3	48%
市原	269,524	368.17	732.1	63%
千葉県 計	6,284,480	5,157.44	1,218.5	69%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

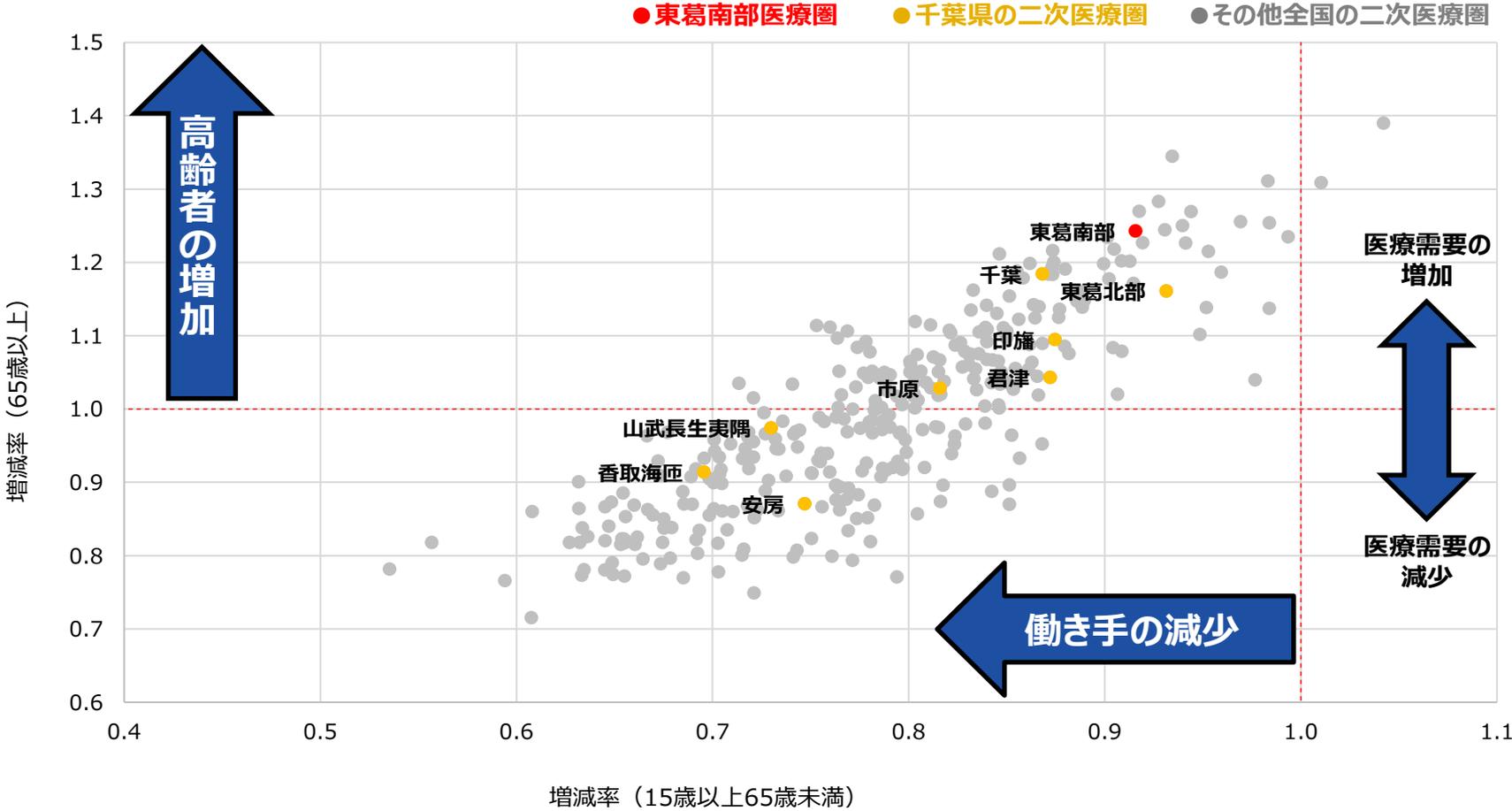
* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの

出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局)2020年度

千葉県 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)

東葛南部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

東葛南部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	順天堂大学医学部附属浦安病院	浦安市	55	730				785
2	東京歯科大学市川総合病院	市川市	384	127				511
3	東京女子医科大学附属八千代医療センター	八千代市	70	375			55	500
4	船橋市立医療センター	船橋市	429	20				449
5	千葉徳洲会病院	船橋市	12	333	102			447
6	済生会習志野病院	習志野市	96	234			70	400
7	JCHO船橋中央病院	船橋市	129	210	34		22	395
8	東京ベイ・浦安市川医療センター	浦安市	75	265				340
9	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	鎌ヶ谷市	68	223	40			331
10	初富保健病院	鎌ヶ谷市			60	260		320
11	セントマーガレット病院	八千代市		60		180	75	315
12	津田沼中央総合病院	習志野市	8	198	108			314
13	行徳総合病院	市川市	28	234	45			307
14	船橋二和病院	船橋市	5	136	83	47	28	299
15	新八千代病院	八千代市			151	144		295
16	セコムメディック病院	船橋市	7	200	85			292
17	国立国際医療研究センター 国府台病院	市川市	4	273				277
18	島田台総合病院	八千代市		95		180		275
19	谷津保健病院	習志野市		161	70	43		274
20	船橋総合病院	船橋市		150	46	50		246
21	八千代リハビリテーション病院	八千代市			240			240
22	国際医療福祉大学市川病院	市川市		128	43	44		215
23	船橋市立リハビリテーション病院	船橋市			200			200
24	タムス浦安病院	浦安市			178	21		199
25	一条会病院	市川市		140		59		199
26	大野中央病院	市川市		108	89			197
27	習志野第一病院	習志野市		144	39			183
28	東京湾岸リハビリテーション病院	習志野市			160			160
29	勝田台病院	八千代市		100		48		148
30	北習志野花輪病院	船橋市		56		91		147

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	市川東病院	市川市		49	54	25		128
32	東船橋病院	船橋市	3	45	52		28	128
33	第2北総病院	鎌ヶ谷市				120		120
34	東邦鎌谷病院	鎌ヶ谷市		60	60			120
35	船橋整形外科病院	船橋市		106				106
36	タムス市川リハビリテーション病院	市川市			100			100
37	高根台病院	船橋市				100		100
38	薬園台リハビリテーション病院	船橋市			92			92
39	板倉病院	船橋市		91				91
40	大村病院	市川市		75				75
41	浦安中央病院	浦安市		44		28		72
42	秋元病院	鎌ヶ谷市				70		70
43	浦安病院	浦安市		60				60
44	浦安高柳病院	浦安市				60		60
45	共立習志野台病院	船橋市		60				60
46	青山病院	船橋市		57				57
47	滝不動病院	船橋市		30		21		51
48	いけだ病院	船橋市				48		48
49	山口病院	船橋市		41				41
50	大島記念嬉泉病院	船橋市				35		35
51	行徳中央病院	市川市				25		25
	総計		1,373	5,418	2,131	1,699	278	10,899

東葛南部医療圏 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	順天堂大学医学部附属浦安病院	785	特定	○	高度	地域	地域	地域拠点	PSCコア	
2	東京歯科大学市川総合病院	511	標準	○		地域		地域拠点	PSCコア	
3	東京女子医科大学附属八千代医療センター	500	標準	○	○	地域	総合		PSCコア	
4	船橋北病院	458								
5	総武病院	452								
6	船橋市立医療センター	449	特定	○	○	地域		地域拠点	PSCコア	
7	千葉徳洲会病院	447	標準							
8	八千代病院	422								
9	国立国際医療研究センター国府台病院	417	標準	○					PSC	
10	済生会習志野病院	400	標準	○		地域				
11	JCHO船橋中央病院	399	標準				地域			
12	踏青会 下総病院	360								
13	秋元病院	352								
14	東京ベイ・浦安市川医療センター	344	標準	○	○	地域			PSCコア	
15	式場病院	338								
16	中山病院	337								
17	千葉病院	331								
18	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	331	標準						PSC	
19	初富保健病院	320								在後病
20	セントマーガレット病院	315								
21	津田沼中央総合病院	314	標準							在後病
22	行徳総合病院	307	標準							
23	新八千代病院	295								在後病
24	セコムメディック病院	292	標準						PSC	
25	島田台総合病院	275								在後病

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

東葛南部医療圏 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	谷津保健病院	274	標準						PSC	在後病
27	船橋二和病院	271	標準							在後病
28	国際医療福祉大学市川病院	260								
29	船橋総合病院	246	標準							在後病
30	八千代リハビリテーション病院	240								
31	船橋市立リハビリテーション病院	200								
32	一条会病院	199								
33	タムス浦安病院	199								支援病3
34	しのだの森ホスピタル	198								
35	大野中央病院	197								支援病3
36	習志野第一病院	183								
37	東京湾岸リハビリテーション病院	160								
38	東邦鎌谷病院	160								支援病3
39	勝田台病院	148								
40	北習志野花輪病院	147								支援病3
41	東船橋病院	128							PSC	
42	市川東病院	128								
43	第2北総病院	120								
44	和康会 三橋病院	108								
45	船橋整形外科病院	106	標準							
46	高根台病院	100								
47	タムス市川リハビリテーション病院	100								支援病3
48	薬園台リハビリテーション病院	92								支援病3
49	板倉病院	91								支援病2
50	池病院	84								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

東葛南部医療圏 | 医療機関の指定状況③

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
51	大村病院	75								支援病 1
52	浦安中央病院	72								
53	浦安高柳病院	60								
54	いけだ病院	60								支援病 2
55	浦安病院	60								支援病 3
56	共立習志野台病院	60								
57	青山病院	57								支援病 3
58	滝不動病院	51								支援病 3
59	山口病院	41								
60	大島記念嬉泉病院	35								
61	行徳中央病院	25								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

2/ 医療提供体制の概況

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

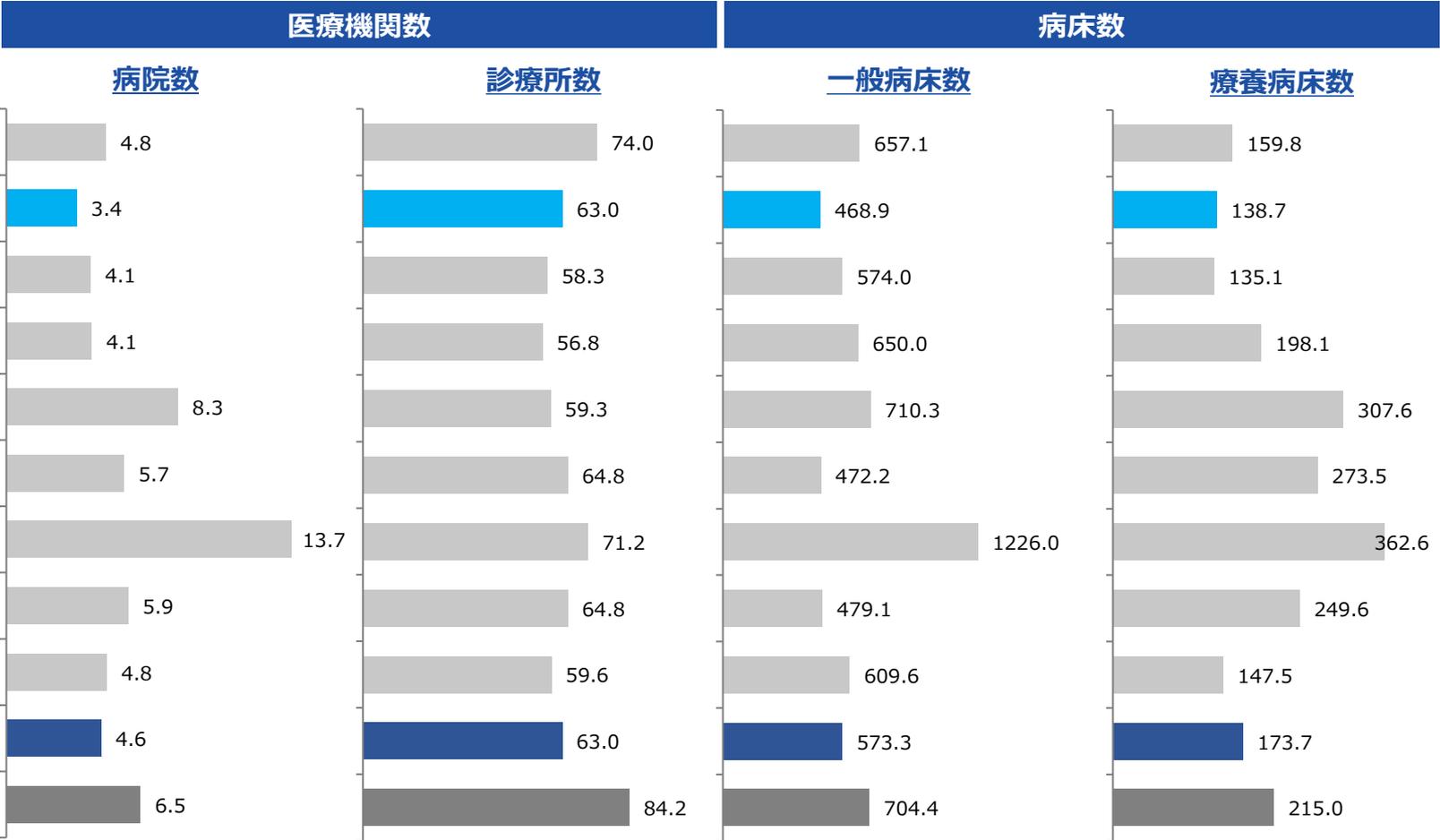
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

千葉県 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。

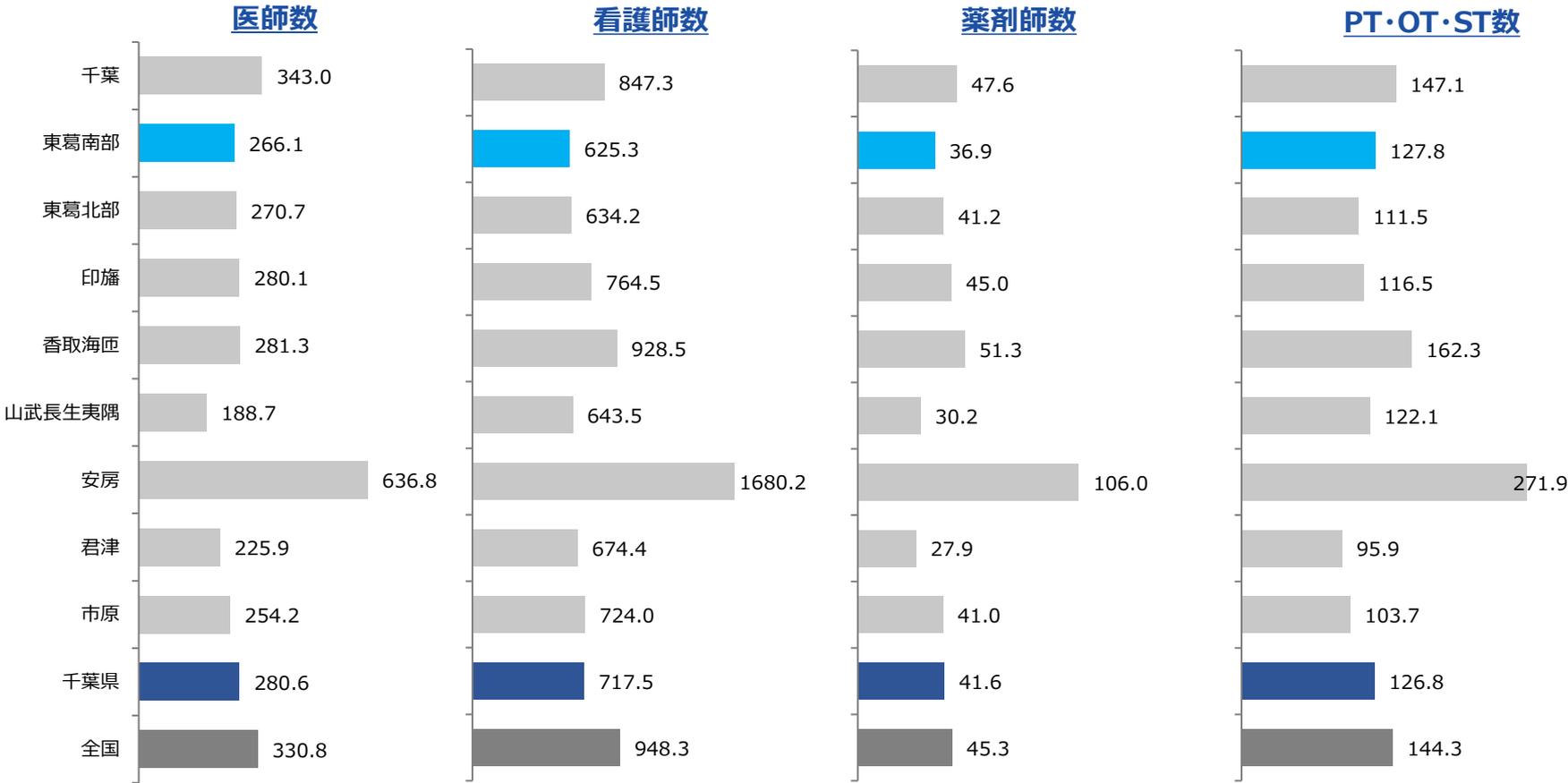


出典：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）
 「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

千葉県 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。

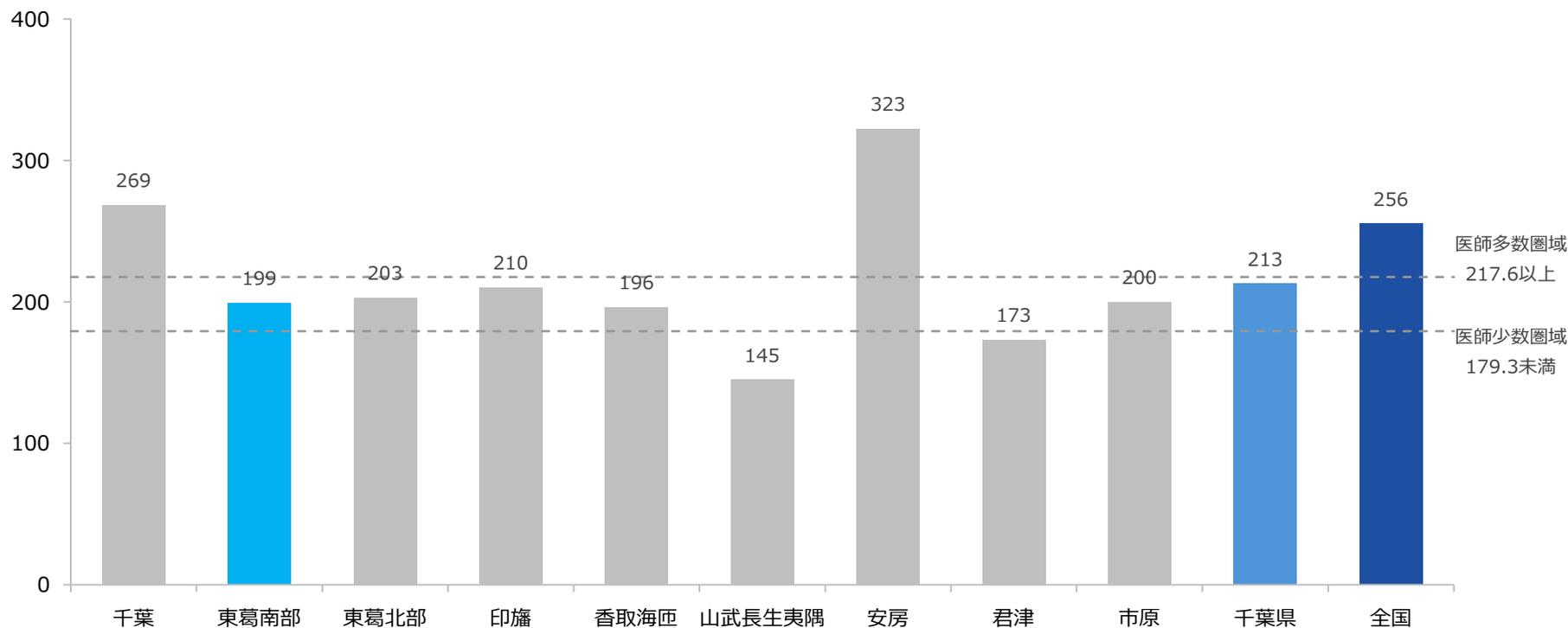


出典：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）
 ：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

千葉県 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

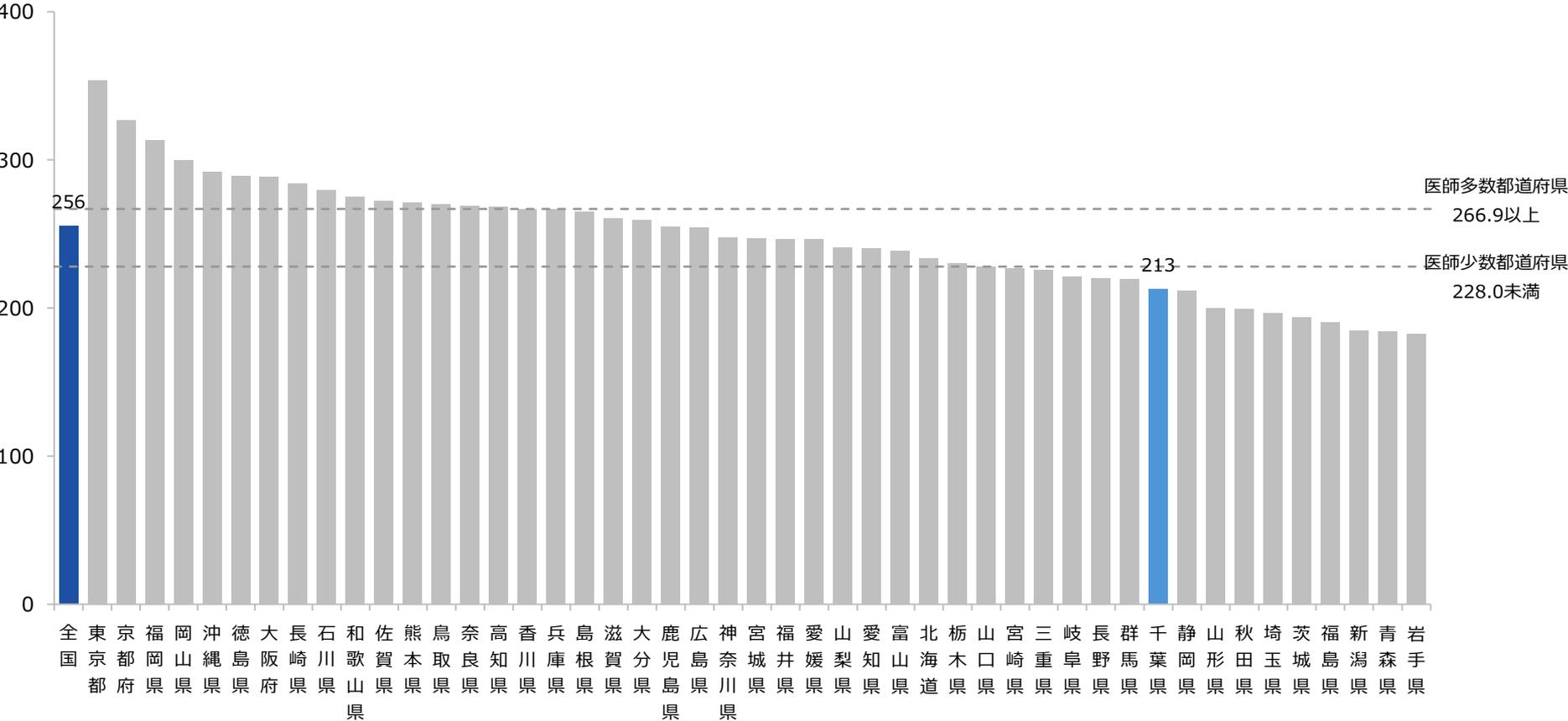
都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。



都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。
 都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。
 当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

東葛南部医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		割合	区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		割合
		医療圏	全国	圏域-全国	割合				医療圏	全国	圏域-全国	割合	
内科系	内科	150.5	86.5	64	+74%		小児・	小児科	40.9	25.2	15.7	+62%	
	呼吸器内科	14.2	9.9	4.3	+43%		周産期	小児外科	2.7	1.2	1.5	+124%	
	循環器内科	29.9	19.1	10.8	+57%			産婦人科	32.8	16	16.8	+104%	
	消化器内科(胃腸内科)	35	22.6	12.4	+55%			産科	1.7	0.7	1	+144%	
	腎臓内科	10.8	8	2.8	+35%			婦人科	6.6	2.9	3.7	+127%	
	脳神経内科	11.5	8.3	3.3	+39%		眼科・耳鼻・	眼科	37.4	19.2	18.3	+95%	
	糖尿病内科(代謝内科)	13	8.4	4.5	+54%		皮膚・美容	耳鼻いんこう科	23.7	13.3	10.5	+79%	
	血液内科	4.4	4.2	0.2	+4%			皮膚科	28.4	14.2	14.2	+100%	
	アレルギー科	0.2	0.3	0	▲7%			美容外科	1.5	1.8	-0.3	▲17%	
	リウマチ科	5.9	2.7	3.1	+115%		麻酔・	麻酔科	29.1	14.6	14.5	+99%	
	感染症内科	0.5	0.9	-0.4	▲44%		集中治療系	救急科	15.7	5.5	10.1	+183%	
外科系	外科	31.1	18.1	13	+72%			集中治療科	3.2	1.3	1.9	+145%	
	呼吸器外科	4.4	3	1.4	+46%		放射線・	放射線科	12	10.3	1.7	+16%	
	心臓血管外科	7.8	4.6	3.3	+71%		検査系	病理診断科	5.1	3.2	2	+62%	
	乳腺外科	5.6	3.3	2.4	+73%			臨床検査科	1.2	0.9	0.3	+33%	
	気管食道外科	0.2	0.1	0.1	+68%		リハビリ	リハビリテーション科	13	4.4	8.6	+197%	
	消化器外科(胃腸外科)	10.3	8.2	2.1	+25%		精神	精神科	45	23.8	21.2	+89%	
	泌尿器科	20.3	11.2	9.2	+82%			心療内科	3.7	1.2	2.5	+201%	
	肛門外科	0.5	0.6	-0.1	▲23%		その他	その他	75.4	36.7	38.6	+105%	
	脳神経外科	16.4	10.6	5.8	+54%		総計	総計	823.1	463.3	359.8	+78%	
	整形外科	63.1	31.8	31.3	+98%								
	形成外科	8.3	4.5	3.8	+83%								

出典：「令和6年医師・歯科医師・薬剤師統計」（厚生労働省）
：「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

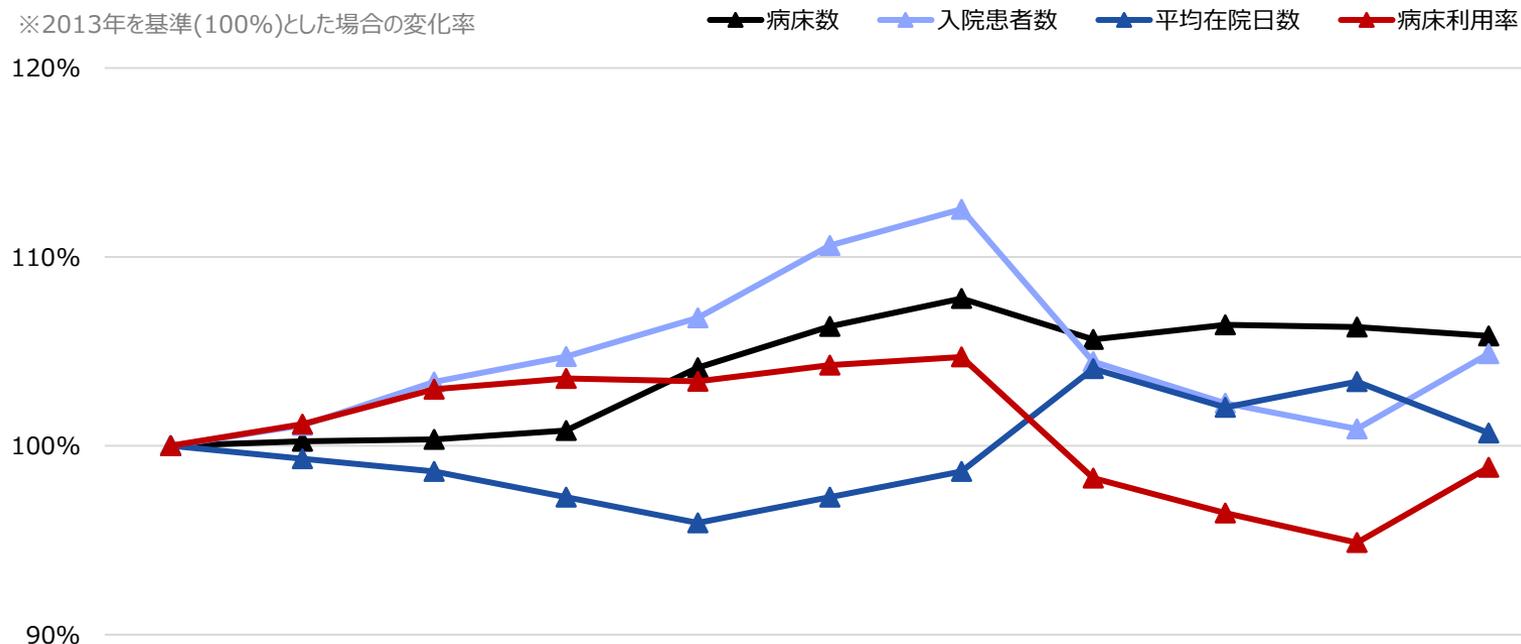
東葛南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

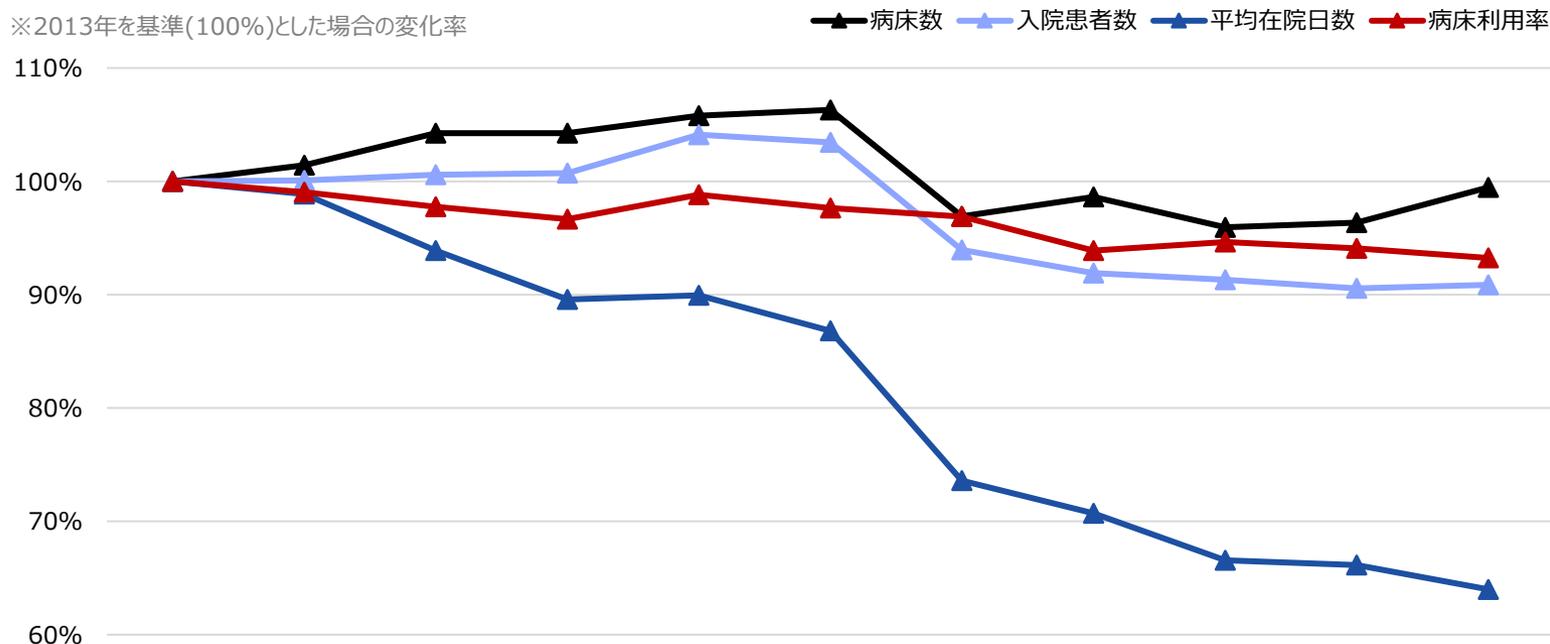


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	8,144	8,164	8,171	8,210	8,481	8,659	8,779	8,603	8,666	8,656	8,617	+5.8%
入院患者数 (人/日)	5,716	5,778	5,909	5,986	6,103	6,322	6,432	5,971	5,845	5,767	5,995	+4.9%
平均在院日数 (日)	14.7	14.6	14.5	14.3	14.1	14.3	14.5	15.3	15	15.2	14.8	+0.7%
病床利用率 (%)	70.2	71.0	72.3	72.7	72.6	73.2	73.5	69.0	67.7	66.6	69.4	▲1.1%

東葛南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

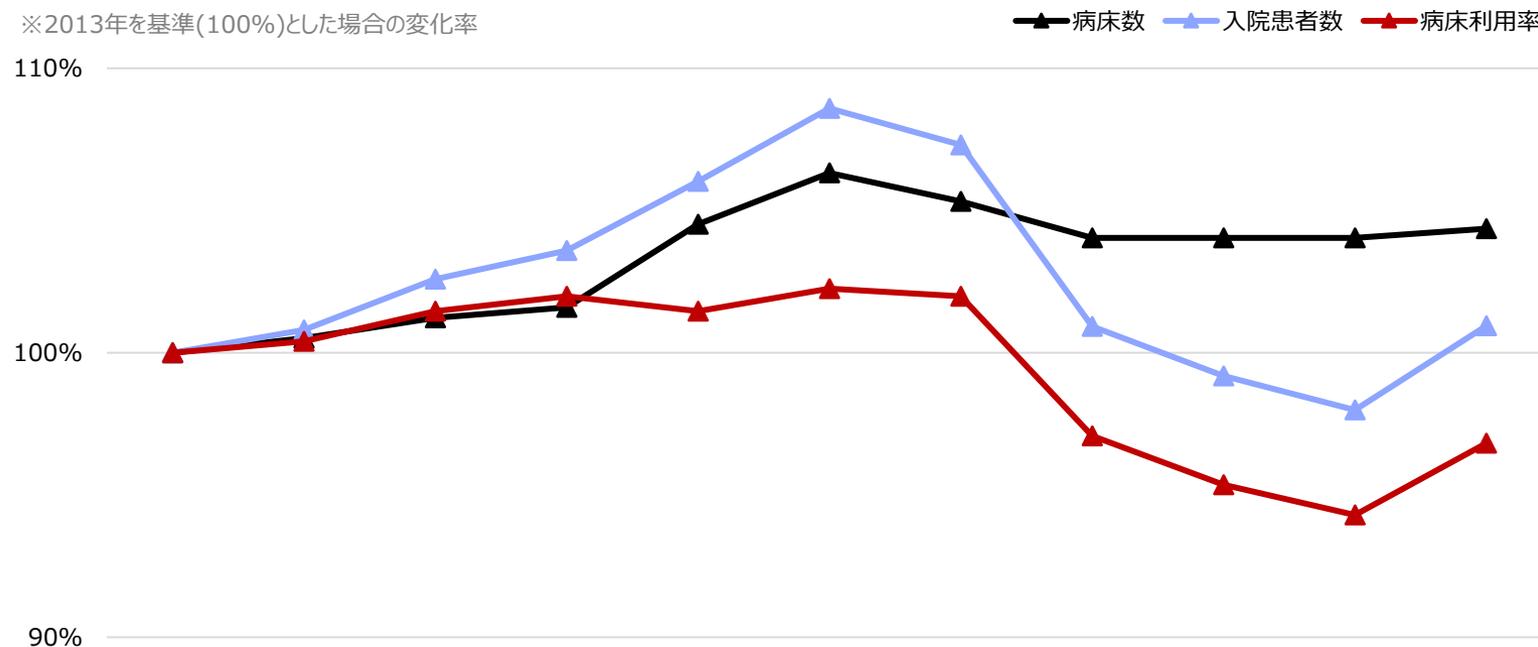


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	2,394	2,428	2,496	2,496	2,533	2,545	2,320	2,361	2,297	2,307	2,381	▲0.5%
入院患者数 (人/日)	2,234	2,236	2,247	2,250	2,326	2,311	2,099	2,053	2,040	2,023	2,030	▲9.1%
平均在院日数 (日)	195.0	192.8	183.1	174.7	175.4	169.3	143.5	137.9	129.8	129	124.8	▲36.0%
病床利用率 (%)	93.2	92.3	91.1	90.1	92.1	91.0	90.3	87.5	88.2	87.7	86.9	▲6.8%

東葛南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	10,538	10,592	10,667	10,706	11,014	11,204	11,099	10,964	10,963	10,963	10,998	+4.4%
入院患者数 (人/日)	7,950	8,014	8,156	8,236	8,429	8,633	8,531	8,024	7,885	7,790	8,025	+0.9%
病床利用率 (%)	75.4	75.7	76.5	76.9	76.5	77.1	76.9	73.2	71.9	71.1	73.0	▲3.2%

千葉県 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数						
	2013年		2018年		2023年		2013年		2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比		
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%		
千葉県	44,994	46,750	+3.9%	44,887	▲0.2%	27.5	25.5	▲7.3%	25.1	▲8.7%		
千葉	6,857	6,909	+0.8%	6,739	▲1.7%	23.9	22.5	▲5.9%	22.7	▲5.0%		
東葛南部	11,244	11,852	+5.4%	11,066	▲1.6%	27.3	25.4	▲7.0%	25.6	▲6.2%		
東葛北部	9,164	9,714	+6.0%	9,530	+4.0%	23.6	21.7	▲8.1%	21.5	▲8.9%		
印旛	5,394	5,703	+5.7%	5,943	+10.2%	32.7	29.1	▲11.0%	26.1	▲20.2%		
香取海匝	2,767	2,712	▲2.0%	2,431	▲12.1%	28.1	27.9	▲0.7%	27.3	▲2.8%		
山武長生夷隅	3,126	3,343	+6.9%	3,117	▲0.3%	55.6	44.4	▲20.1%	45.2	▲18.7%		
安房	2,337	2,349	+0.5%	2,187	▲6.4%	30.3	29.3	▲3.3%	29.0	▲4.3%		
君津	2,367	2,355	▲0.5%	2,185	▲7.7%	31.4	28.9	▲8.0%	29.4	▲6.4%		
市原	1,739	1,813	+4.3%	1,688	▲2.9%	22.4	21.9	▲2.2%	21.5	▲4.0%		

東葛南部医療圏 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	順天堂大学医学部附属浦安病院	407.7	343	894.9	78.3	42.0	42.5	1,595.5
2	東京ベイ・浦安市川医療センター	208.4	179	388.7	33.6	21.0	28.0	764.7
3	東京歯科大学市川総合病院	186.9	173	589.4	36.3	26.0	37.6	995.3
4	東京女子医科大学附属八千代医療センター	174.1	149	433.2	32.4	22.0	23.0	773.2
5	船橋市立医療センター	167.5	145	563.8	42.2	33.5	33.5	932.6
6	済生会習志野病院	121.0	113	377.7	24.4	23.0	31.0	665.1
7	国立国際医療研究センター国府台病院	110.2	90	255.6	13.4	17.0	16.0	449.6
8	津田沼中央総合病院	85.9	71	233.8	45.5	160.2	24.0	618.9
9	千葉徳洲会病院	96.7	61	330.6	44.4	76.3	34.4	671.7
10	JCHO船橋中央病院	61.3	58	377.4	14.0	12.0	21.0	557.6
11	行徳総合病院	79.9	55	278.9	47.8	81.4	38.8	615.0
12	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	62.0	49	329.4	47.2	41.6	32.0	603.2
13	セコメディック病院	60.4	48	241.5	30.7	75.0	7.0	459.0
14	船橋二和病院	47.3	42	196.3	35.3	35.7	15.3	389.6
15	船橋整形外科病院	42.7	39	97.4	17.0	30.6	3.0	202.1
16	国際医療福祉大学市川病院	44.8	37	166.4	13.0	43.6	16.0	336.6
17	船橋総合病院	49.0	37	214.9	52.6	82.0	19.6	474.3
18	習志野第一病院	64.0	25	226.3	87.6	48.0	13.8	464.7
19	谷津保健病院	30.1	22	147.5	49.2	35.0	11.7	300.0
20	板倉病院	27.6	21	81.1	18.0	8.0	7.0	167.7
21	東邦鎌谷病院	25.3	18	75.8	25.5	9.0	13.4	181.9
22	大野中央病院	21.1	15	116.1	32.8	49.8	6.7	245.3
23	初富保健病院	14.0	14	82.9	71.6	71.0	13.5	258.0
24	東京湾岸リハビリテーション病院	15.0	11	150.0	64.0	136.0	3.0	374.0
25	タムス浦安病院	11.7	10	131.9	48.8	124.6	5.1	338.1

東葛南部医療圏 | 医療機関別職員数②

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	船橋市立リハビリテーション病院	11.6	10	87.4	45.0	187.0	6.8	343.8
27	東船橋病院	15.7	9	68.6	17.7	52.6	3.0	177.6
28	勝田台病院	11.5	9	68.6	33.7	13.8	6.9	147.3
29	新八千代病院	13.3	9	91.7	51.7	90.0	3.6	275.6
30	八千代リハビリテーション病院	11.1	8	140.2	94.3	280.8	5.0	537.0
31	セントマーガレット病院	14.4	8	87.2	43.2	19.9	7.9	180.2
32	島田台総合病院	12.3	8	73.0	49.0	4.0	6.0	151.3
33	市川東病院	11.3	7	53.5	23.5	12.0	4.3	113.8
34	大村病院	11.0	7	20.0	9.2	0	2.4	54.8
35	共立習志野台病院	17.8	6	51.3	5.0	0	3.2	87.6
36	北習志野花輪病院	15.3	5	92.6	40.5	12.8	6.4	211.4
37	浦安中央病院	9.2	5	38.3	11.6	6.0	2.2	74.3
38	タムス市川リハビリテーション病院	9.2	5	56.1	24.3	35.0	3.1	135.9
39	秋元病院	15.7	5	119.1	47.4	13.5	4.0	203.4
40	薬園台リハビリテーション病院	5.3	4	39.0	21.0	61.0	3.0	132.3
41	青山病院	13.0	4	15.8	7.9	0	0	38.7
42	滝不動病院	4.6	4	22.9	14.7	2.0	1.0	51.8
43	第2北総病院	8.5	4	35.8	32.0	22.2	2.9	103.4
44	大島記念嬉泉病院	5.0	3	30.1	7.4	6.0	2.0	71.5
45	一条会病院	8.3	3	52.0	16.0	2.0	2.0	87.3
46	浦安病院	5.1	3	25.0	6.3	4.0	3.0	44.4
47	山口病院	9.1	3	57.7	14.1	0	4.8	102.8
48	高根台病院	5.3	2	35.3	22.6	0.3	2.3	68.8
49	浦安高柳病院	3.6	2	16.2	15.9	1.0	1.2	39.9
50	いけだ病院	4.3	2	16.5	18.1	6.0	1.3	49.2

東葛南部医療圏 | 医療機関別職員数③

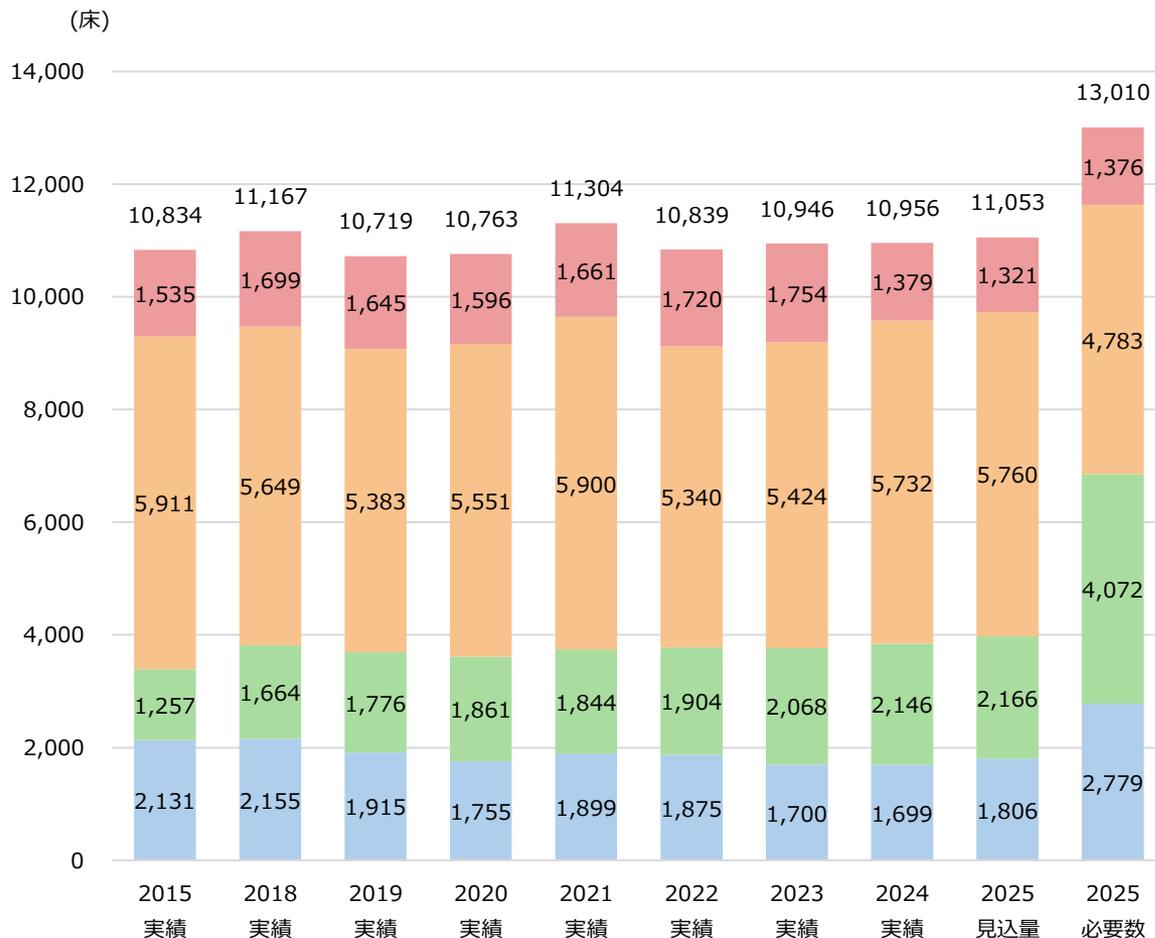
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
51	行徳中央病院	2.2	1	8.0	10.0	0.2	1.2	22.8
	総計	2,468.3	1,961	8,383.4	1,687.7	2,136.4	586.4	16,940.6

東葛南部区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

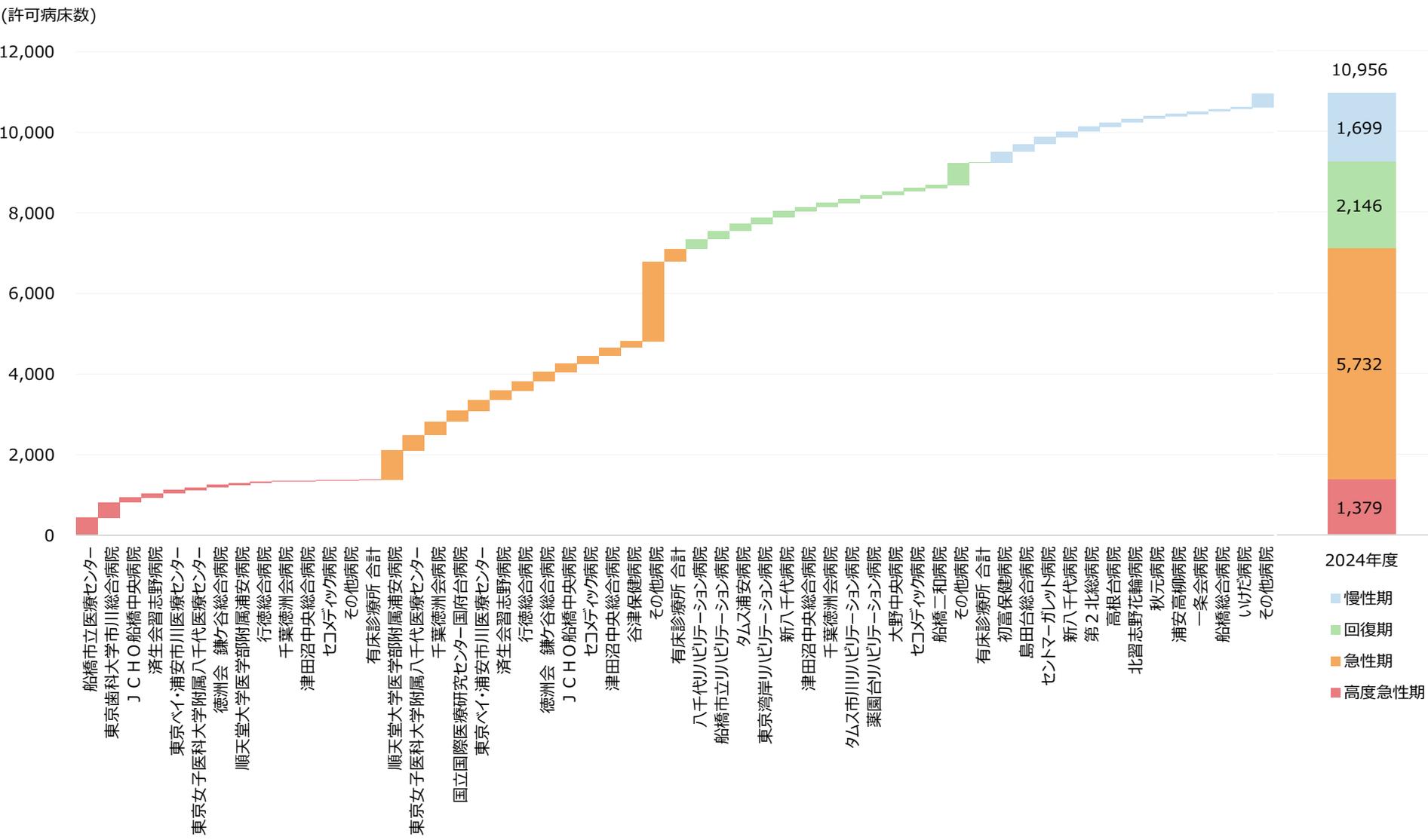
病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	1,379	1,376	+3
急性期	5,732	4,783	+949
回復期	2,146	4,072	▲1,926
慢性期	1,699	2,779	▲1,080
合計	10,956	13,010	▲2,054

東葛南部医療圏 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数

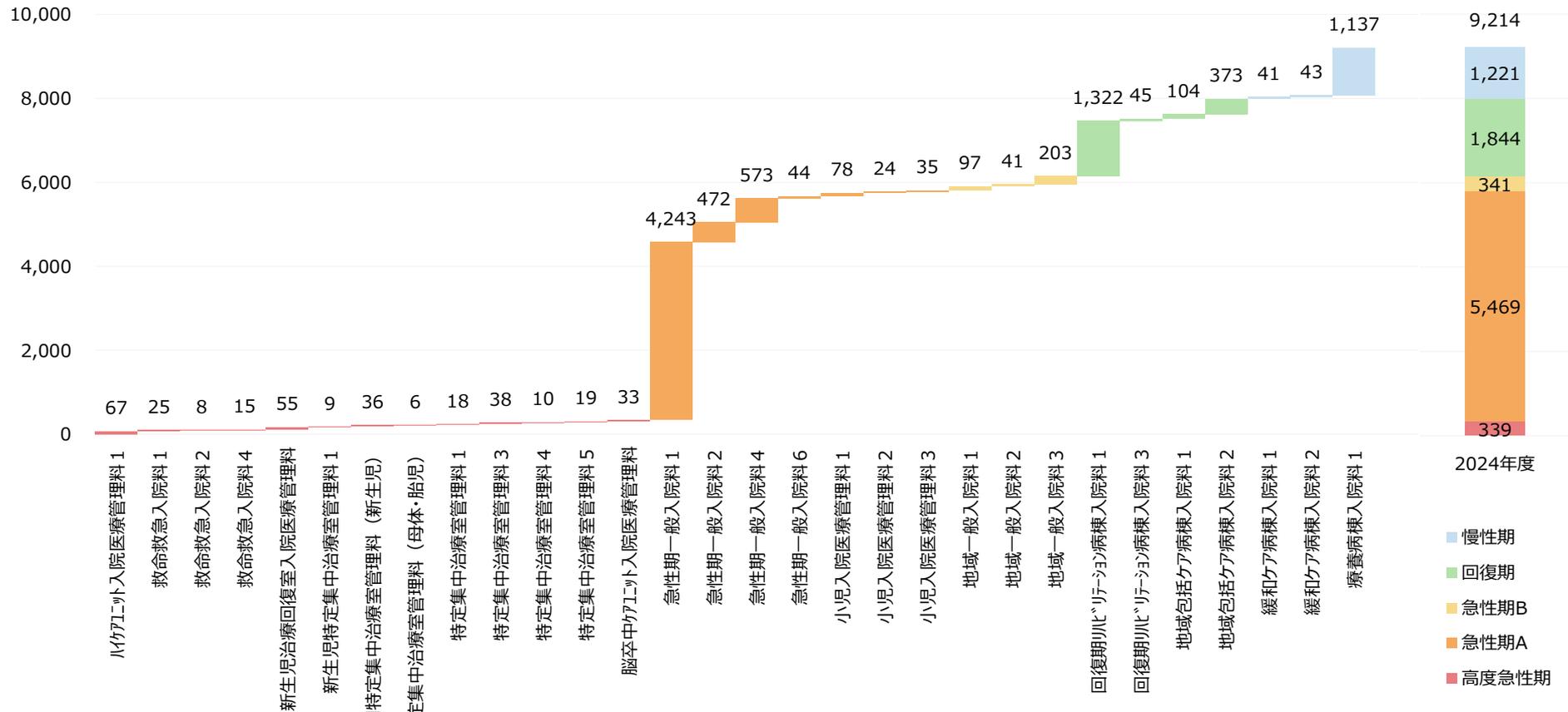


出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

東葛南部医療圏 | 入院料別届出病床数 (病院のみ/入院基本料に基づく機能分類)

当該医療圏の入院料別の届出病床数を整理しています。
それぞれの病床機能に適した入院料の病床数が多いか確認できます。

(届出病床数)



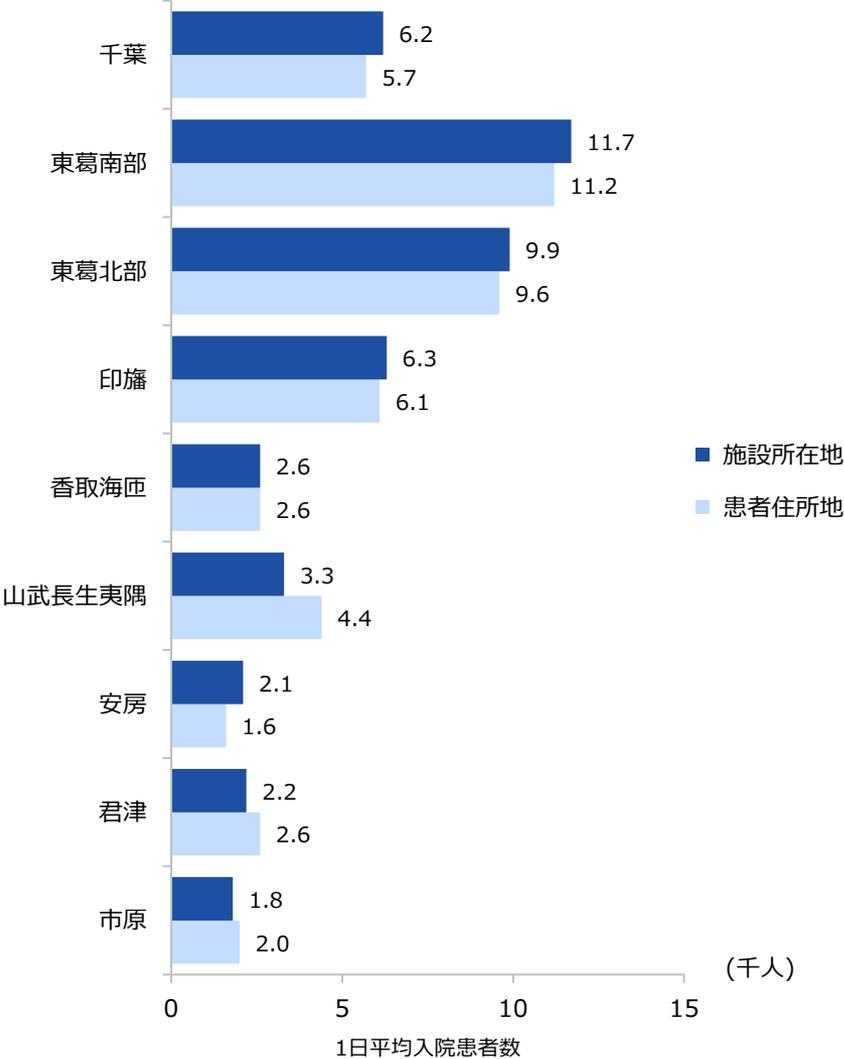
高度急性期：HCU、救命救急、PICU、GCU、NICU、ICU、SCU
急性期A：急性期一般、小児入院、専門病院（7対1、10対1）、特定機能一般
急性期B：地域一般、一般特別、専門病院（13対1）、特定一般
回復期：回復期リハ、地域包括ケア、地域包括医療、特定機能リハ
慢性期：療養、緩和ケア、障害者、障害者特定、特殊疾患

出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

千葉県 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

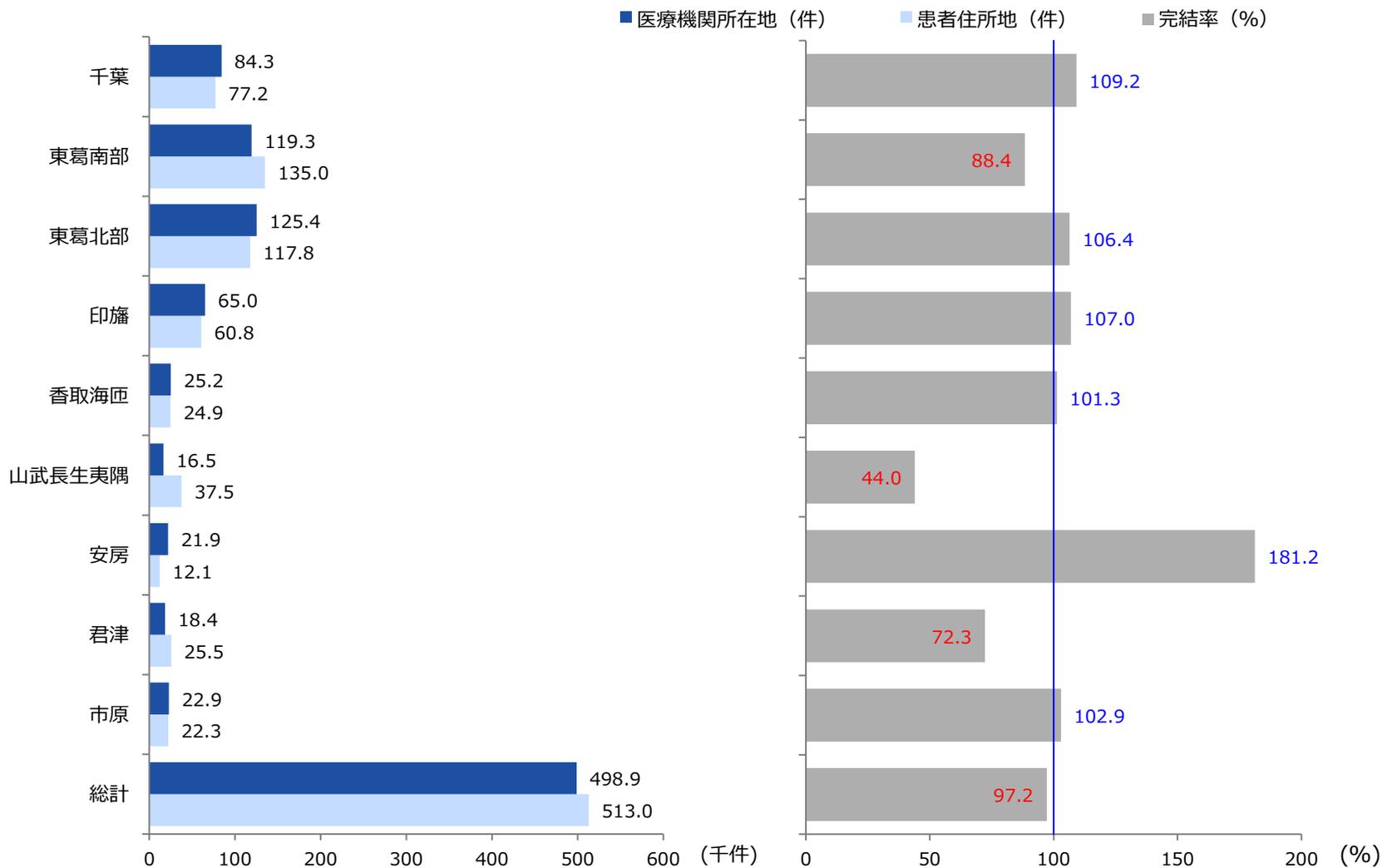
右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.1	0.1	0
II 新生物	1.0	1.3	▲0.3
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.2	0.3	▲0.1
V 精神	2.9	2.0	0.9
VI 神経系	0.6	0.7	▲0.1
VII 眼	0.1	0.1	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	2.0	2.0	0
X 呼吸器	0.8	0.8	0
X I 消化器	0.7	0.7	0
X II 皮膚	0.1	0.1	0
X III 筋骨格	0.8	0.8	0
X IV 腎尿路	0.4	0.4	0
X V 妊娠, 分娩	0.1	0.1	0
X VI 周産期	0.1	0.1	0
X VII 先天奇形	0	0.1	▲0.1
X VIII 症状, 徴候	0.1	0.1	0
X IX 損傷, 中毒	1.3	1.2	0.1
X X I 保健サービス	0	0	0
X X II 特殊目的用	0.2	0.2	0
総数	11.5	11.1	0.4

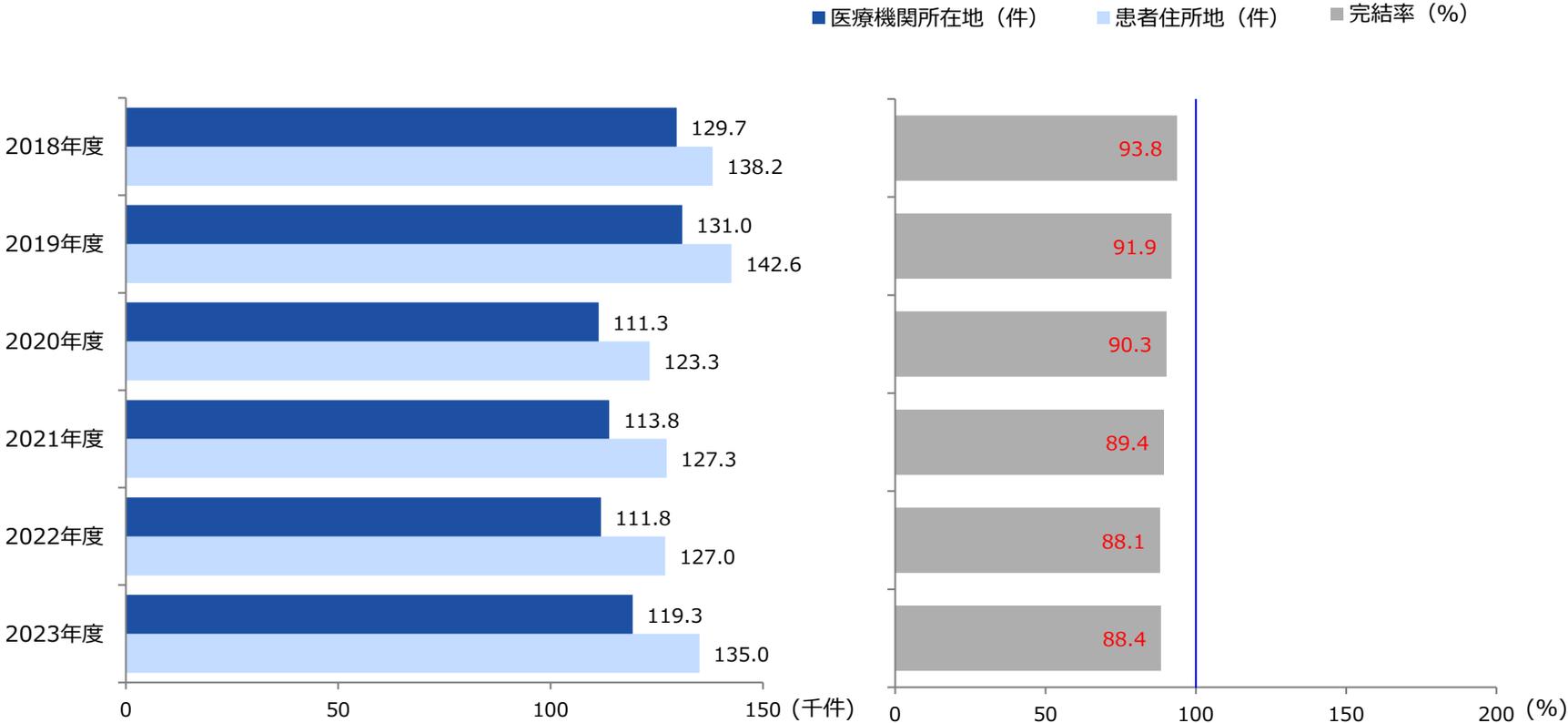
出典：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

千葉県 | 二次医療圏別の流出入状況 (DPC症例数)



東葛南部医療圏 | 患者流出入状況の年度推移 (DPC症例数)

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。



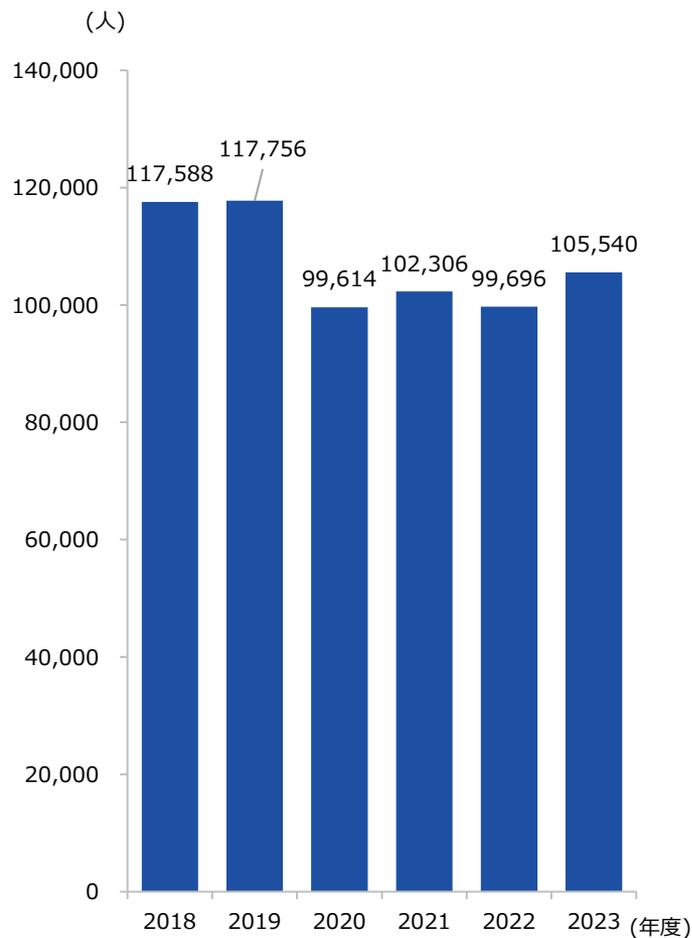
出典：「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(厚生労働省)

東葛南部医療圏 | MDC別退院患者数の推移 (DPC病院のみ)

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

退院患者数：合計



退院患者数：MDC別

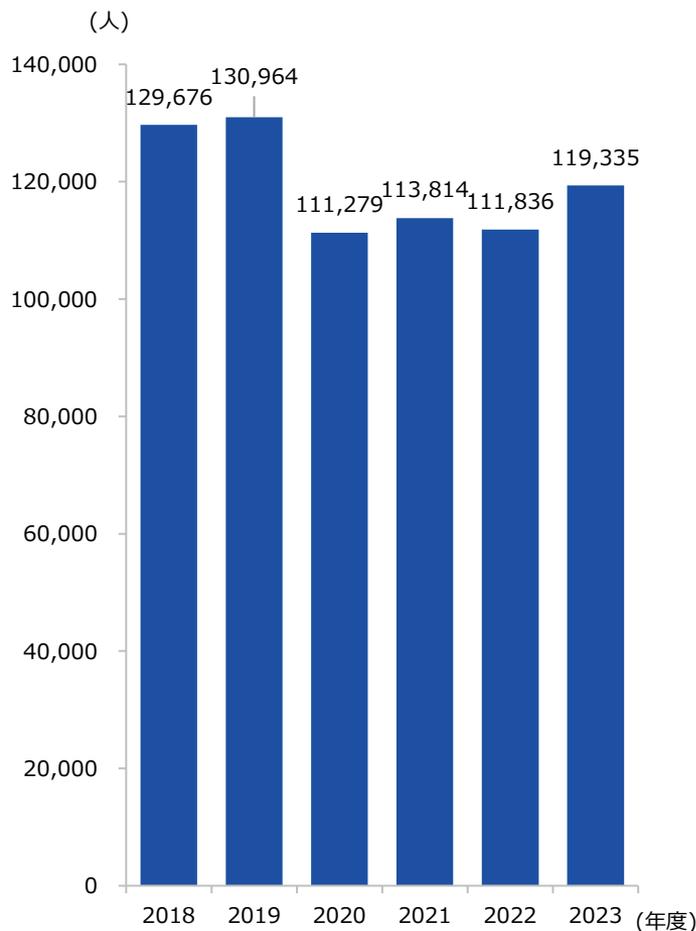
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,057	7,204	6,669	6,414	5,913	5,945	▲15.8%	5.6%
MDC02 眼科系	6,604	6,554	5,009	5,379	5,494	5,474	▲17.1%	5.2%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,430	4,738	3,406	2,960	2,718	3,321	▲25.0%	3.1%
MDC04 呼吸器系	13,392	13,383	9,103	9,467	8,732	11,021	▲17.7%	10.4%
MDC05 循環器系	11,970	11,606	9,786	10,672	10,734	11,125	▲7.1%	10.5%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	27,563	27,139	23,628	24,056	22,709	23,148	▲16.0%	21.9%
MDC07 筋骨格系	7,238	7,026	6,372	6,409	6,686	7,267	0.4%	6.9%
MDC08 皮膚・皮下組織	2,066	2,124	1,660	1,625	1,508	1,660	▲19.7%	1.6%
MDC09 乳房	1,238	1,339	1,244	1,428	1,391	1,504	21.5%	1.4%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	3,227	3,377	2,498	2,906	2,436	2,952	▲8.5%	2.8%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	9,735	9,986	9,282	9,746	10,089	9,871	1.4%	9.4%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	6,867	6,881	6,192	6,589	6,718	6,643	▲3.3%	6.3%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	2,454	2,627	2,542	2,335	2,331	2,503	2.0%	2.4%
MDC14 新生児・先天性奇形	1,989	2,001	1,897	2,070	2,140	2,056	3.4%	1.9%
MDC15 小児	594	593	294	310	312	526	▲11.4%	0.5%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	9,361	9,409	8,332	8,301	8,207	8,804	▲6.0%	8.3%
MDC17 精神	434	359	253	184	172	199	▲54.1%	0.2%
MDC18 その他	1,369	1,410	1,447	1,455	1,406	1,521	11.1%	1.4%
総計	117,588	117,756	99,614	102,306	99,696	105,540	▲10.2%	100.0%

東葛南部医療圏 | MDC別退院患者数の推移（出来高病院含む）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

退院患者数：合計



退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,649	7,892	7,467	7,262	6,770	6,784	▲11.3%	5.7%
MDC02 眼科系	6,793	6,783	5,148	5,619	5,750	5,780	▲14.9%	4.8%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,832	5,179	3,765	3,302	3,024	3,657	▲24.3%	3.1%
MDC04 呼吸器系	15,214	15,363	10,451	10,825	10,208	12,741	▲16.3%	10.7%
MDC05 循環器系	12,337	12,016	10,221	11,017	11,086	11,499	▲6.8%	9.6%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	30,738	30,462	26,421	26,610	25,703	26,344	▲14.3%	22.1%
MDC07 筋骨格系	8,146	8,100	7,386	7,488	7,788	8,374	2.8%	7.0%
MDC08 皮膚・皮下組織	2,330	2,412	1,886	1,805	1,756	1,935	▲17.0%	1.6%
MDC09 乳房	1,301	1,362	1,263	1,446	1,404	1,521	16.9%	1.3%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	3,685	3,859	2,960	3,349	2,856	3,456	▲6.2%	2.9%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	10,331	10,770	9,942	10,390	10,755	10,764	4.2%	9.0%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	7,369	7,448	6,829	7,144	7,166	7,518	2.0%	6.3%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	2,558	2,752	2,650	2,451	2,438	2,615	2.2%	2.2%
MDC14 新生児、先天性奇形	2,215	2,268	2,136	2,253	2,318	2,338	5.6%	2.0%
MDC15 小児	594	593	294	311	312	528	▲11.1%	0.4%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	11,556	11,735	10,611	10,698	10,740	11,568	0.1%	9.7%
MDC17 精神	559	446	333	292	248	257	▲54.0%	0.2%
MDC18 その他	1,469	1,524	1,516	1,552	1,514	1,656	12.7%	1.4%
総計	129,676	130,964	111,279	113,814	111,836	119,335	▲8.0%	100.0%

3/ 医療需要の将来推計

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

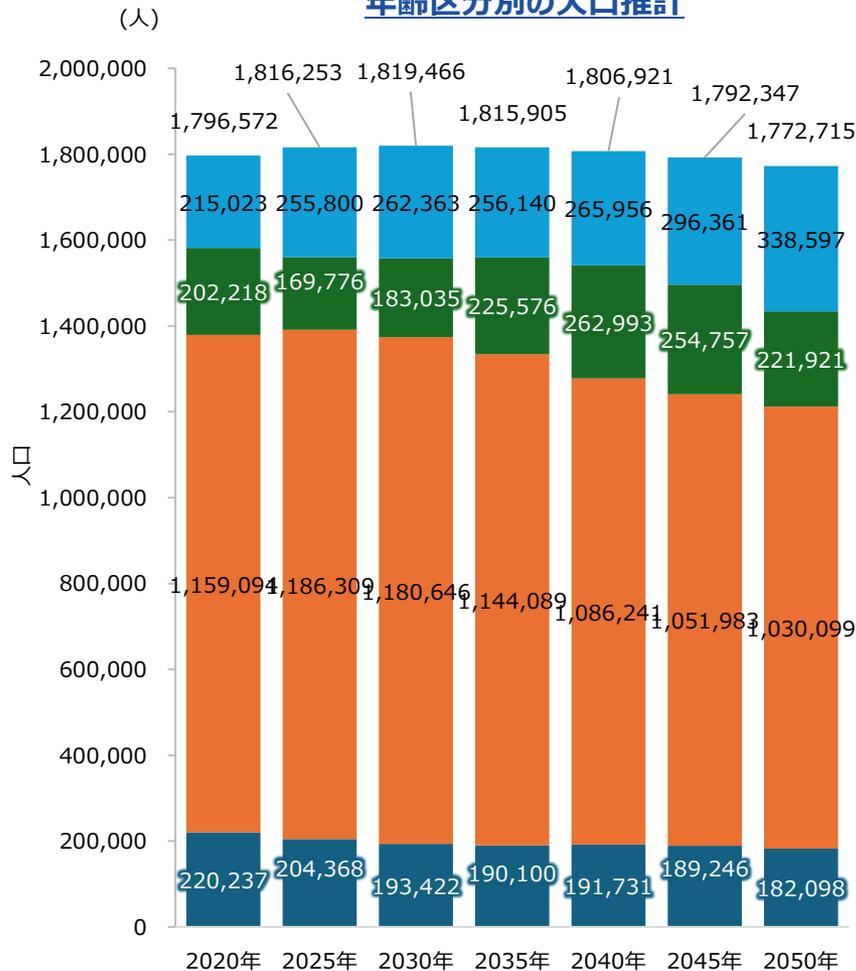
東葛南部医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

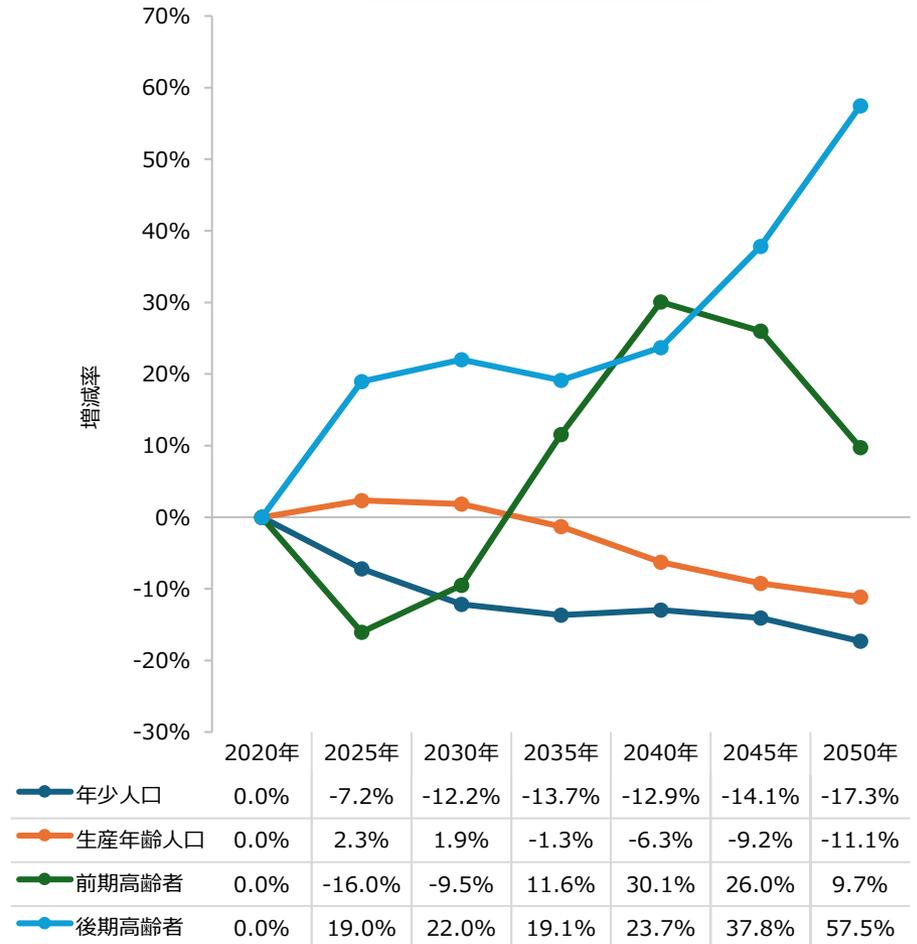
多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。

年齢区分別の人口推計



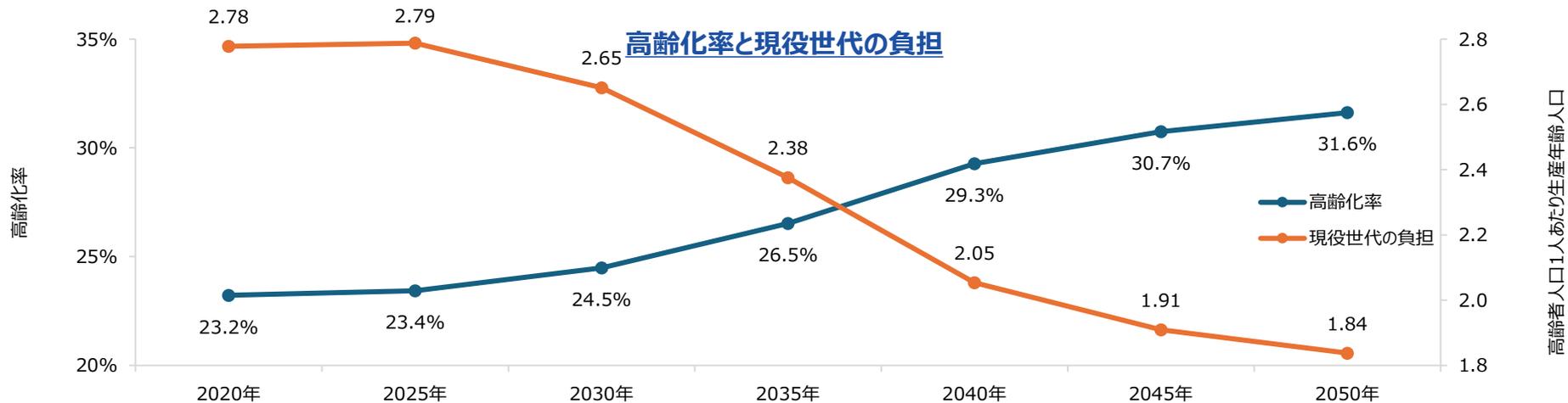
年齢区分別の人口増減率



東葛南部医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

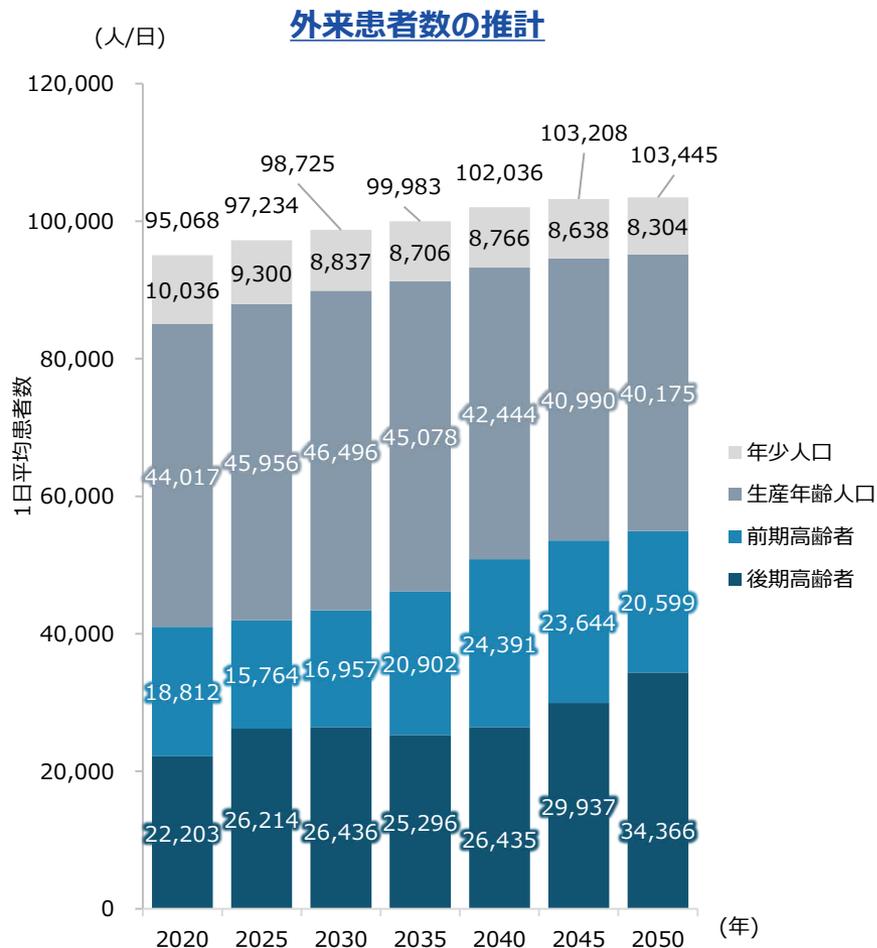
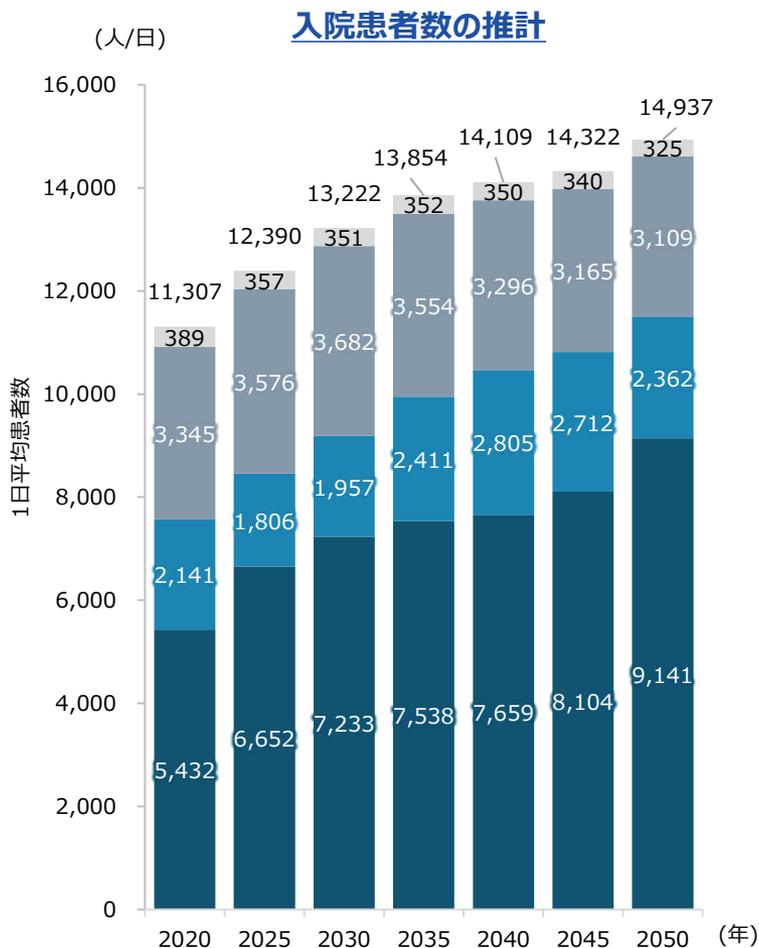
生産年齢人口と高齢者の将来推計



東葛南部医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

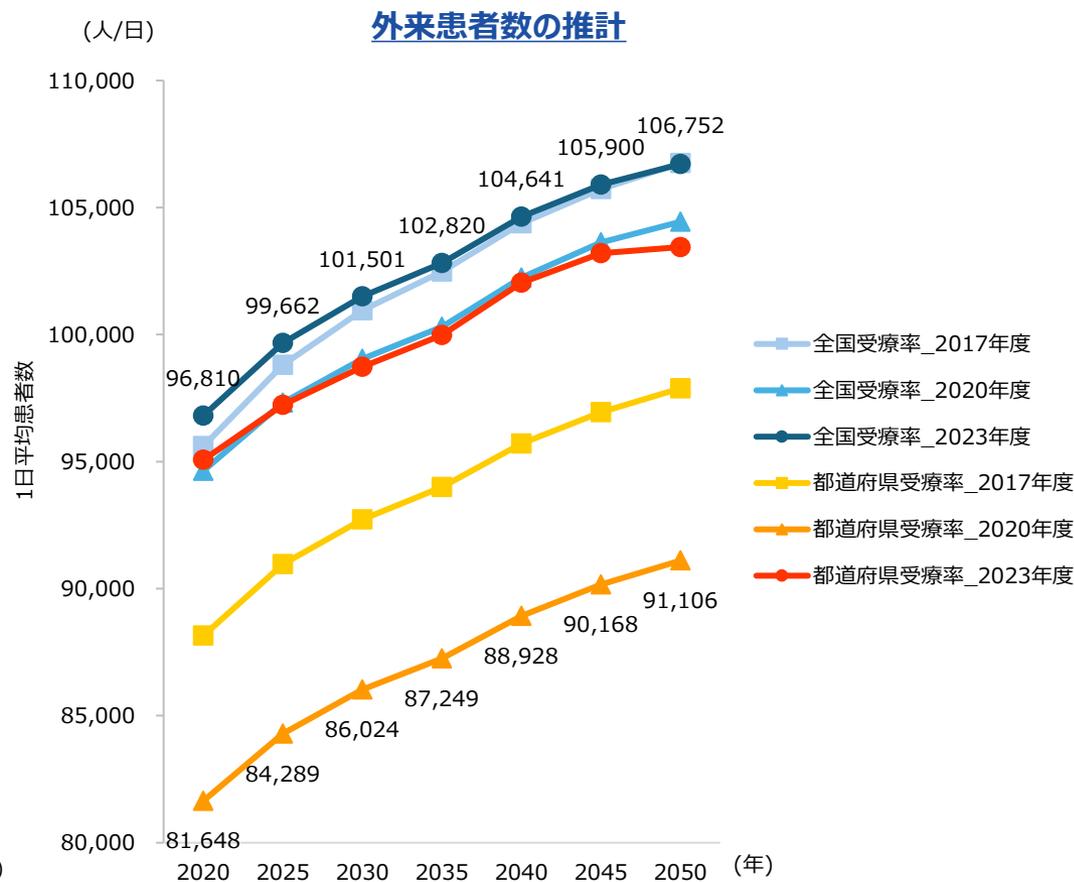
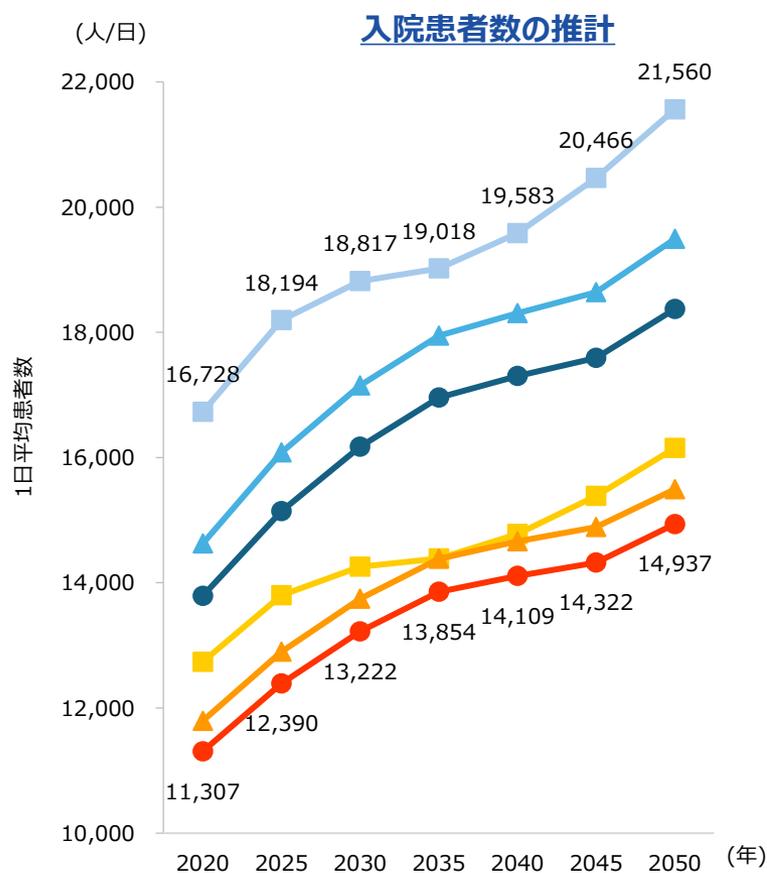
多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。



東葛南部医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



東葛南部医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	150	164	173	181	185	188	197
II 新生物<腫瘍>	1,277	1,348	1,401	1,443	1,501	1,548	1,589
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	51	57	61	64	65	65	69
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	251	288	317	340	342	344	366
V 精神及び行動の障害	2,172	2,258	2,338	2,383	2,414	2,423	2,420
VI 神経系の疾患	848	932	984	1,018	1,036	1,061	1,117
VII 眼及び付属器の疾患	98	102	104	106	111	117	121
VIII 耳及び乳様突起の疾患	18	18	19	18	19	19	19
IX 循環器系の疾患	1,910	2,159	2,358	2,517	2,572	2,614	2,764
X 呼吸器系の疾患	717	839	927	1,001	1,012	1,030	1,119
X I 消化器系の疾患	615	677	722	754	762	773	808
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	113	125	135	144	147	150	157
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	647	716	763	795	817	842	890
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	447	499	539	571	582	592	625
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	232	235	236	237	234	224	212
X VI 周産期に発生した病態	95	86	88	90	88	84	80
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	111	105	105	106	104	101	98
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	118	139	156	169	171	171	182
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,205	1,372	1,499	1,599	1,624	1,647	1,753
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	64	72	76	80	81	81	84
X X II 特殊目的用コード	161	191	214	233	236	241	262
総数	11,302	12,383	13,215	13,848	14,103	14,317	14,931

東葛南部医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	150	9.1%	15.5%	20.6%	23.0%	25.4%	31.4%
II 新生物<腫瘍>	1,277	5.6%	9.7%	13.0%	17.5%	21.2%	24.4%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	51	10.1%	18.0%	24.3%	25.8%	27.0%	33.3%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	251	14.9%	26.6%	35.6%	36.5%	37.3%	46.2%
V 精神及び行動の障害	2,172	4.0%	7.6%	9.7%	11.1%	11.6%	11.4%
VI 神経系の疾患	848	9.9%	16.0%	20.0%	22.2%	25.1%	31.7%
VII 眼及び付属器の疾患	98	4.5%	6.2%	7.9%	13.7%	19.3%	23.3%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	18	0.4%	0.7%	0.1%	2.3%	4.3%	4.0%
IX 循環器系の疾患	1,910	13.1%	23.5%	31.8%	34.7%	36.9%	44.7%
X 呼吸器系の疾患	717	16.9%	29.3%	39.5%	41.1%	43.6%	56.0%
X I 消化器系の疾患	615	10.1%	17.4%	22.5%	23.9%	25.5%	31.2%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	113	10.5%	19.4%	26.9%	30.2%	32.2%	38.5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	647	10.8%	17.9%	22.9%	26.3%	30.3%	37.6%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	447	11.8%	20.6%	27.8%	30.3%	32.6%	40.0%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	232	1.1%	1.7%	1.8%	0.6%	-3.5%	-8.8%
X VI 周産期に発生した病態	95	-9.5%	-7.6%	-5.6%	-7.5%	-11.3%	-15.9%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	111	-5.3%	-5.1%	-4.7%	-6.2%	-8.6%	-11.6%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	118	17.2%	31.4%	42.9%	44.3%	44.4%	53.9%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,205	13.9%	24.4%	32.8%	34.8%	36.7%	45.5%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	64	11.4%	18.9%	24.5%	25.4%	25.5%	30.0%
X X II 特殊目的用コード	161	18.5%	32.7%	44.6%	46.6%	49.2%	62.6%
総数	11,302	9.6%	16.9%	22.5%	24.8%	26.7%	32.1%

東葛南部医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

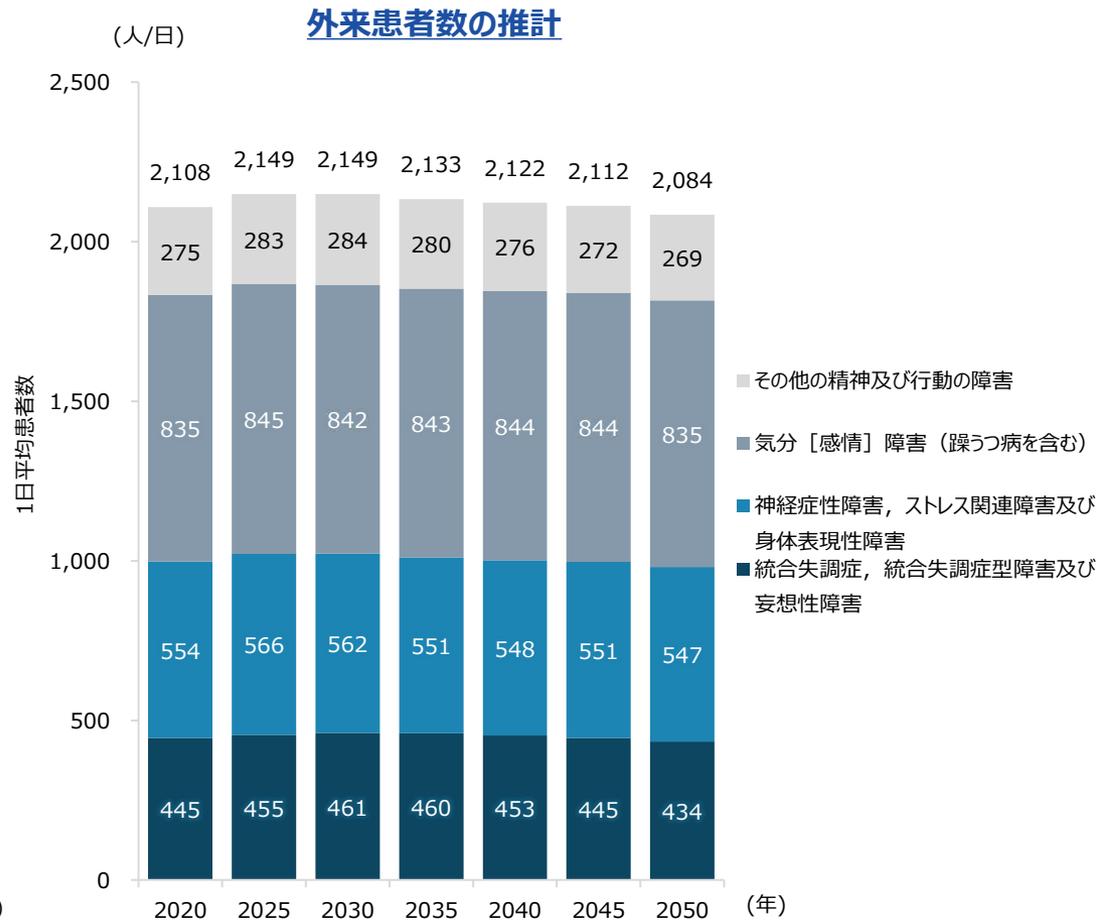
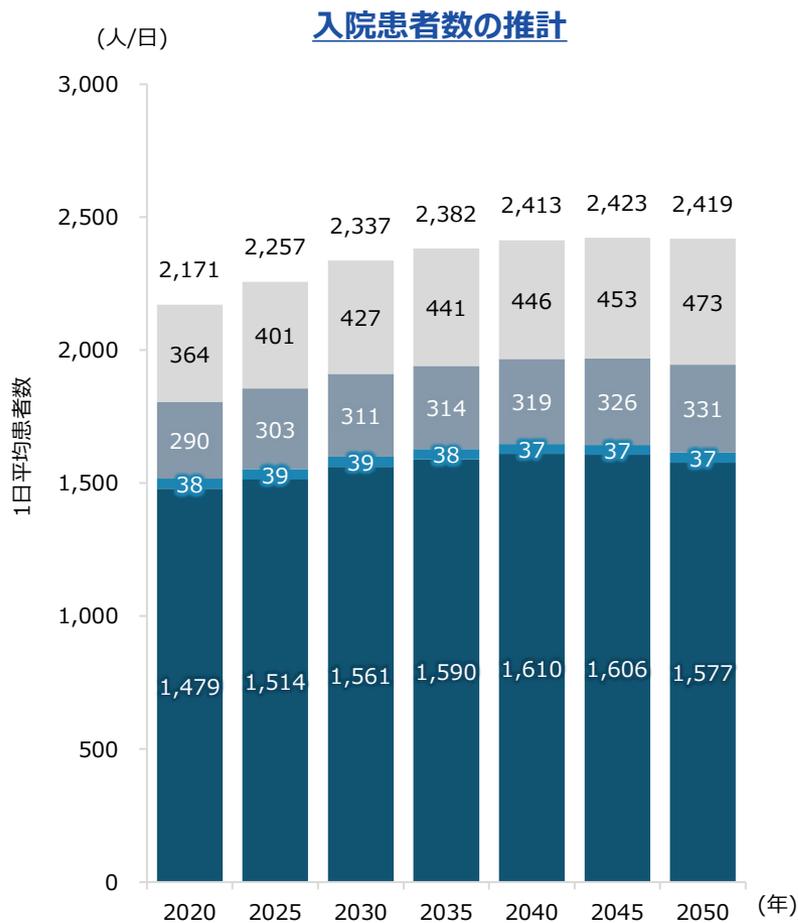
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	1,903	1,930	1,959	1,978	1,985	1,968	1,941
II 新生物<腫瘍>	2,976	3,083	3,166	3,230	3,346	3,430	3,459
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	204	214	211	207	208	214	220
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,849	5,067	5,285	5,428	5,571	5,638	5,649
V 精神及び行動の障害	2,110	2,151	2,151	2,135	2,123	2,114	2,086
VI 神経系の疾患	1,305	1,402	1,462	1,474	1,481	1,501	1,539
VII 眼及び付属器の疾患	4,416	4,545	4,632	4,707	4,879	5,019	5,107
VIII 耳及び乳様突起の疾患	895	889	893	903	917	920	911
IX 循環器系の疾患	8,704	9,344	9,797	10,146	10,536	10,875	11,266
X 呼吸器系の疾患	9,016	8,768	8,567	8,470	8,414	8,304	8,124
X I 消化器系の疾患	16,234	16,464	16,510	16,548	16,701	16,746	16,607
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4,511	4,514	4,505	4,488	4,476	4,451	4,397
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,325	12,843	13,216	13,474	13,941	14,316	14,533
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	4,956	5,141	5,253	5,336	5,444	5,503	5,521
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	161	168	169	167	164	157	147
X VI 周産期に発生した病態	22	20	20	20	20	19	18
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	227	219	216	215	214	211	204
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,303	1,333	1,347	1,353	1,386	1,415	1,424
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,131	5,249	5,295	5,296	5,273	5,257	5,257
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,527	13,587	13,767	14,106	14,657	14,855	14,740
X X II 特殊目的用コード	292	300	303	300	295	292	292
総数	95,065	97,232	98,723	99,980	102,032	103,204	103,442

東葛南部医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	1,903	1.4%	2.9%	3.9%	4.3%	3.4%	2.0%
II 新生物<腫瘍>	2,976	3.6%	6.4%	8.6%	12.4%	15.2%	16.2%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	204	4.7%	3.5%	1.5%	1.9%	5.0%	8.0%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	4,849	4.5%	9.0%	12.0%	14.9%	16.3%	16.5%
V 精神及び行動の障害	2,110	2.0%	2.0%	1.2%	0.7%	0.2%	-1.1%
VI 神経系の疾患	1,305	7.5%	12.0%	13.0%	13.5%	15.0%	18.0%
VII 眼及び付属器の疾患	4,416	2.9%	4.9%	6.6%	10.5%	13.6%	15.7%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	895	-0.7%	-0.3%	0.9%	2.5%	2.7%	1.7%
IX 循環器系の疾患	8,704	7.3%	12.6%	16.6%	21.0%	24.9%	29.4%
X 呼吸器系の疾患	9,016	-2.8%	-5.0%	-6.1%	-6.7%	-7.9%	-9.9%
X I 消化器系の疾患	16,234	1.4%	1.7%	1.9%	2.9%	3.1%	2.3%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	4,511	0.1%	-0.1%	-0.5%	-0.8%	-1.3%	-2.5%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,325	4.2%	7.2%	9.3%	13.1%	16.2%	17.9%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	4,956	3.7%	6.0%	7.7%	9.9%	11.0%	11.4%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	161	4.0%	4.8%	3.3%	1.6%	-2.7%	-9.1%
X VI 周産期に発生した病態	22	-9.0%	-8.6%	-7.4%	-8.7%	-11.9%	-16.2%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	227	-3.4%	-4.7%	-5.3%	-5.4%	-7.0%	-10.1%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,303	2.3%	3.4%	3.9%	6.4%	8.6%	9.3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,131	2.3%	3.2%	3.2%	2.8%	2.5%	2.5%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	13,527	0.4%	1.8%	4.3%	8.4%	9.8%	9.0%
X X II 特殊目的用コード	292	2.7%	3.9%	2.7%	1.1%	0.3%	0.0%
総数	95,065	2.3%	3.8%	5.2%	7.3%	8.6%	8.8%

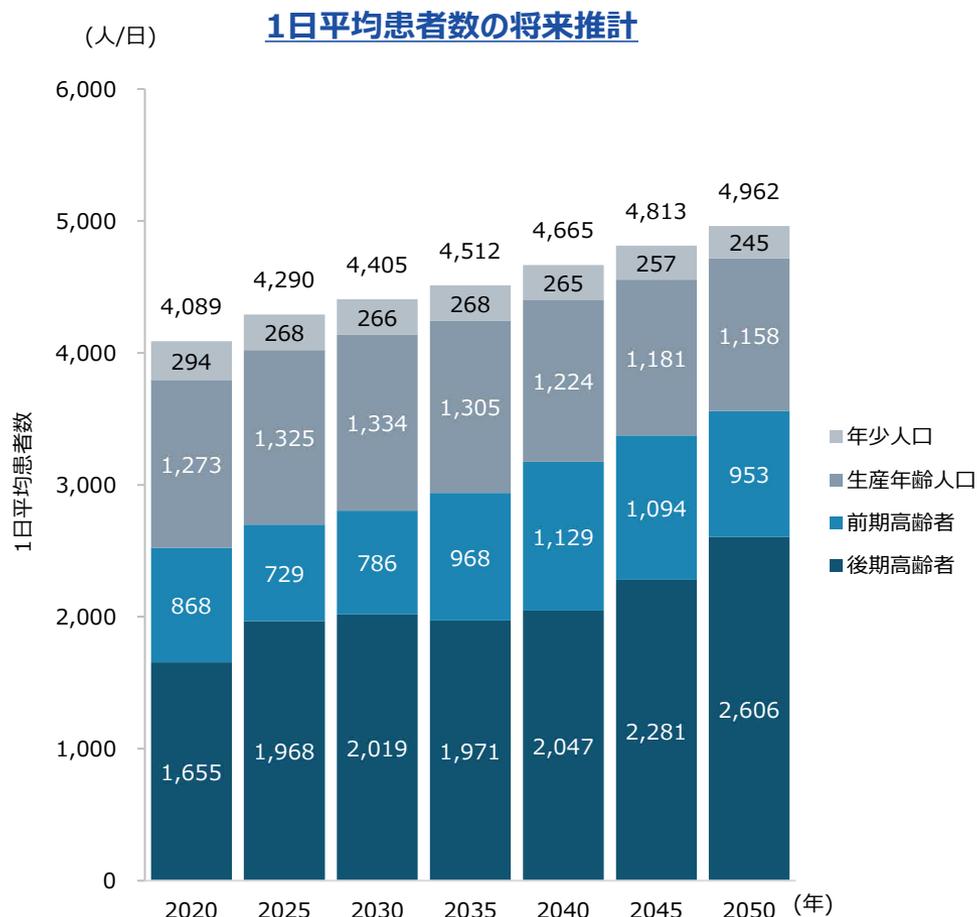
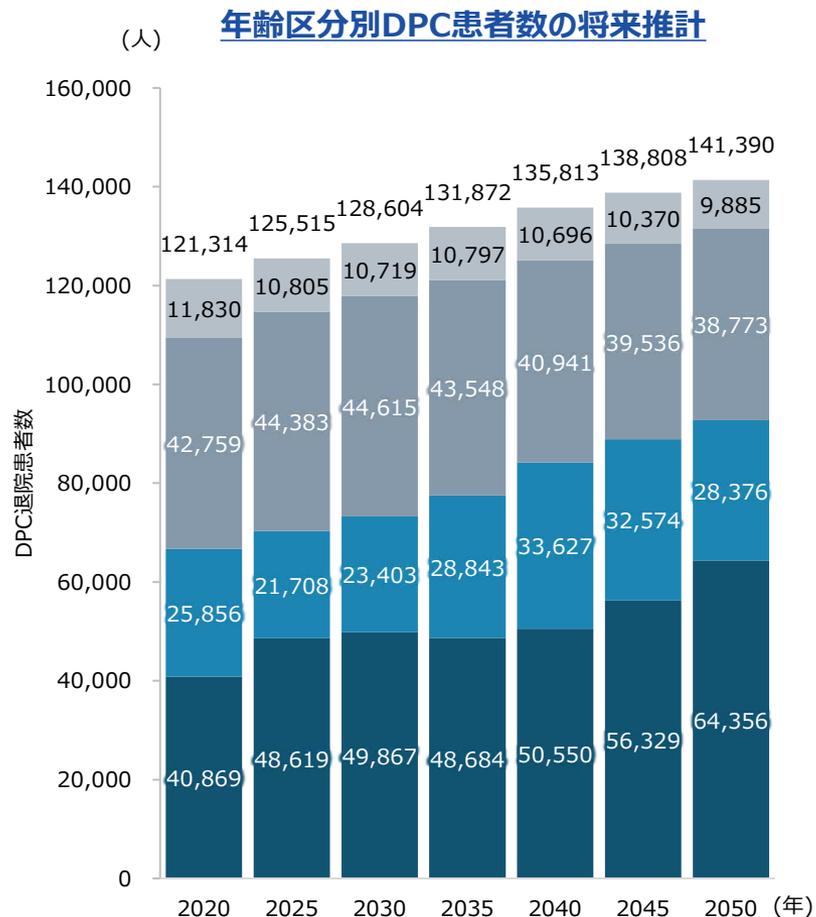
東葛南部医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



東葛南部医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。

多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にあります。その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。

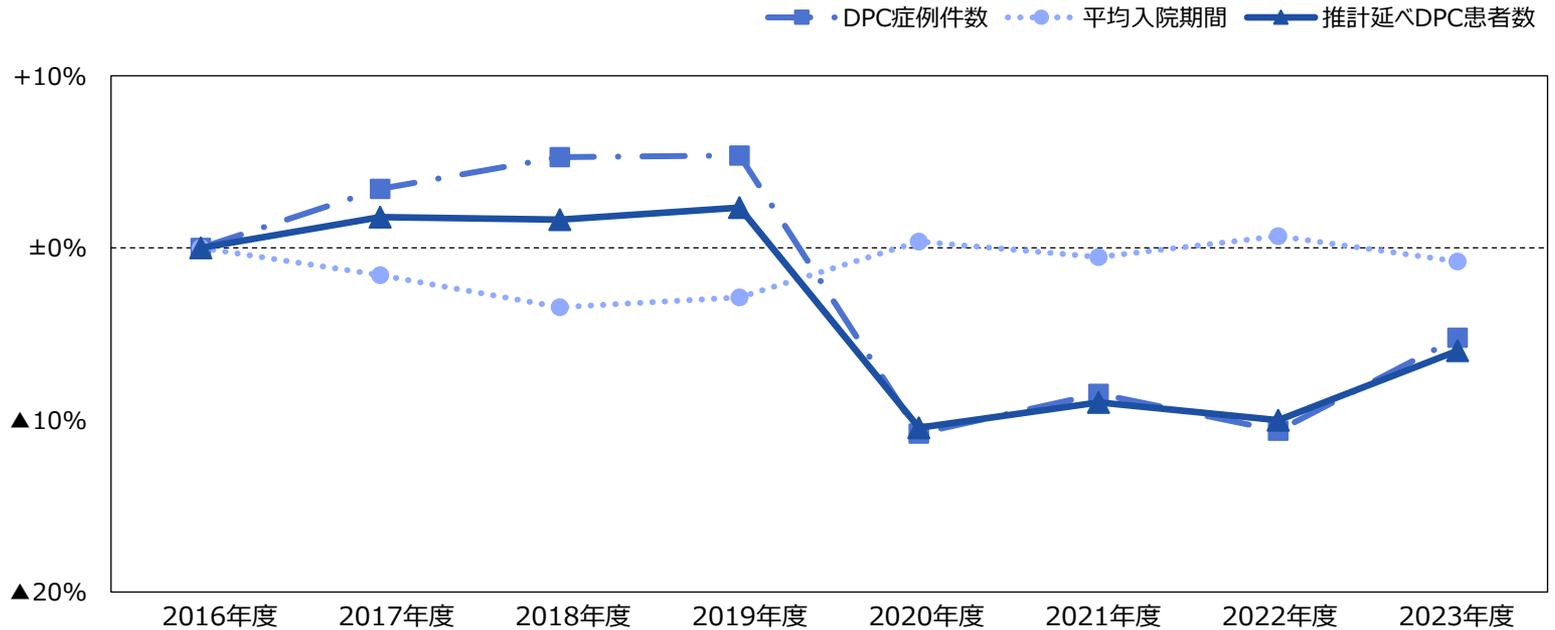


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

参考：東葛南部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移 (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



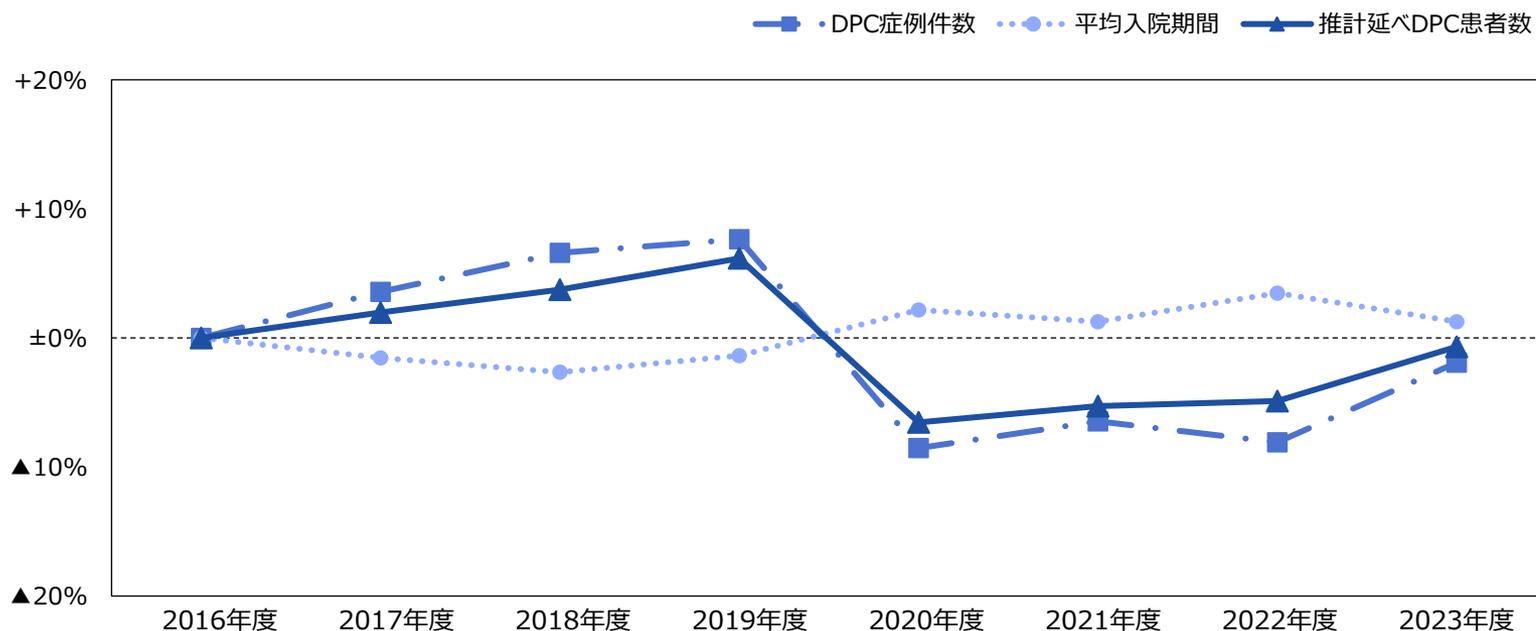
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	16	16	16	16	16	16	16	16
DPC症例件数	107,615	111,313	113,292	113,389	96,010	98,483	96,178	101,994
(2016年比)	-	+3.4%	+5.3%	+5.4%	▲10.8%	▲8.5%	▲10.6%	▲5.2%
平均入院期間	11.9	11.7	11.5	11.5	11.9	11.8	11.9	11.8
(2016年比)	-	▲1.6%	▲3.5%	▲2.9%	+0.4%	▲0.5%	+0.7%	▲0.8%
推計延べDPC患者数	1,276,751	1,299,680	1,297,726	1,306,605	1,143,291	1,162,089	1,148,839	1,200,432
(2016年比)	-	+1.8%	+1.6%	+2.3%	▲10.5%	▲9.0%	▲10.0%	▲6.0%

参考：東葛南部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	27	29	37	40	41	44	45	48
DPC症例件数	121,667	126,009	129,676	130,964	111,279	113,814	111,836	119,335
(2016年比)	-	+3.6%	+6.6%	+7.6%	▲8.5%	▲6.5%	▲8.1%	▲1.9%
平均入院期間	12.1	11.9	11.8	11.9	12.3	12.2	12.5	12.2
(2016年比)	-	▲1.5%	▲2.7%	▲1.4%	+2.2%	+1.3%	+3.5%	+1.3%
推計延べDPC患者数	1,469,457	1,498,386	1,524,563	1,560,009	1,373,233	1,391,905	1,397,550	1,459,372
(2016年比)	-	+2.0%	+3.8%	+6.2%	▲6.5%	▲5.3%	▲4.9%	▲0.7%

参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

参考：東葛南部医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

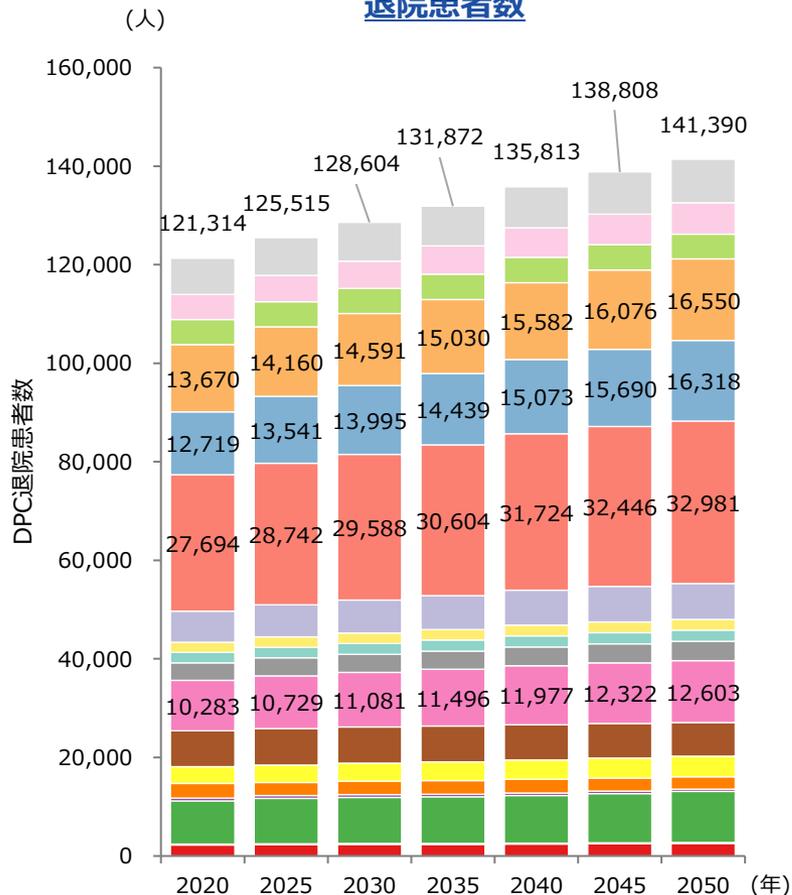
MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	17.88	17.37	17.58	▲2.9%	▲1.7%
02_眼科系	5.06	4.89	4.60	▲3.3%	▲9.0%
03_耳鼻咽喉系	6.59	6.50	6.74	▲1.3%	2.3%
04_呼吸器系	14.88	14.64	16.33	▲1.6%	9.8%
05_循環器系	11.68	11.89	12.49	1.9%	7.0%
06_消化器系	10.14	9.83	9.65	▲3.0%	▲4.8%
07_筋骨格系	14.67	14.06	13.81	▲4.2%	▲5.8%
08_皮膚・皮下組織	11.65	11.23	12.48	▲3.6%	7.1%
09_乳房	8.86	8.23	7.57	▲7.1%	▲14.5%
10_内分泌・栄養・代謝	12.39	13.30	14.90	7.4%	20.3%
11_腎・尿路系	10.63	10.64	10.38	0.0%	▲2.4%
12_女性疾患	9.35	8.43	7.49	▲9.8%	▲19.9%
13_血液系	21.63	21.03	21.08	▲2.8%	▲2.6%
14_新生児	14.54	14.75	13.69	1.5%	▲5.8%
15_小児疾患	7.41	7.88	8.15	6.5%	10.1%
16_外傷・熱傷・中毒	12.68	11.53	12.54	▲9.0%	▲1.1%
17_精神疾患	10.36	15.03	15.15	45.0%	46.2%
18_その他	18.64	18.67	18.10	0.2%	▲2.9%
全体	11.87	11.55	11.84	▲2.7%	▲0.3%

東葛南部医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

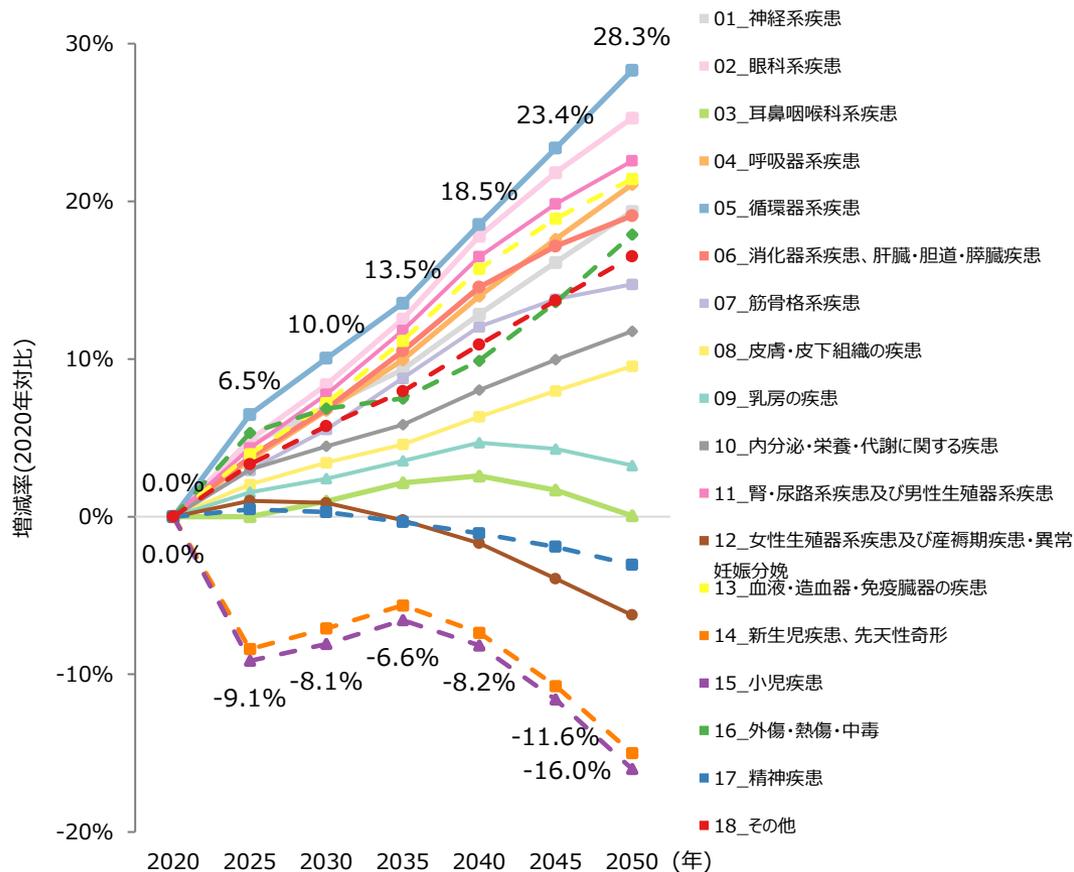
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。

多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。

退院患者数



増減率

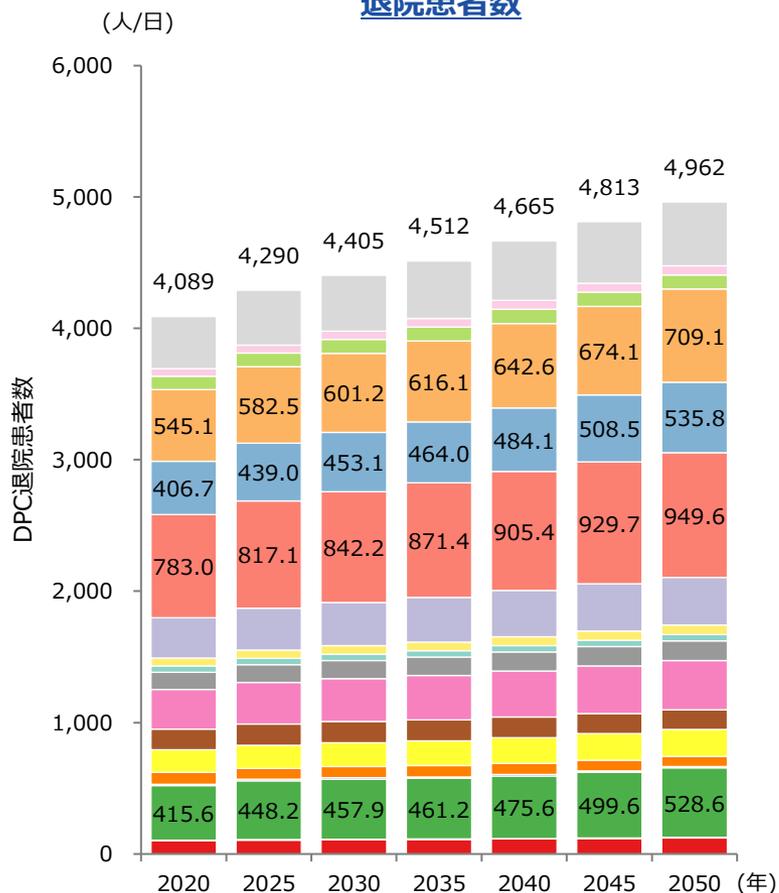


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。

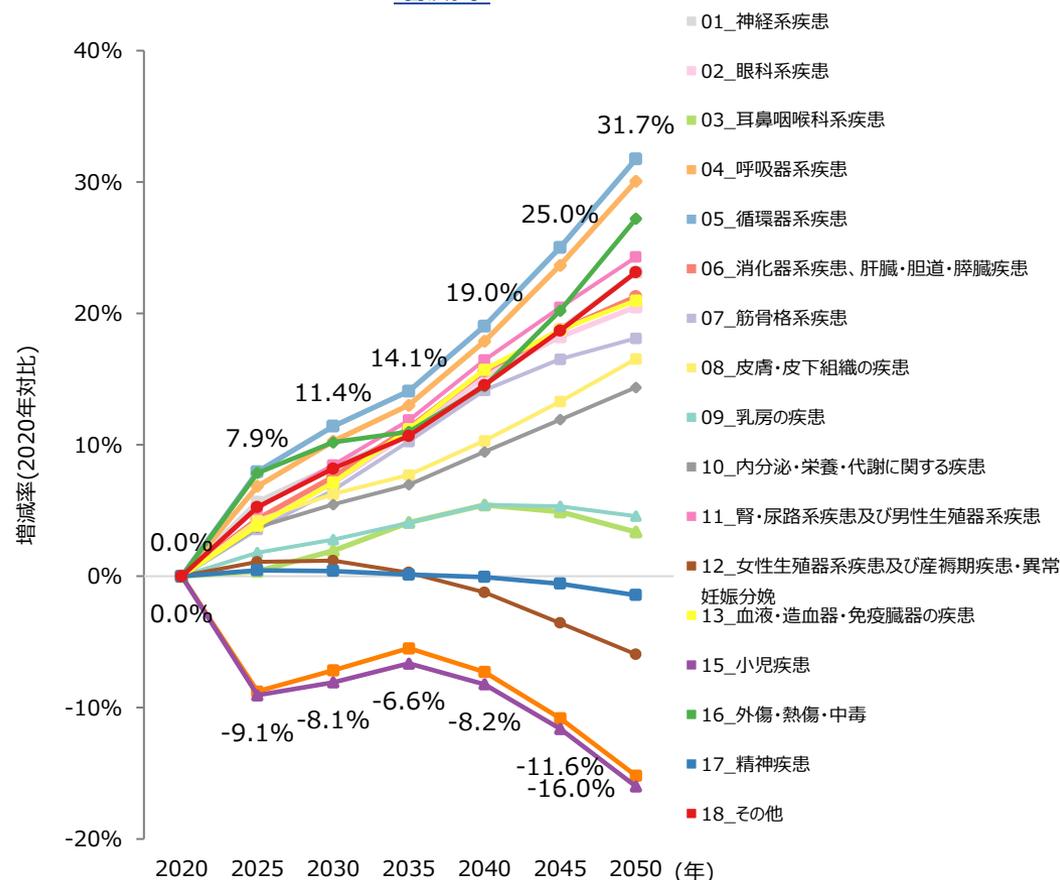
東葛南部医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。

退院患者数



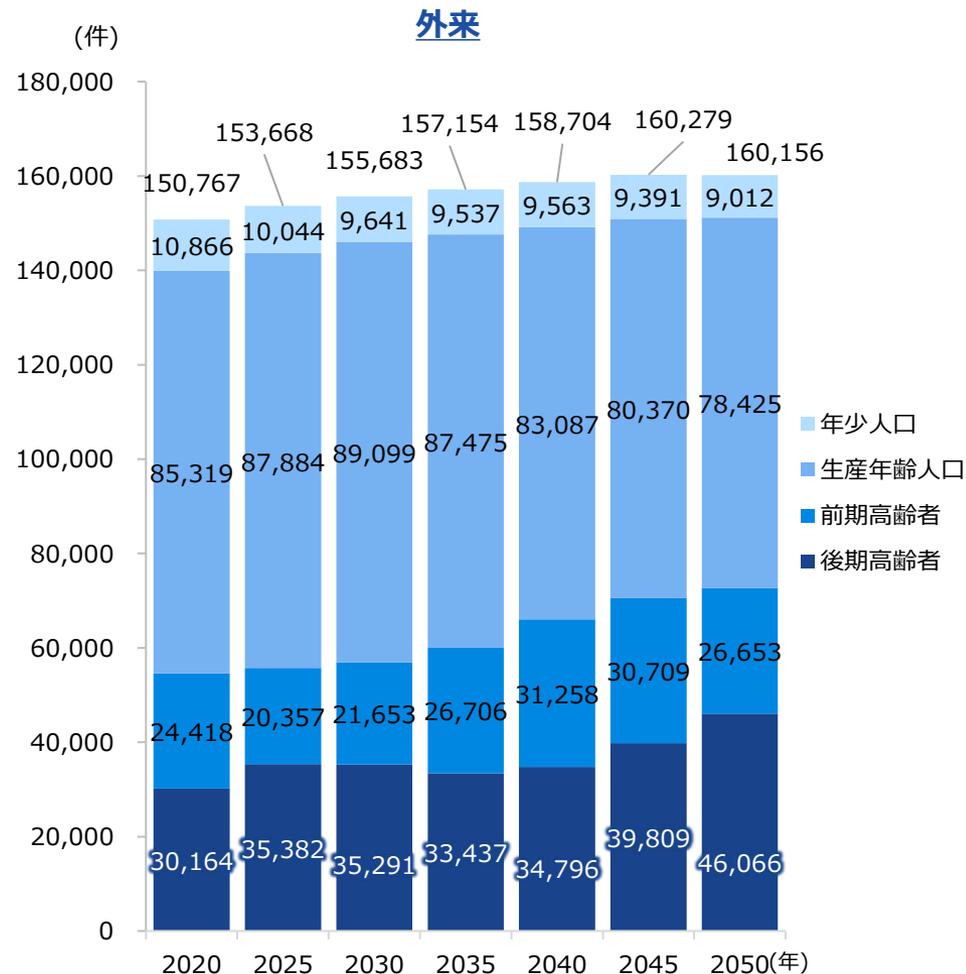
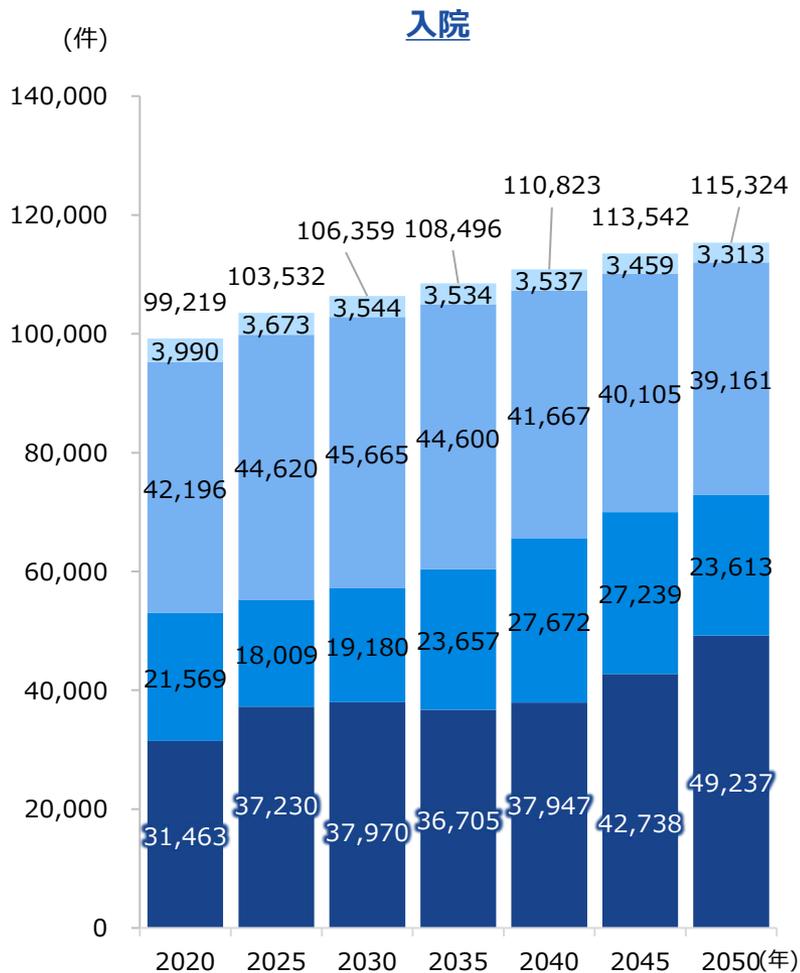
増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

東葛南部医療圏 | 手術件数の推計

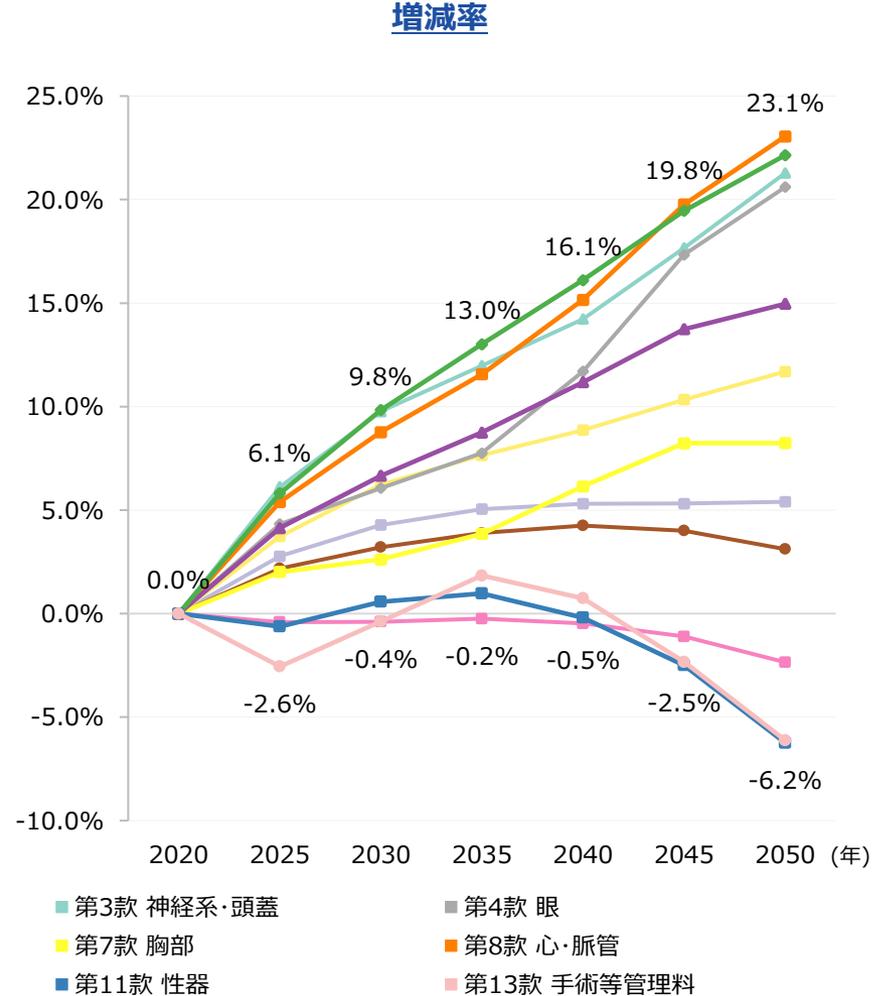
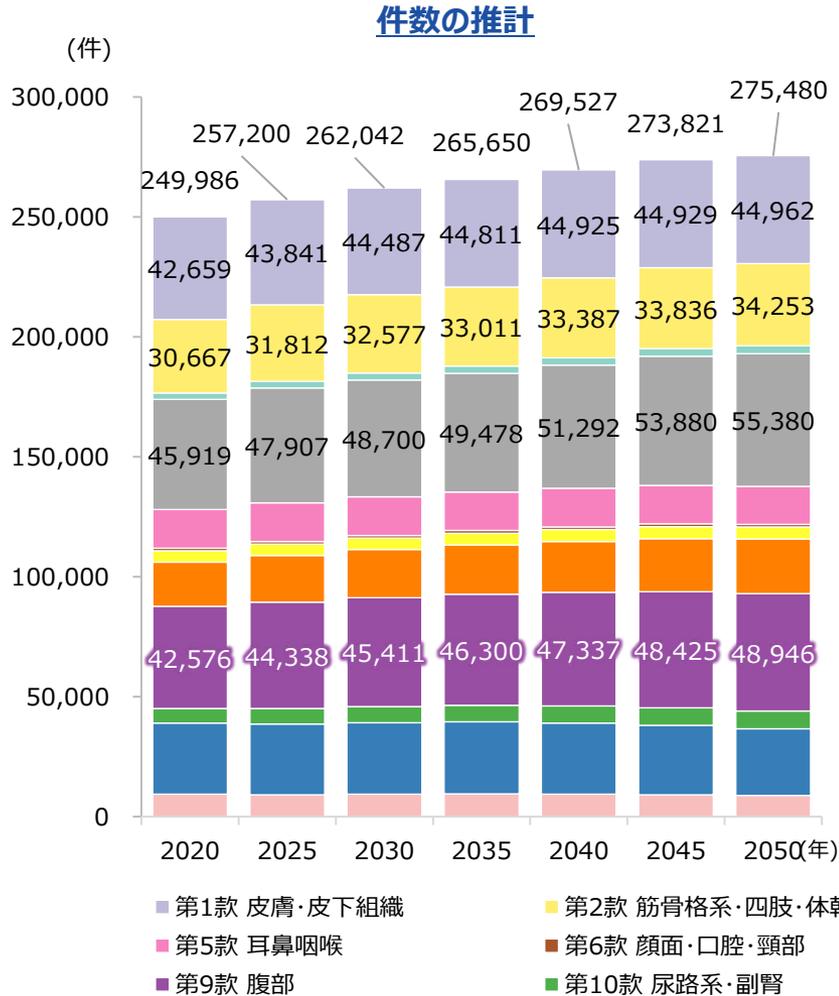
年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

東葛南部医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。



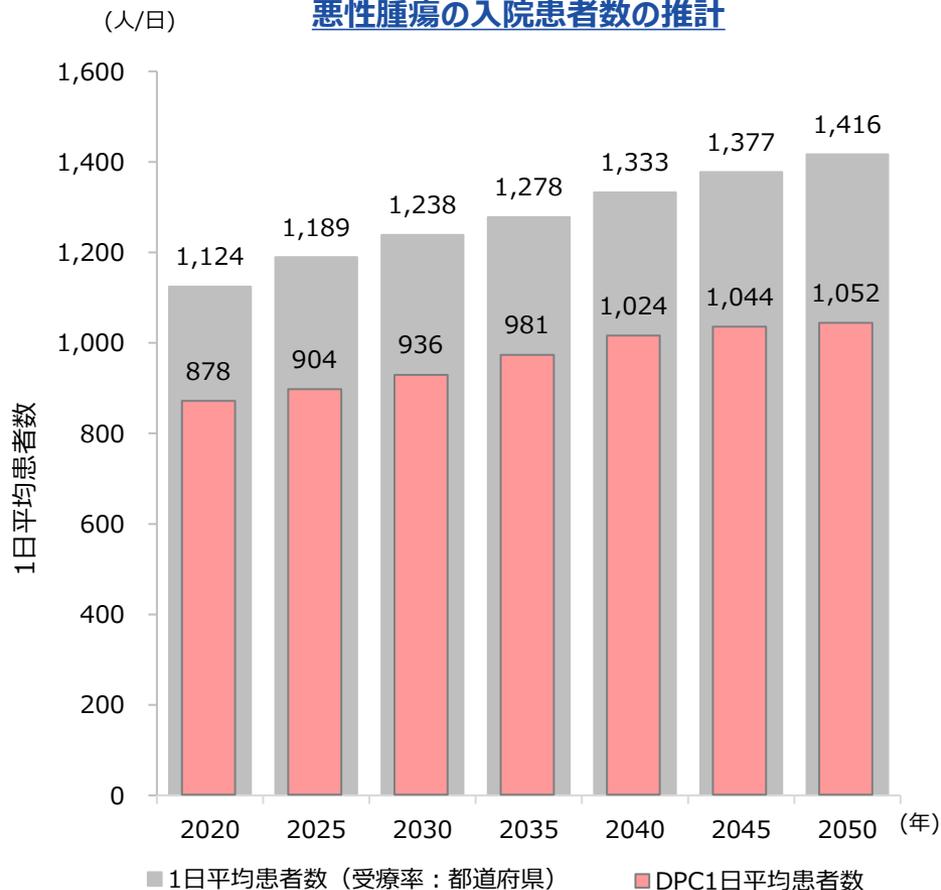
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

東葛南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

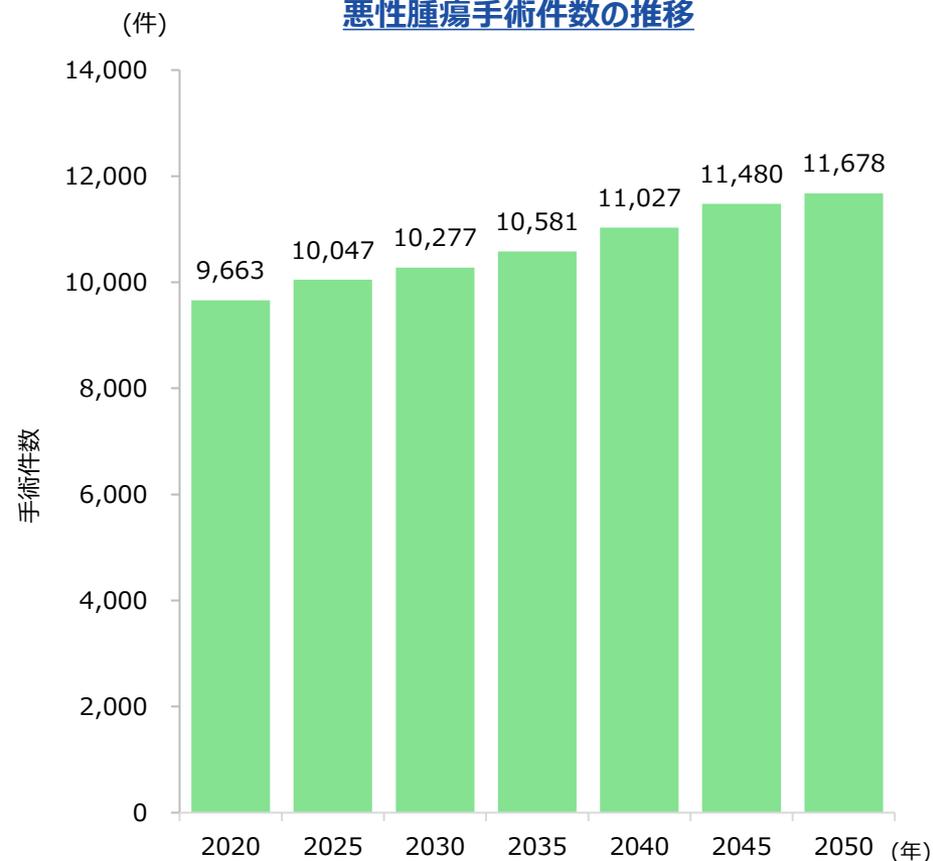
悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。

悪性腫瘍の入院患者数の推計



悪性腫瘍手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

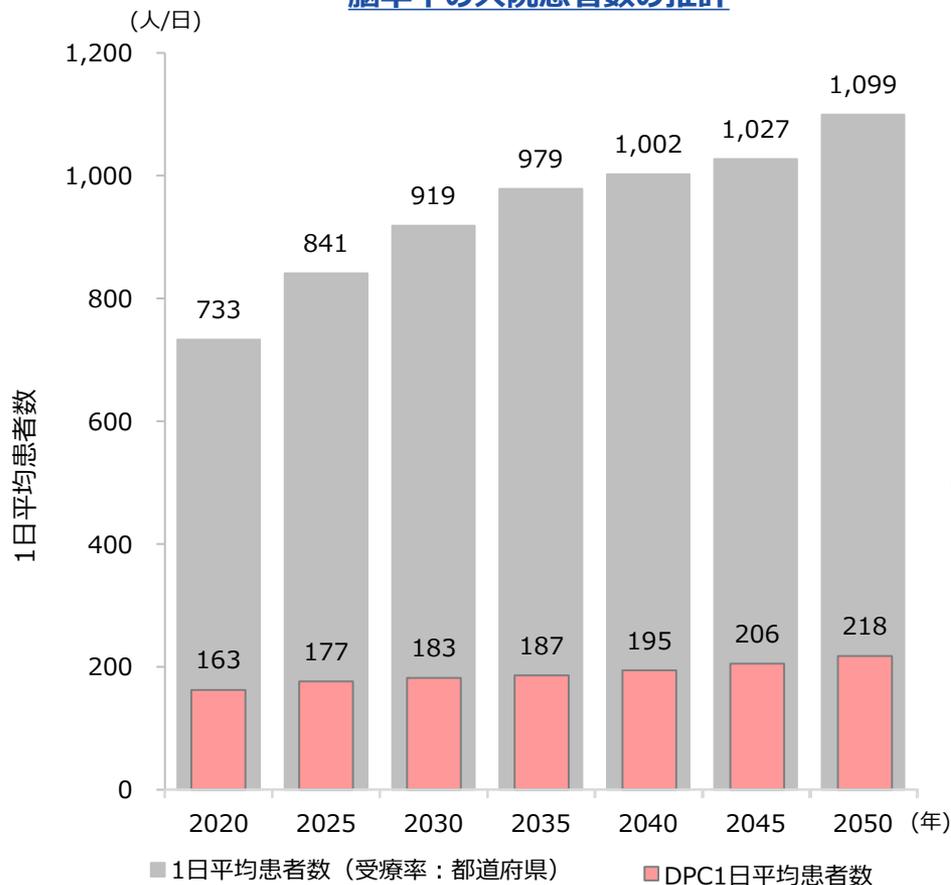
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

東葛南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

脳卒中の入院患者数の推計



脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

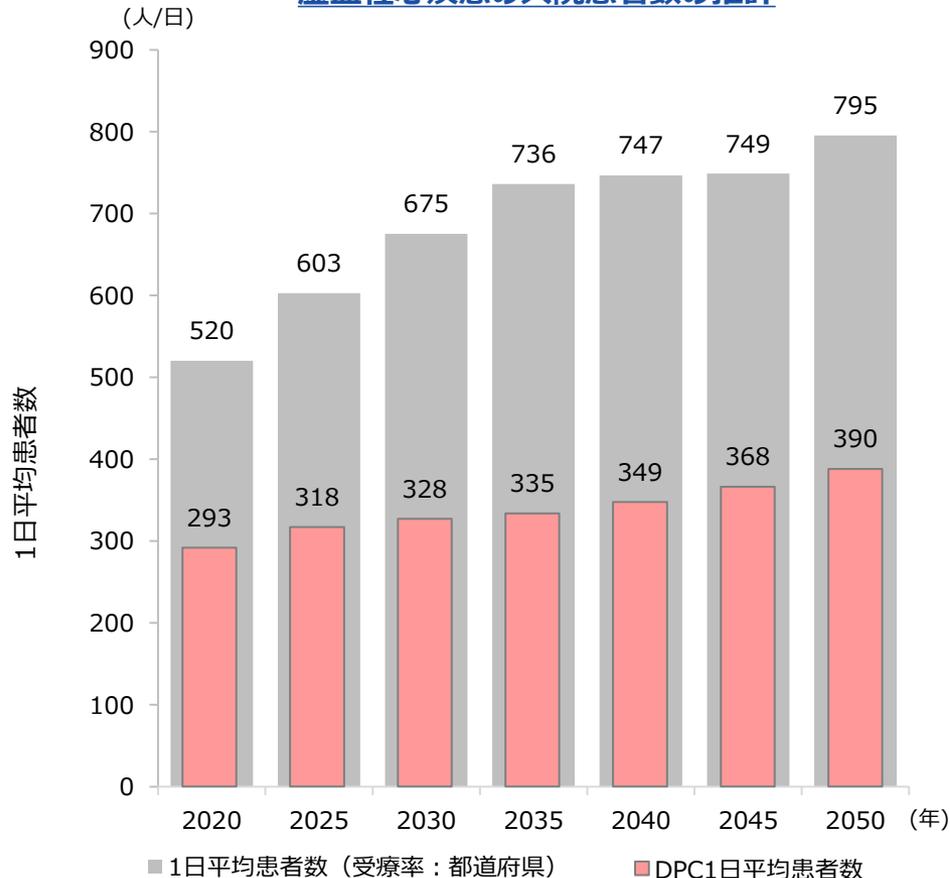
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

東葛南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にあります。DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

虚血性心疾患の入院患者数の推計



心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

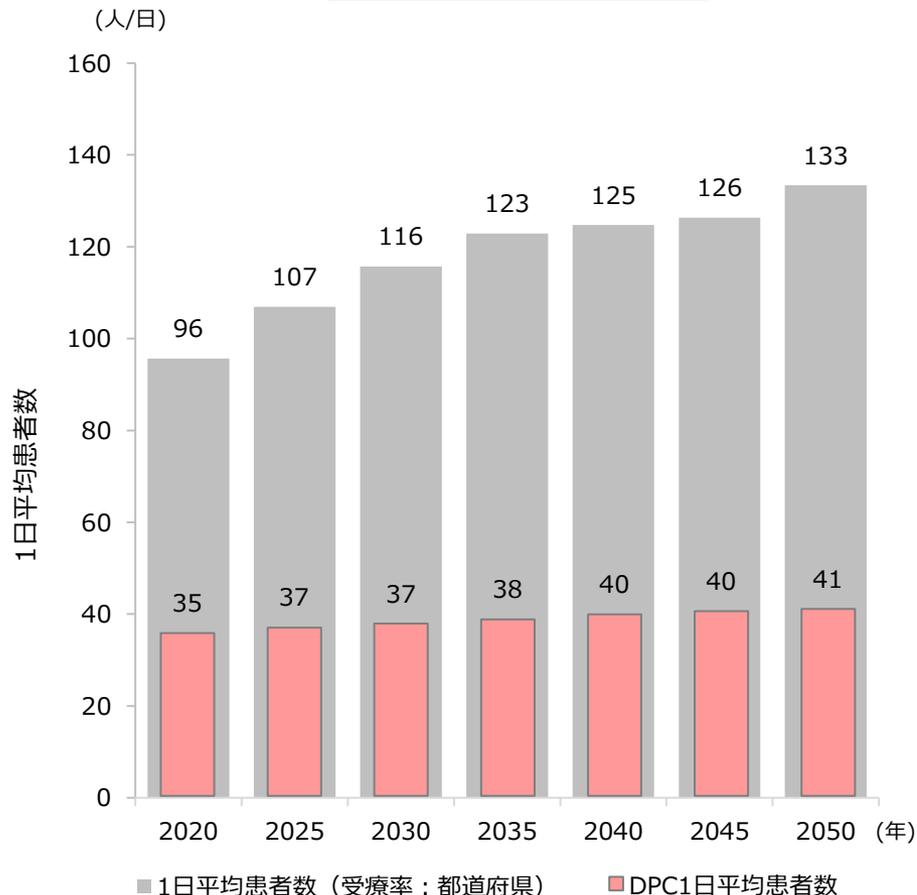
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

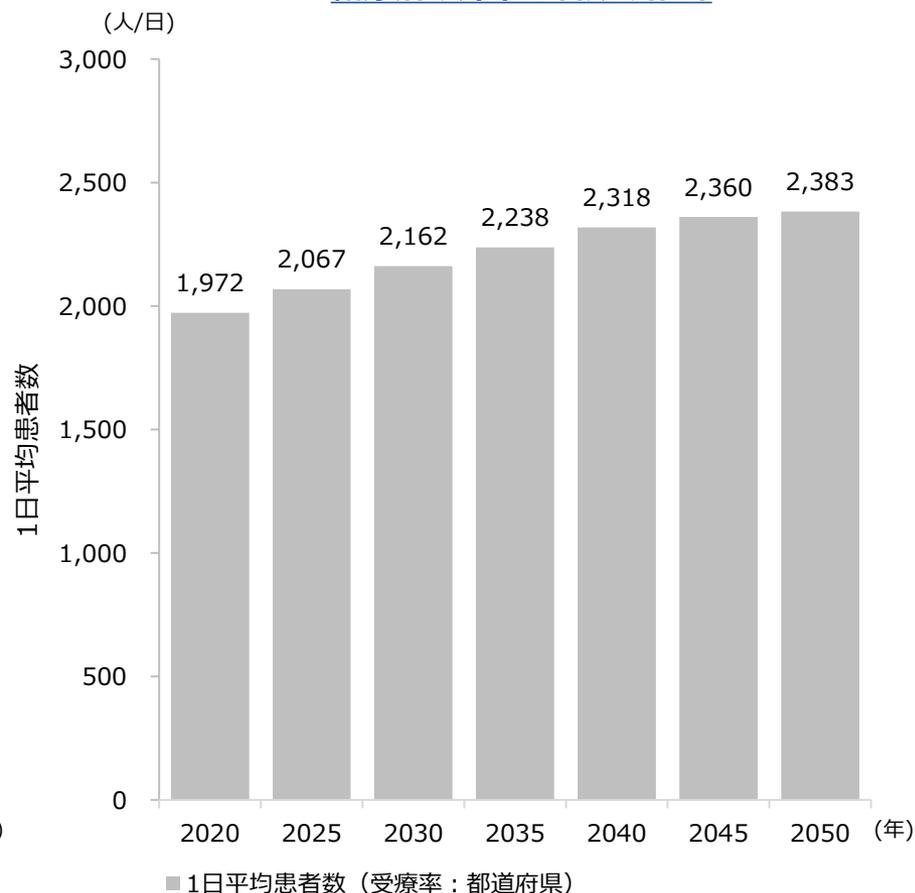
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

東葛南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：糖尿病

糖尿病の入院患者数の推計



糖尿病の外来患者数の推計



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

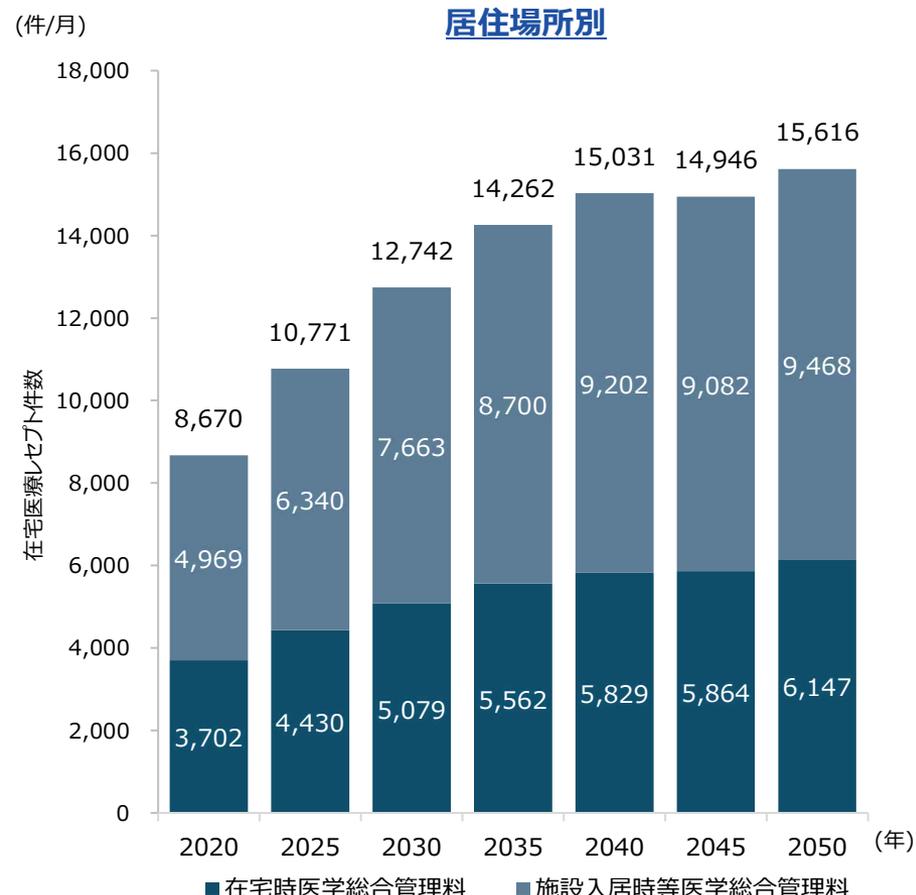
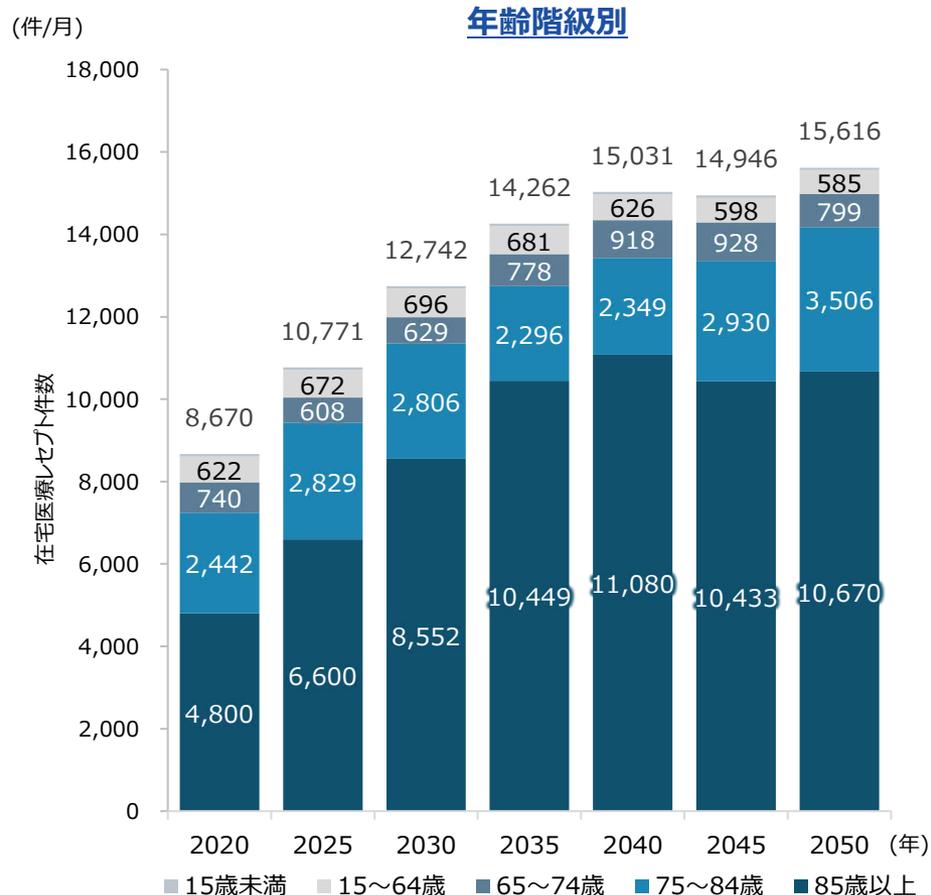
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

東葛南部医療圏 | 在宅医療患者数の推計

全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。

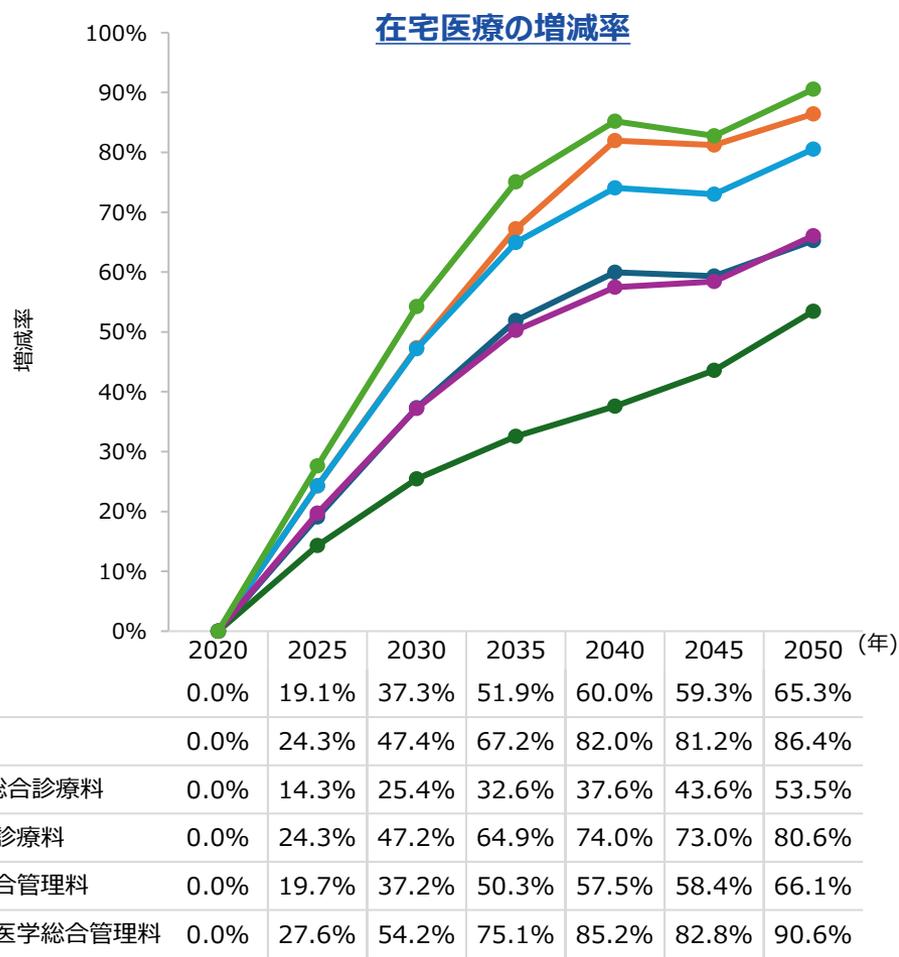
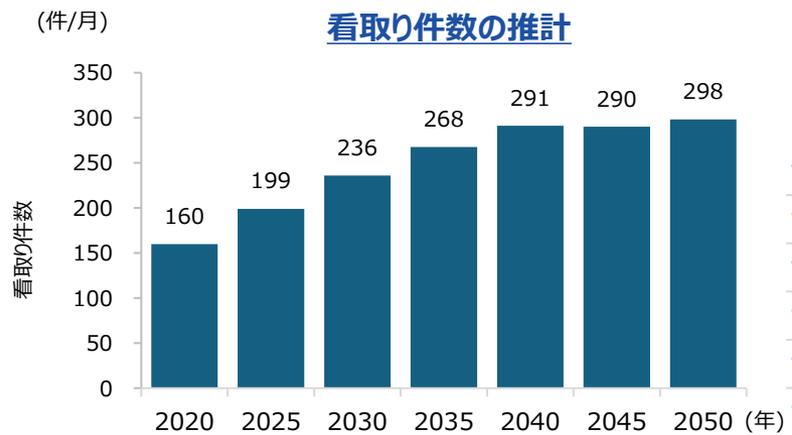
月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

東葛南部医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。
 多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

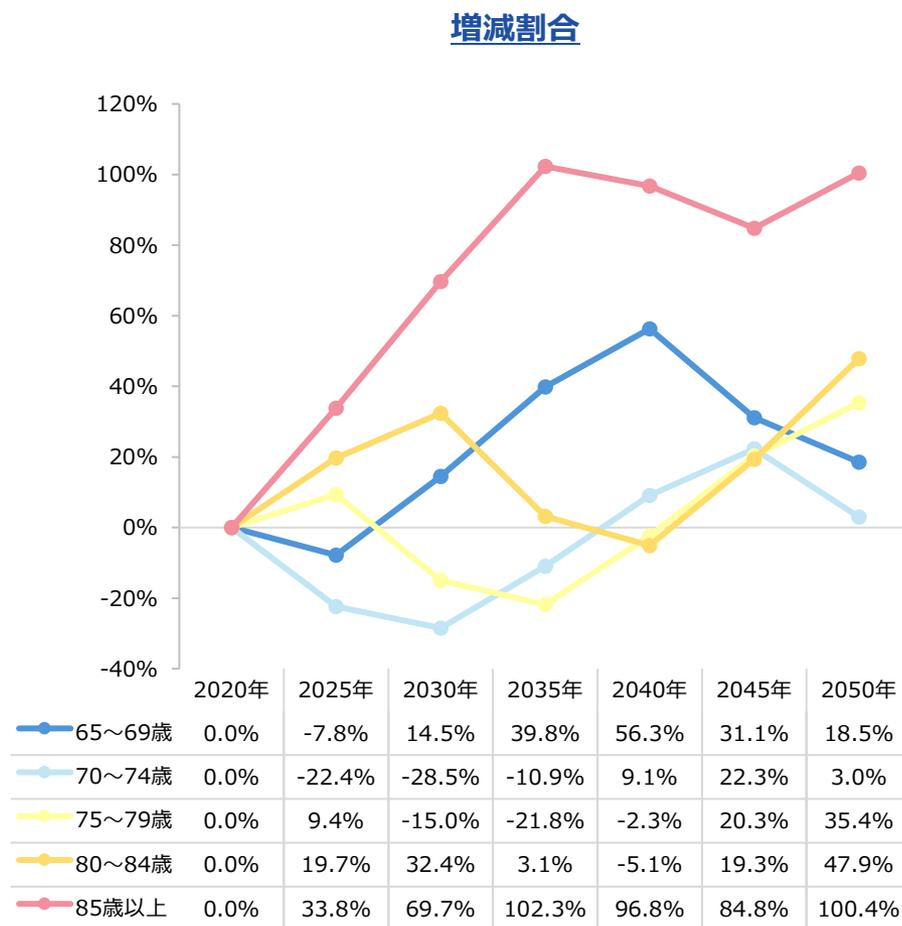
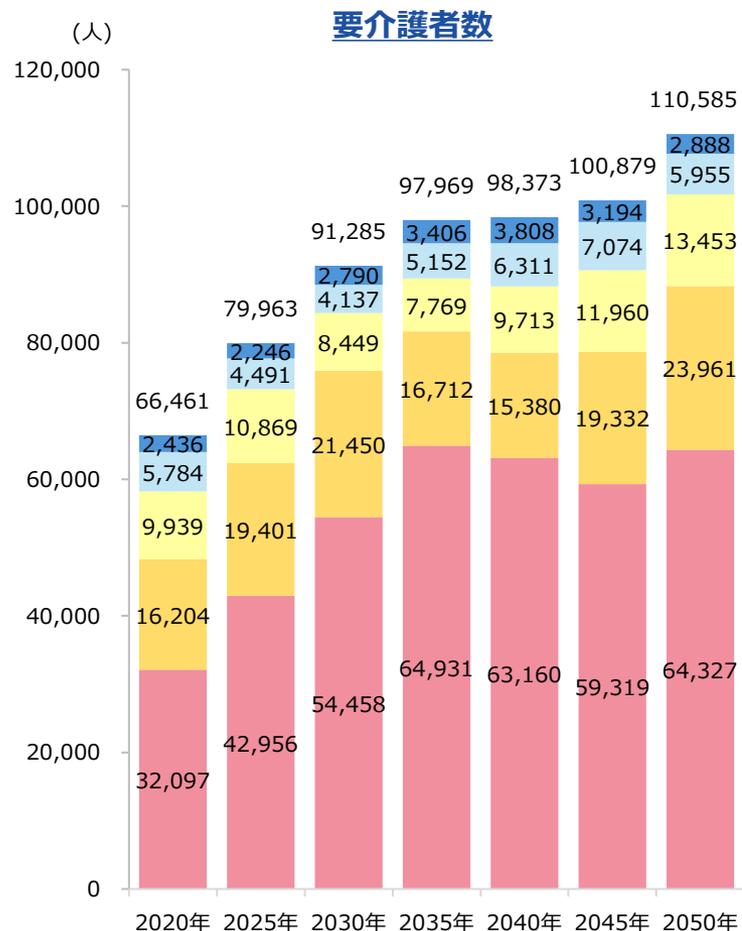


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

東葛南部医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)

多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。



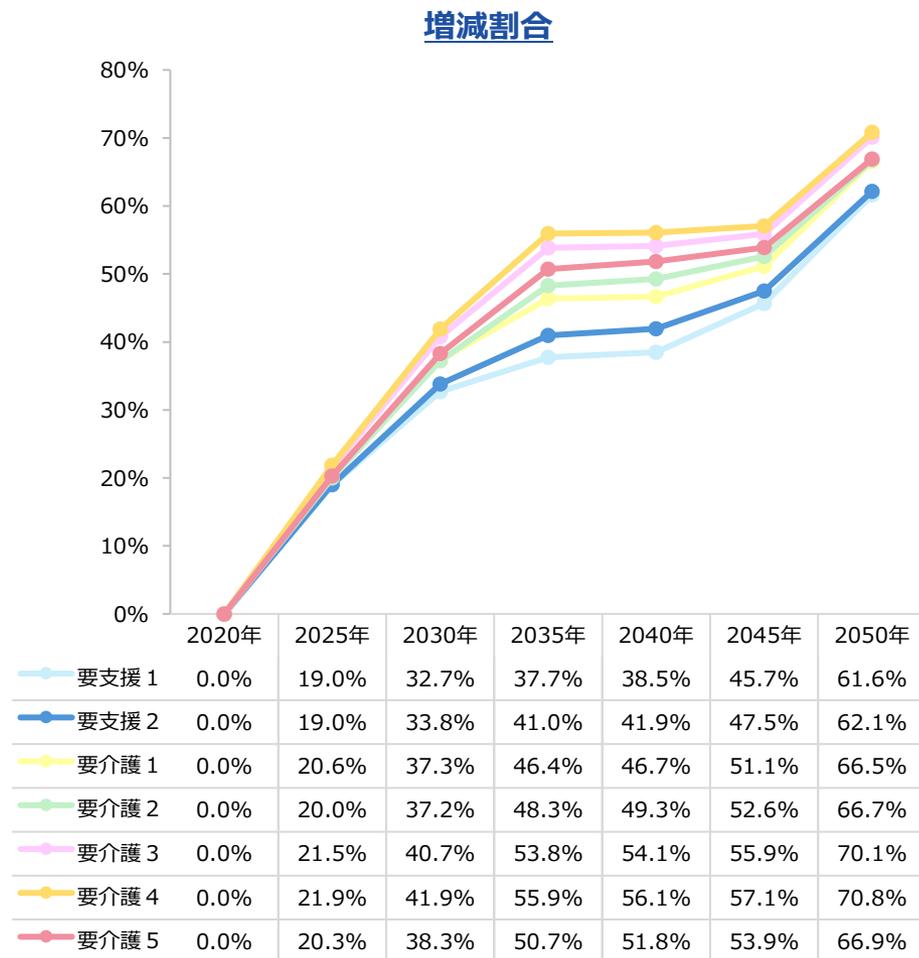
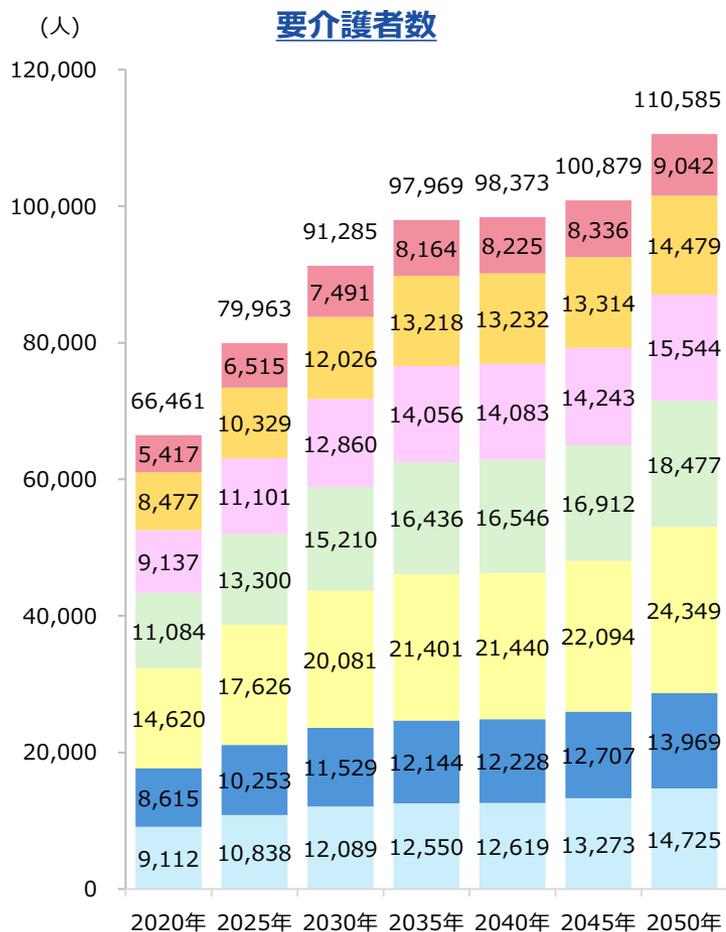
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

東葛南部医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。（介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります）
 要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

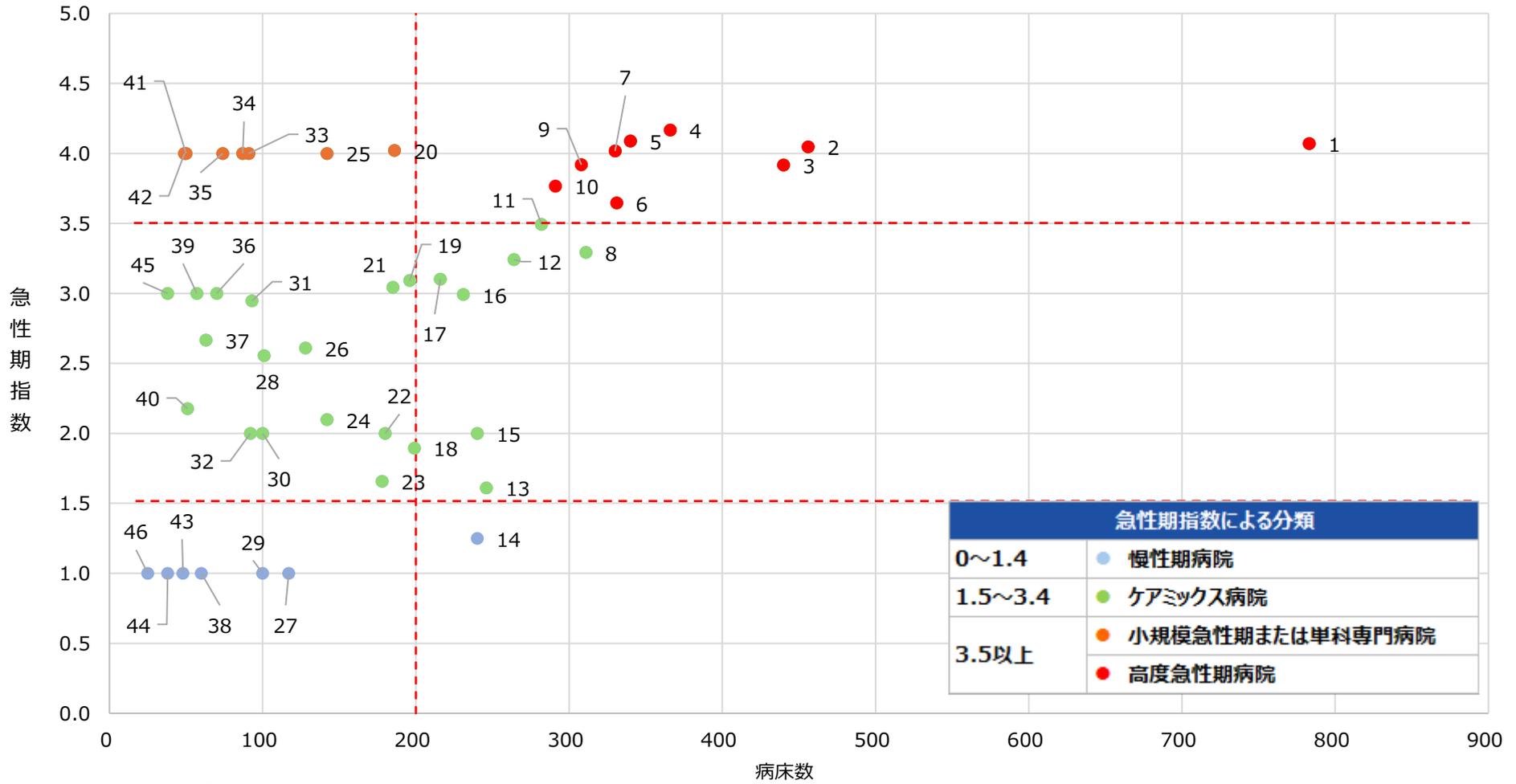
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

東葛南部医療圏 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



※休棟中等を除く
 ※図表中の数字は、医療機関一覧表のNo.と対応しています

東葛南部医療圏 | ポジショニングマップ

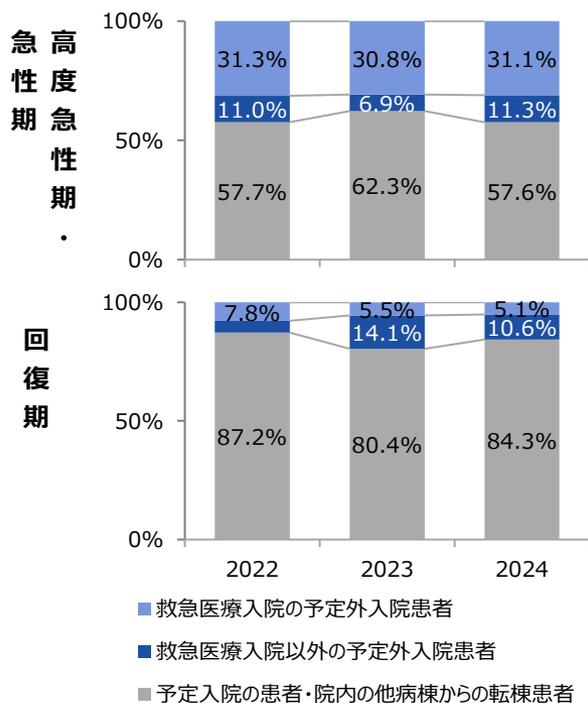
No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	順天堂大学医学部附属浦安病院	783	4.1
2	東京歯科大学市川総合病院	456	4.0
3	船橋市立医療センター	440	3.9
4	東京女子医科大学附属八千代医療センター	366	4.2
5	東京ベイ・浦安市川医療センター	340	4.1
6	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	331	3.6
7	済生会習志野病院	330	4.0
8	千葉徳洲会病院	311	3.3
9	JCHO船橋中央病院	308	3.9
10	行徳総合病院	291	3.8
11	セコメディック病院	282	3.5
12	津田沼中央総合病院	264	3.2
13	新八千代病院	246	1.6
14	島田台総合病院	240	1.3
15	八千代リハビリテーション病院	240	2.0
16	船橋二和病院	231	3.0
17	谷津保健病院	216	3.1
18	タムス浦安病院	199	1.9
19	大野中央病院	196	3.1
20	国立国際医療研究センター国府台病院	186	4.0
21	国際医療福祉大学市川病院	185	3.0
22	船橋市立リハビリテーション病院	180	2.0
23	セントマーガレット病院	178	1.7
24	北習志野花輪病院	142	2.1
25	習志野第一病院	142	4.0

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	市川東病院	128	2.6
27	第2北総病院	117	1.0
28	東邦鎌谷病院	101	2.6
29	高根台病院	100	1.0
30	タムス市川リハビリテーション病院	100	2.0
31	東船橋病院	93	2.9
32	薬園台リハビリテーション病院	92	2.0
33	板倉病院	91	4.0
34	勝田台病院	87	4.0
35	船橋整形外科病院	74	4.0
36	秋元病院	70	3.0
37	浦安中央病院	63	2.7
38	浦安高柳病院	60	1.0
39	青山病院	57	3.0
40	滝不動病院	51	2.2
41	船橋総合病院	50	4.0
42	浦安病院	49	4.0
43	いけだ病院	48	1.0
44	初富保健病院	38	1.0
45	山口病院	38	3.0
46	行徳中央病院	25	1.0

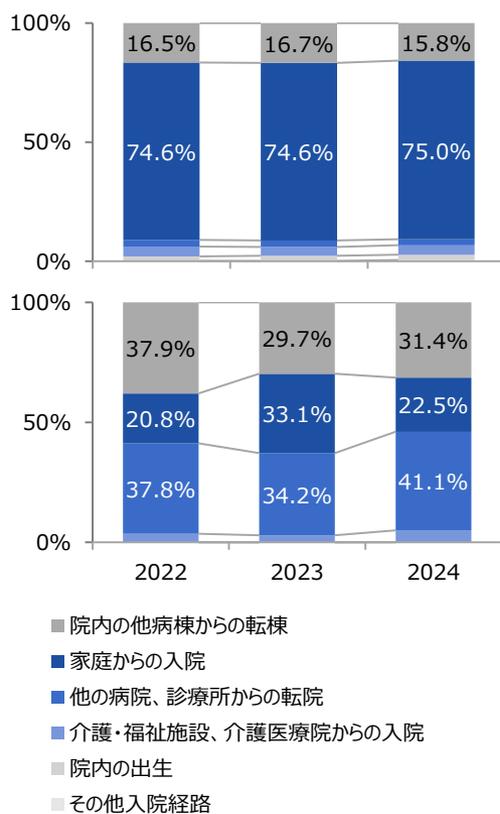
東葛南部医療圏 | 入退棟経路の傾向

当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。
「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

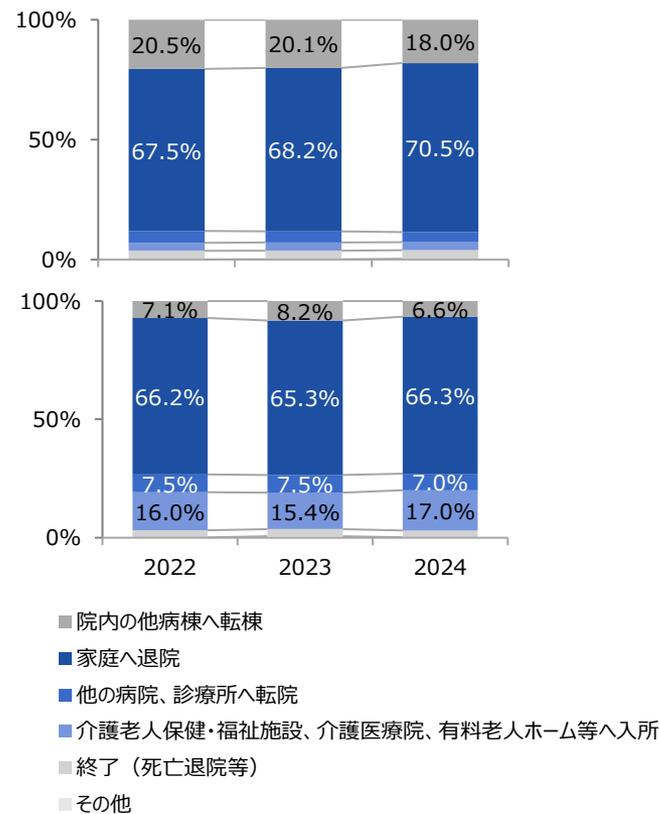
入棟時の状況の変化



入棟経路の変化



退棟先の変化



東葛南部医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	順天堂大学医学部附属浦安病院	浦安市	その他	三次救急	407.7	343	84.1%	894.9	4	3	6
2	東京ベイ・浦安市川医療センター	浦安市	その他	三次救急	208.4	179	85.9%	388.7	2	2	6
3	東京歯科大学市川総合病院	市川市	その他	二次救急	186.9	173	92.6%	589.4	3	2	7
4	東京女子医科大学附属八千代医療センター	八千代市	その他	三次救急	174.1	149	85.6%	433.2	3	2	4
5	船橋市立医療センター	船橋市	公的医療機関	三次救急	167.5	145	86.6%	563.8	3	2	8
6	済生会習志野病院	習志野市	公的医療機関	二次救急	121.0	113	93.4%	377.7	2	2	4
7	国立国際医療研究センター国府台病院	市川市	国立病院	二次救急	110.2	90	81.7%	255.6	2	1	4
8	千葉徳洲会病院	船橋市	医療法人	二次救急	96.7	61	63.1%	330.6	4	2	7
9	津田沼中央総合病院	習志野市	医療法人	二次救急	85.9	71	82.7%	233.8	1	2	1
10	行徳総合病院	市川市	医療法人	二次救急	79.9	55	68.8%	278.9	1	1	2
11	習志野第一病院	習志野市	医療法人	二次救急	64.0	25	39.1%	226.3	1	2	0
12	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	鎌ヶ谷市	医療法人	二次救急	62.0	49	79.0%	329.4	4	2	6
13	JCHO船橋中央病院	船橋市	国立病院	二次救急	61.3	58	94.6%	377.4	2	1	1
14	セコムディック病院	船橋市	医療法人	二次救急	60.4	48	79.5%	241.5	1	2	3
15	船橋総合病院	船橋市	医療法人	二次救急	49.0	37	75.5%	214.9	2	1	1
16	船橋二和病院	船橋市	医療法人	二次救急	47.3	42	88.8%	196.3	1	1	2
17	国際医療福祉大学市川病院	市川市	その他	二次救急	44.8	37	82.6%	166.4	2	1	0
18	谷津保健病院	習志野市	医療法人	二次救急	30.1	22	73.1%	147.5	1	1	2
19	板倉病院	船橋市	医療法人	二次救急	27.6	21	76.1%	81.1	1	1	1
20	東邦鎌谷病院	鎌ヶ谷市	医療法人	二次救急	25.3	18	71.1%	75.8	3	3	1
21	大野中央病院	市川市	医療法人	二次救急	21.1	15	71.1%	116.1	1	1	1
22	東船橋病院	船橋市	医療法人	二次救急	15.7	9	57.3%	68.6	1	1	2
23	北習志野花輪病院	船橋市	医療法人	二次救急	15.3	5	32.7%	92.6	1	1	1
24	セントマーガレット病院	八千代市	医療法人	二次救急	14.4	8	55.6%	87.2	1	1	2
25	新八千代病院	八千代市	医療法人	二次救急	13.3	9	67.7%	91.7	1	0	0

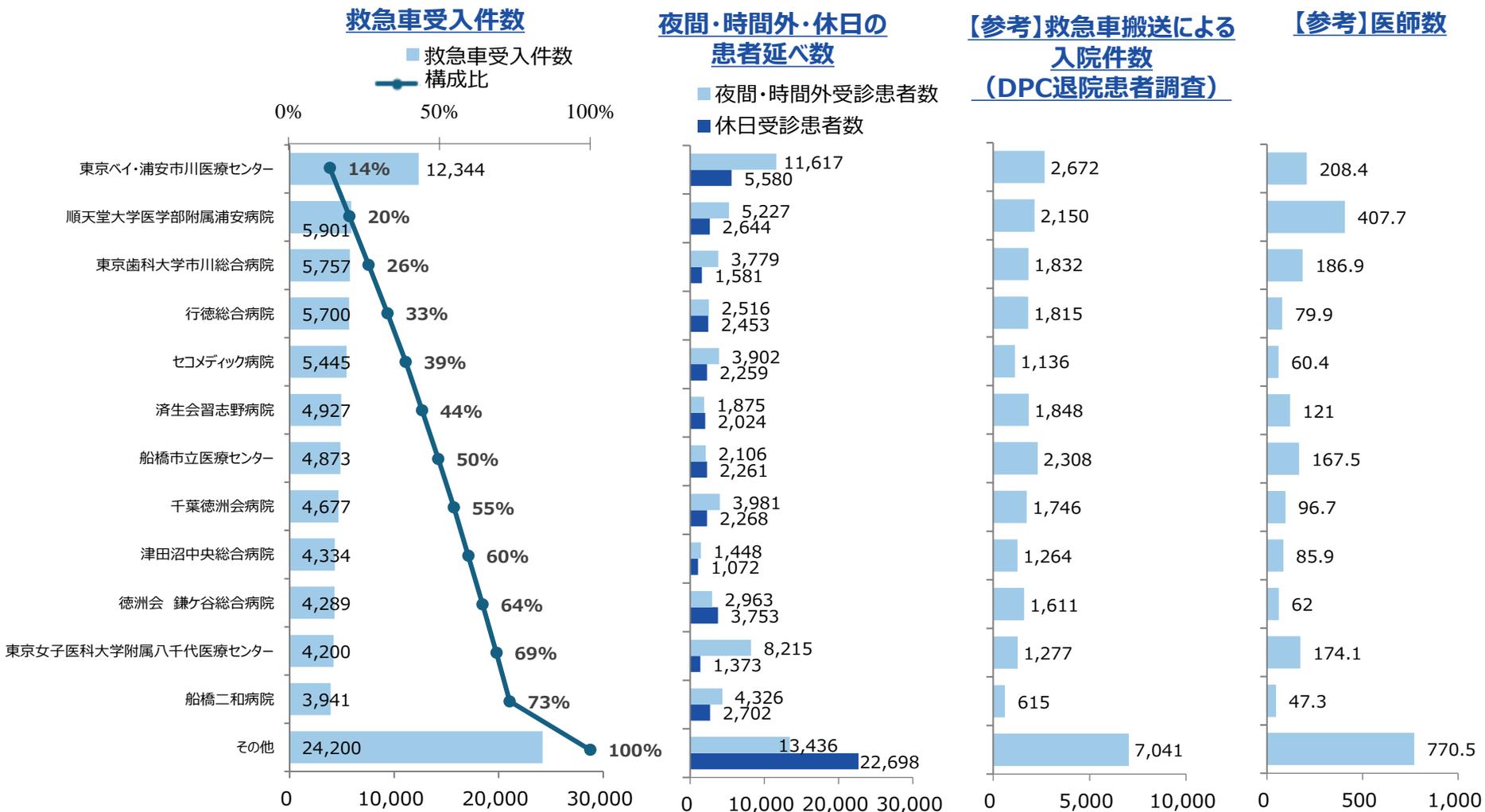
東葛南部医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要②

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
26	青山病院	船橋市	医療法人	二次救急	13.0	4	30.8%	15.8	1	0	0
27	島田台総合病院	八千代市	医療法人	二次救急	12.3	8	65.0%	73.0	1	1	0
28	勝田台病院	八千代市	医療法人	二次救急	11.5	9	78.3%	68.6	1	1	1
29	市川東病院	市川市	医療法人	二次救急	11.3	7	61.9%	53.5	1	1	0
30	浦安中央病院	浦安市	医療法人	二次救急	9.2	5	54.3%	38.3	1	1	0
31	山口病院	船橋市	医療法人	二次救急	9.1	3	33.0%	57.7	0	0	1
32	一条会病院	市川市	医療法人	二次救急	8.3	3	36.1%	52.0	1	1	0
33	浦安病院	浦安市	医療法人	二次救急	5.1	3	58.8%	25.0	1	0	0

病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。

医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）

東葛南部区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。
 他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流入率			
	人口 (人)	面積 (km ²)	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
千葉県 東葛南部	1,796,572	254	大都市型	無	32	90,588	118,059	2,468	8,383	36.7	47.8	10.8	14.1	64,010	32,896	3,823	▲8.7%
埼玉県 さいたま	1,324,025	217	大都市型	無	23	70,024	94,008	1,757	6,294	39.8	53.5	11.1	14.9	47,788	23,114	2,956	▲5.0%
東京都 区東部	1,494,327	107	大都市型	無	29	75,516	102,426	2,173	7,091	34.8	47.1	10.6	14.4	60,472	28,887	3,880	▲10.2%
大阪府 中河内	827,357	129	大都市型	無	18	44,821	77,497	1,036	4,099	43.3	74.8	10.9	18.9	32,580	14,202	4,066	▲23.9%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化(令和6年度)」(厚生労働省)
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」
 「令和2年国勢調査」(総務省統計局)
 「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

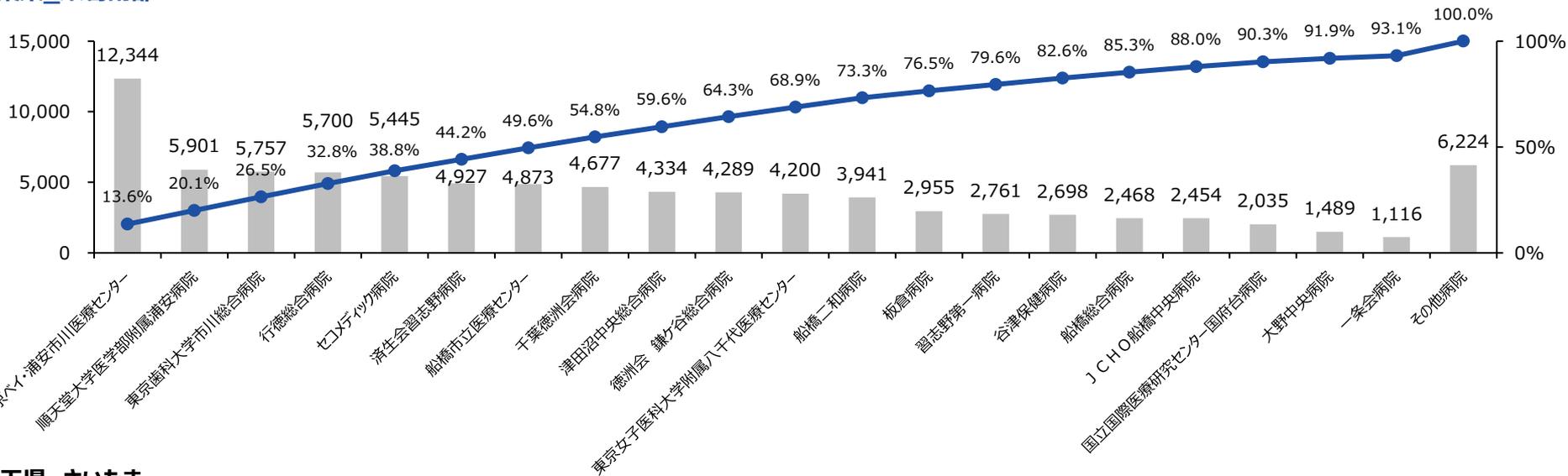
地域区分類型
 大都市型：人口が100万人以上(又は)人口密度が2,000人/km²以上
 地方都市A型：人口が20万人以上
 地方都市B型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km²以上
 過疎地域A型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km²未満
 過疎地域B型：人口が5~10万人
 過疎地域C型：人口が5万人未満

救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

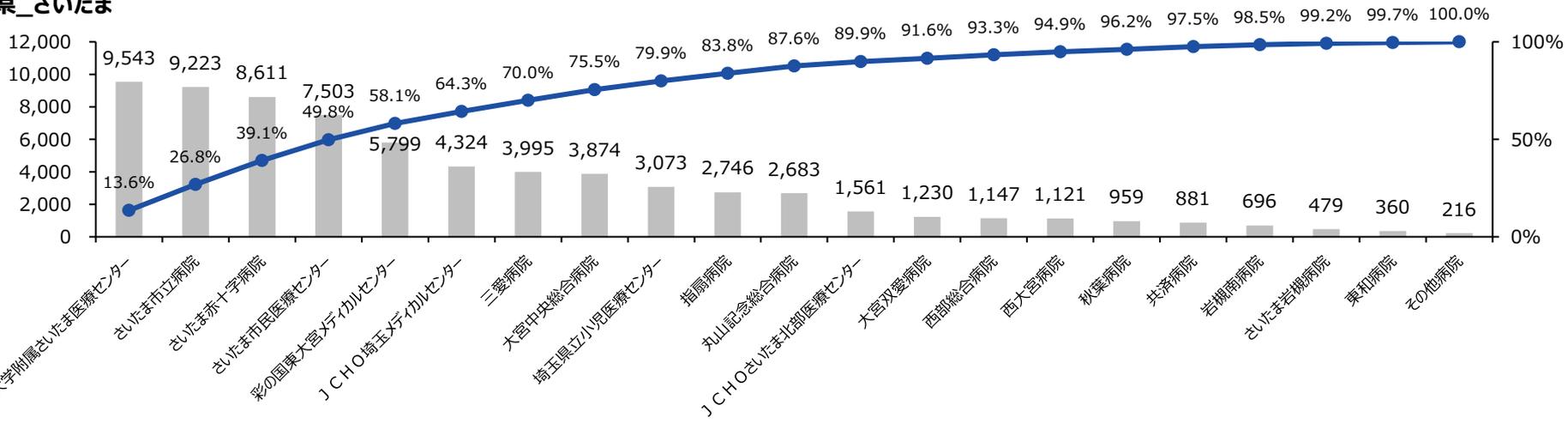
医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。 ■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

千葉県_東葛南部

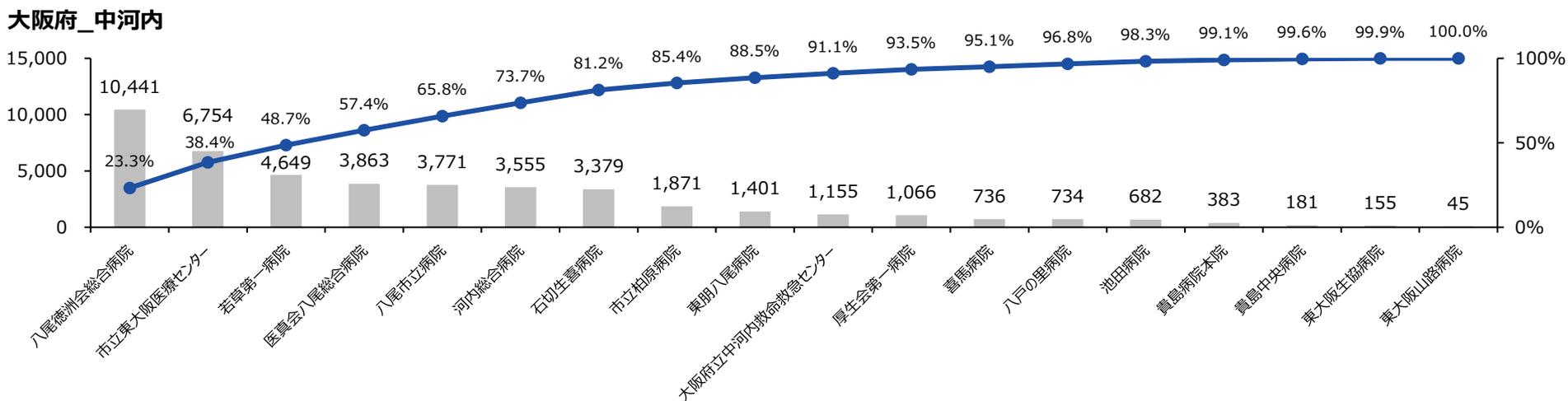
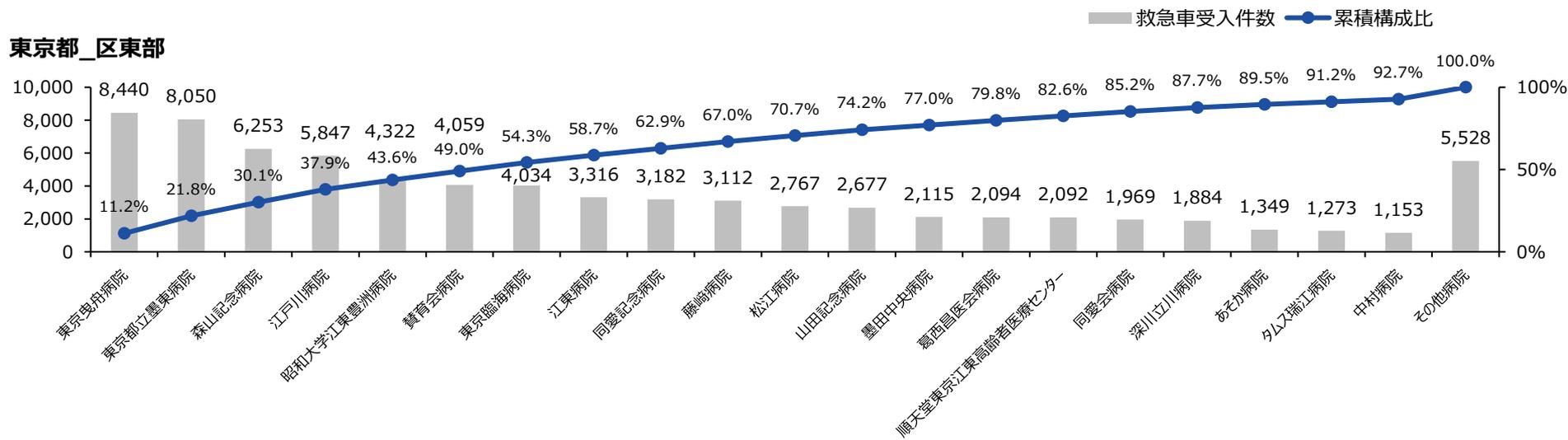


埼玉県_さいたま



救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



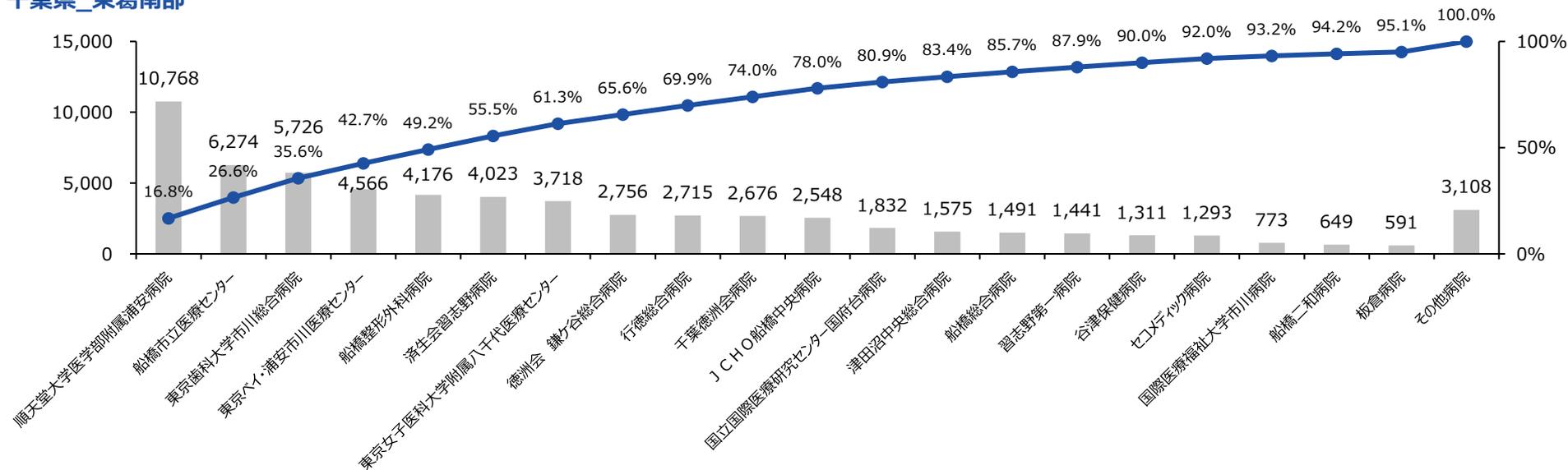
救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

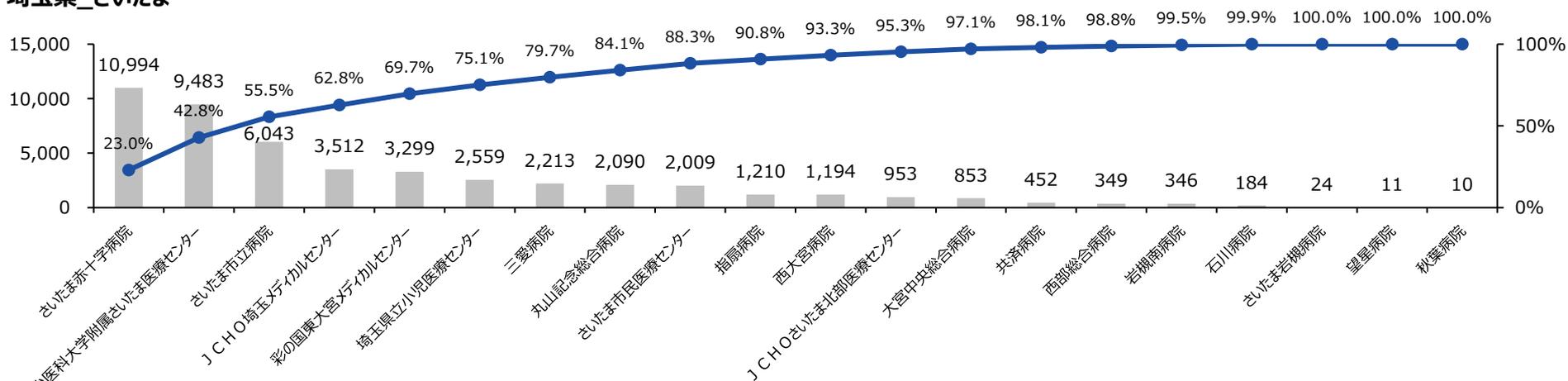
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 手術件数 ● 累積構成比

千葉県_東葛南部

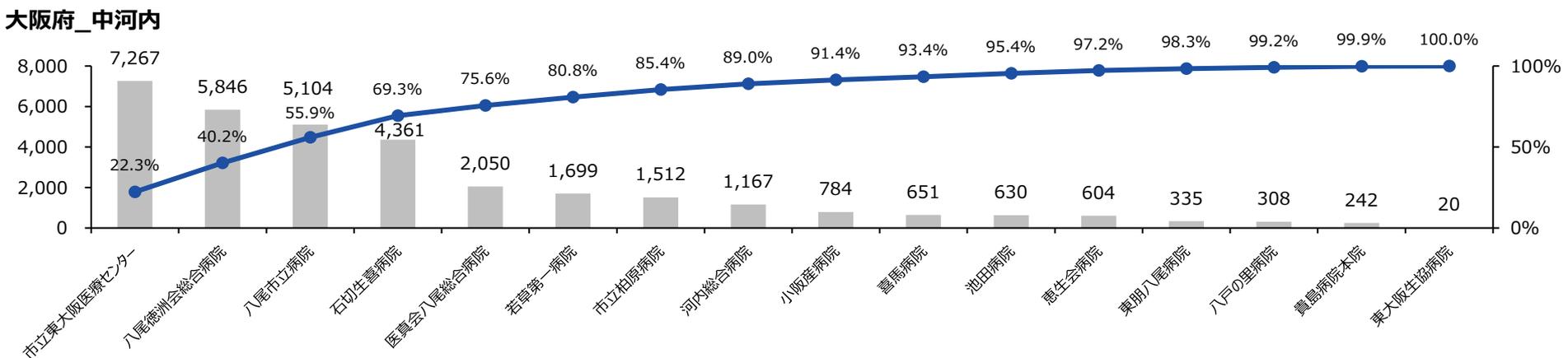
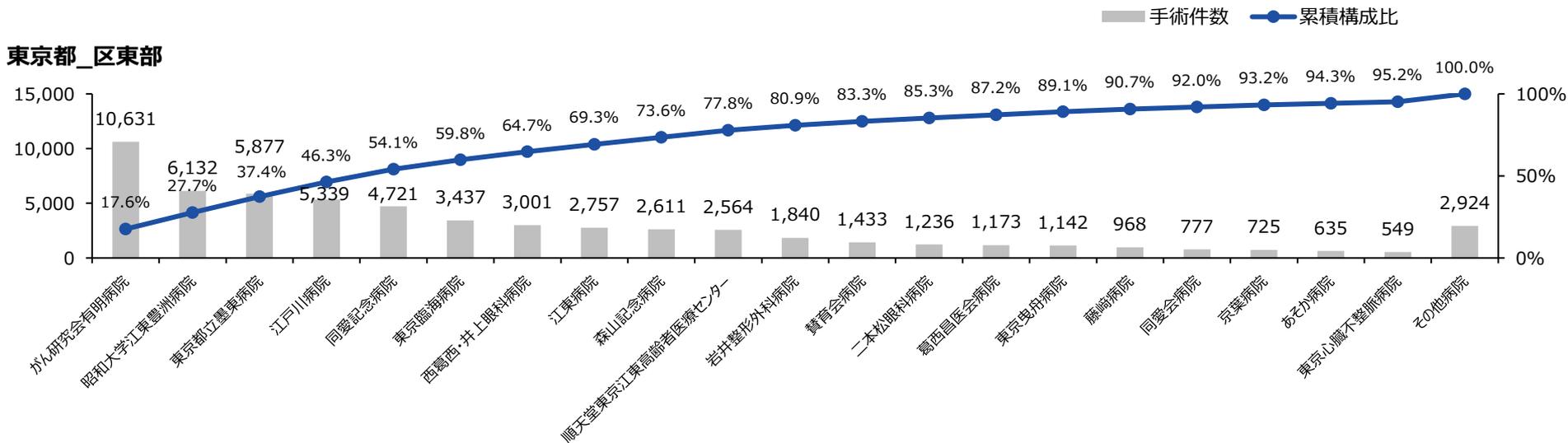


埼玉県_さいたま



救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



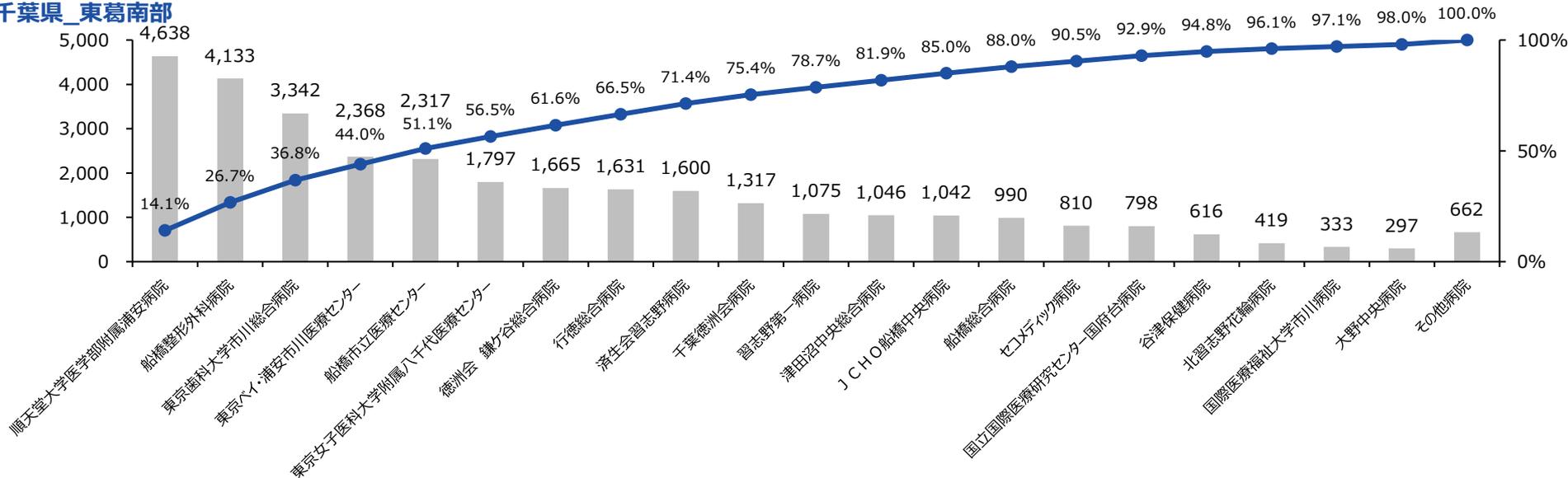
救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

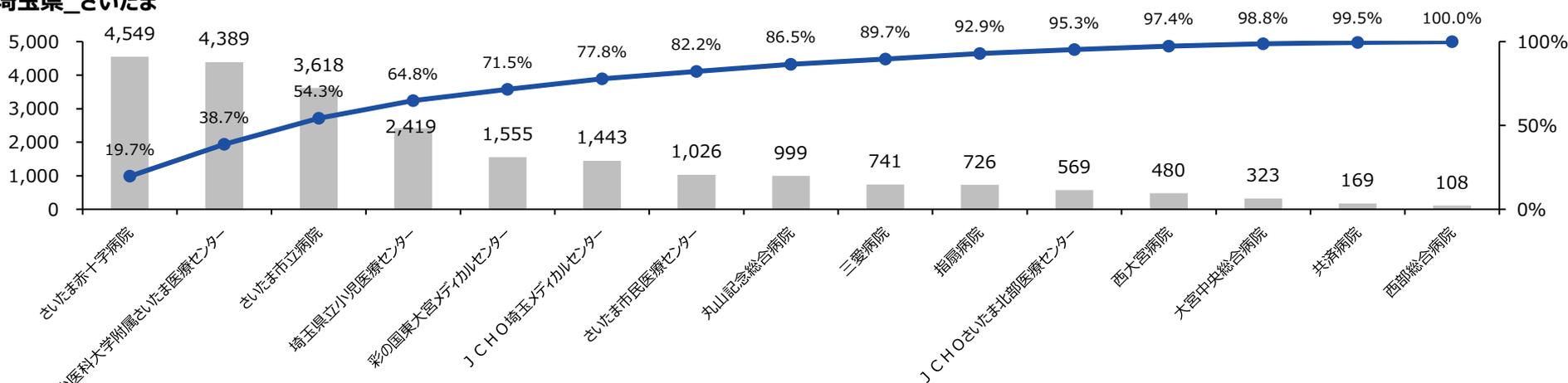
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 全身麻酔手術件数 ● 累積構成比

千葉県_東葛南部



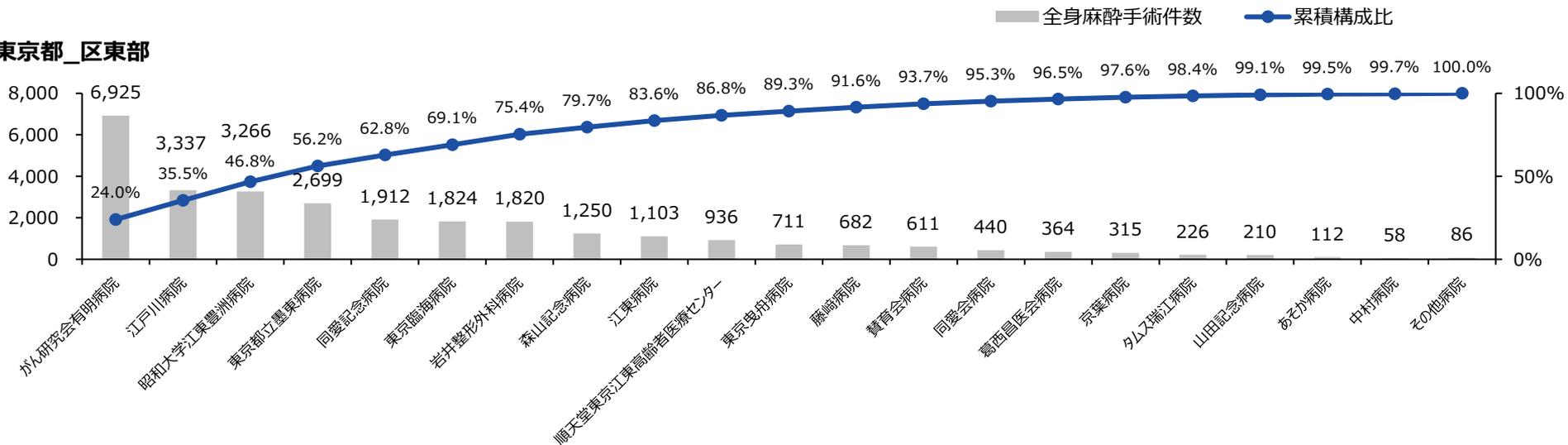
埼玉県_さいたま



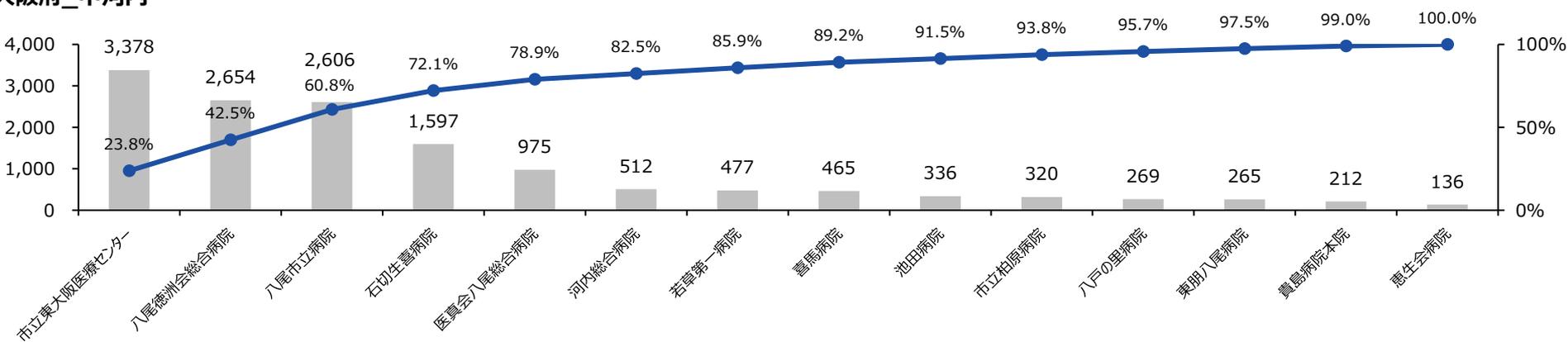
救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

東京都_区東部



大阪府_中河内



千葉県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	徳洲会 千葉西総合病院	東葛北部	特定	急性期1	620	100%	19,342	10.2	11.5
2	順天堂大学医学部附属浦安病院	東葛南部	特定	急性期1	785	100%	18,819	11.9	13.1
3	亀田総合病院	安房	特定	急性期1	865	94%	18,350	12.8	12.5
4	千葉大学医学部附属病院	千葉	大学	特定7対1	805	95%	17,583	10.9	10.2
5	総合病院国保旭中央病院	香取海匝	特定	急性期1	749	92%	17,129	12.1	11.8
6	成田赤十字病院	印旛	特定	急性期1	660	93%	13,214	12.3	11.0
7	君津中央病院	君津	標準	急性期1	622	94%	13,056	11.4	11.2
8	松戸市立総合医療センター	東葛北部	標準	急性期1	600	100%	11,696	11.6	11.8
9	船橋市立医療センター	東葛南部	特定	急性期1	429	96%	11,350	9.9	10.4
10	東京慈恵会医科大学附属柏病院	東葛北部	特定	急性期1	664	100%	11,307	12.8	12.1
11	国立がん研究センター東病院	東葛北部	特定	特定7対1	400	94%	11,263	10.3	10.7
12	国際医療福祉大学成田病院	印旛	大学	急性期1	435	94%	11,141	9.9	10.2
13	日本医科大学千葉北総病院	印旛	特定	急性期1	574	100%	11,103	12.6	11.8
14	東邦大学医療センター佐倉病院	印旛	標準	急性期1	380	100%	10,169	10.7	11.4
15	新東京病院	東葛北部	標準	急性期1	430	100%	9,828	12.2	12.2
16	千葉労災病院	市原	標準	急性期1	367	92%	9,728	11.1	11.2
17	東京歯科大学市川総合病院	東葛南部	特定	急性期1	511	100%	9,578	11.8	11.8
18	済生会習志野病院	東葛南部	標準	急性期1	400	100%	8,201	11.8	12.7
19	東京ベイ・浦安市川医療センター	東葛南部	特定	急性期1	344	100%	8,186	11.0	10.9
20	千葉メディカルセンター	千葉	標準	急性期1	346	100%	8,149	11.2	12.5
21	千葉県がんセンター	千葉	特定	専門7対1	351	87%	7,718	10.4	11.2
22	柏厚生総合病院	東葛北部	標準	急性期1	322	100%	7,708	11.6	12.0
23	NHO千葉医療センター	千葉	標準	急性期1	390	95%	7,532	11.6	12.0
24	東京女子医科大学附属八千代医療センター	東葛南部	標準	急性期1	500	100%	7,393	9.9	9.7
25	帝京大学ちば総合医療センター	市原	標準	急性期1	427	100%	7,308	12.9	12.8

千葉県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

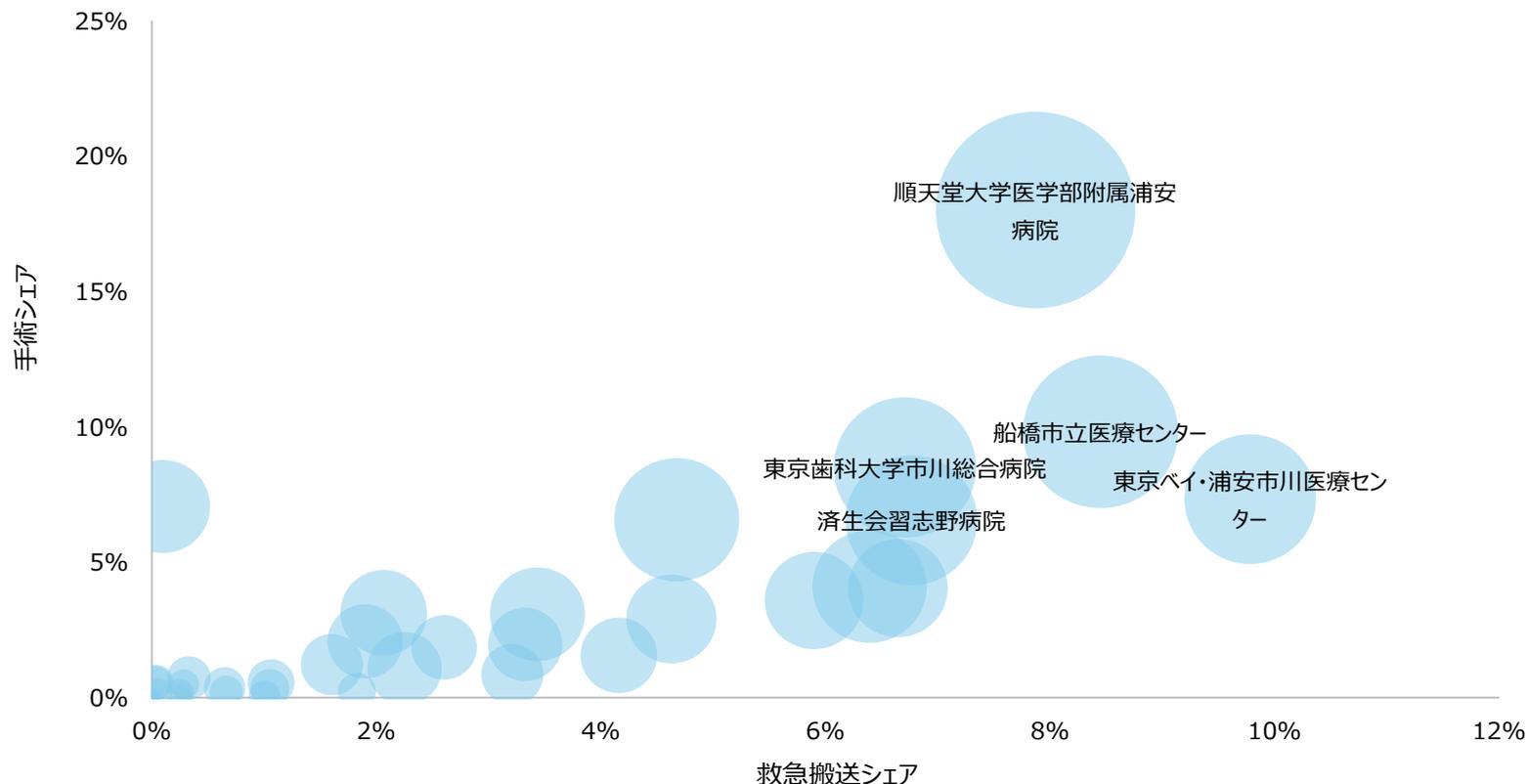
No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	千葉市立海浜病院	千葉	標準	急性期1	297	100%	7,220	8.8	9.7
27	新松戸中央総合病院	東葛北部	標準	急性期1	342	100%	6,534	15.2	12.9
28	千葉徳洲会病院	東葛南部	標準	急性期1	321	72%	6,190	14.7	14.3
29	千葉市立青葉病院	千葉	標準	急性期1	313	92%	5,901	13.1	12.0
30	聖隷佐倉市民病院	印旛	標準	急性期2	311	87%	5,226	13.8	13.4
31	東千葉メディカルセンター	山武長生夷隅	標準	急性期1	279	100%	5,190	13.1	11.9
32	おたかの森病院	東葛北部	標準	急性期1	240	85%	4,793	13.1	13.2
33	行徳総合病院	東葛南部	標準	急性期1	262	85%	4,689	13.3	12.9
34	徳洲会 鎌ヶ谷総合病院	東葛南部	標準	急性期1	272	82%	4,608	15.9	14.1
35	千葉中央メディカルセンター	千葉	標準	急性期1	212	78%	4,562	11.6	12.1
36	小張総合病院	東葛北部	標準	急性期2	350	100%	4,301	14.3	12.3
37	JCHO船橋中央病院	東葛南部	標準	急性期1	321	90%	4,259	15.3	13.1
38	船橋整形外科病院	東葛南部	標準	急性期1	106	100%	4,214	7.2	8.7
39	津田沼中央総合病院	東葛南部	標準	急性期1	206	66%	3,838	12.4	12.5
40	みつわ台総合病院	千葉	標準	急性期1	205	80%	3,741	12.9	13.3
41	国立国際医療研究センター国府台病院	東葛南部	標準	急性期2	204	59%	3,546	13.6	13.3
42	成田富里徳洲会病院	印旛	標準	急性期4	220	69%	3,402	15.7	14.0
43	千葉県こども病院	千葉	標準	急性期1	204	100%	3,219	10.4	10.2
44	安房地域医療センター	安房	標準	急性期1	149	100%	2,826	15.6	15.0
45	セコメディック病院	東葛南部	標準	急性期1	207	73%	2,772	14.8	14.0
46	四街道徳洲会病院	印旛	標準	急性期4	185	84%	2,726	14.5	15.4
47	千葉県循環器病センター	市原	標準	急性期1	207	100%	2,721	14.2	14.8
48	船橋総合病院	東葛南部	標準	急性期1	150	61%	2,679	10.8	12.0
49	東葛病院	東葛北部	標準	急性期1	228	62%	2,658	13.2	12.1
50	谷津保健病院	東葛南部	標準	急性期2	148	64%	2,613	11.1	11.2

千葉県 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）③

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
51	船橋二和病院	東葛南部	標準	急性期1	141	52%	2,605	8.6	10.5
52	山王病院	千葉	標準	急性期4	216	90%	2,588	13.8	13.6
53	さんむ医療センター	山武長生夷隅	標準	急性期1	99	51%	2,221	6.9	8.6
54	キッコーマン総合病院	東葛北部	標準	急性期1	83	64%	1,714	10.2	10.0
55	千葉県立佐原病院	香取海匝	標準	急性期1	99	69%	1,597	10.9	11.1
56	千葉愛友会記念病院	東葛北部	標準	急性期1	88	40%	1,486	8.2	8.7
57	井上記念病院	千葉	標準	急性期4	69	40%	1,382	6.9	8.6
58	塩田記念病院	山武長生夷隅	標準	急性期4	109	100%	1,260	19.0	15.6
59	JCHO千葉病院	千葉	標準	急性期2	108	68%	1,226	10.2	9.2
60	千葉脳神経外科病院	千葉	標準	急性期1	73	75%	1,175	12.9	10.7
61	平和台病院	東葛北部	標準	急性期4	86	47%	1,038	13.2	10.6
62	おゆみの中央病院	千葉	標準	急性期4	50	29%	772	12.4	11.8
63	東葛クリニック病院	東葛北部	標準	急性期4	48	51%	767	13.9	12.6
64	我孫子聖仁会病院	東葛北部	標準	急性期1	70	42%	679	17.7	14.0
65	北総白井病院	印旛	標準	急性期2	53	34%	361	14.3	12.9

東葛南部医療圏 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

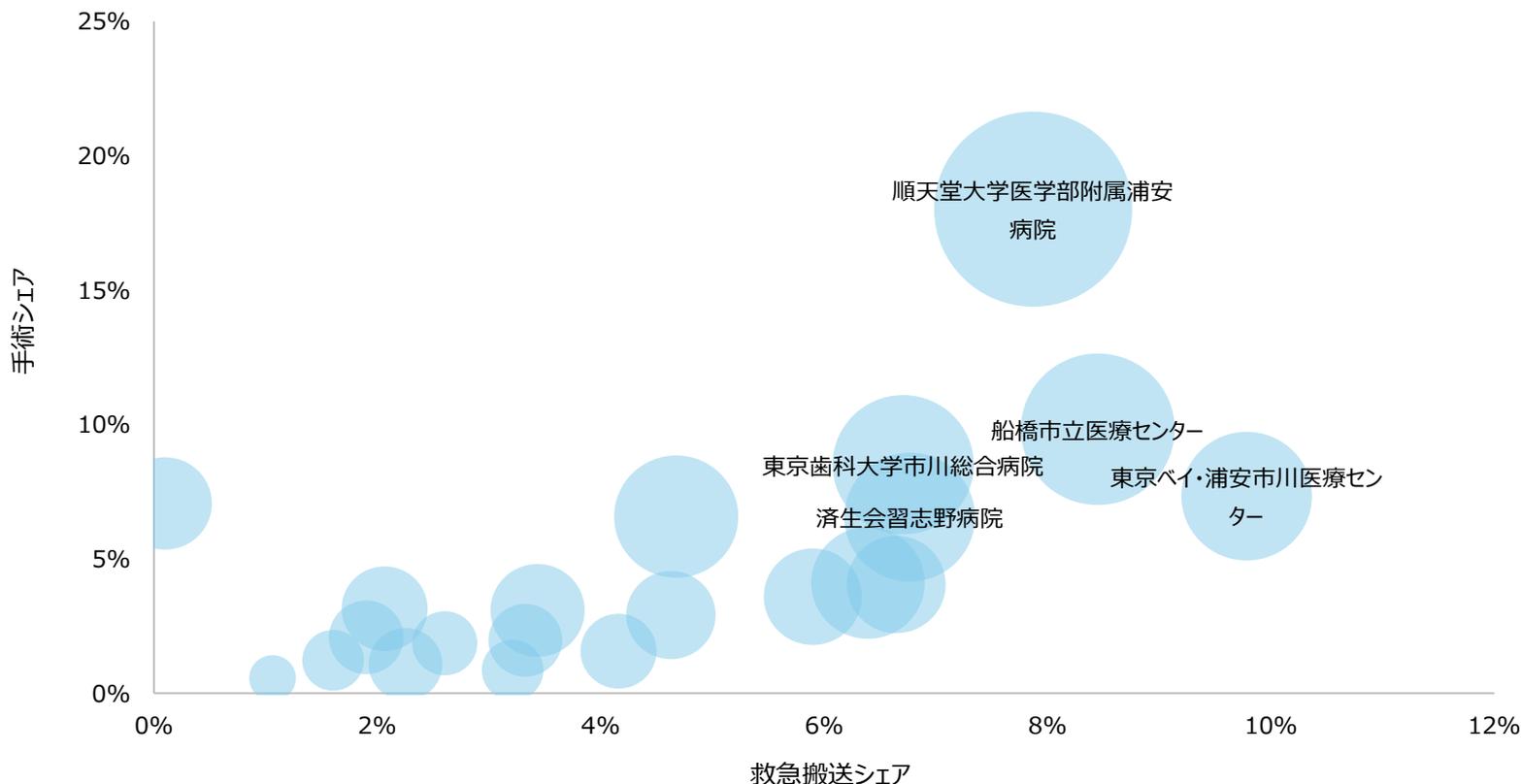
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

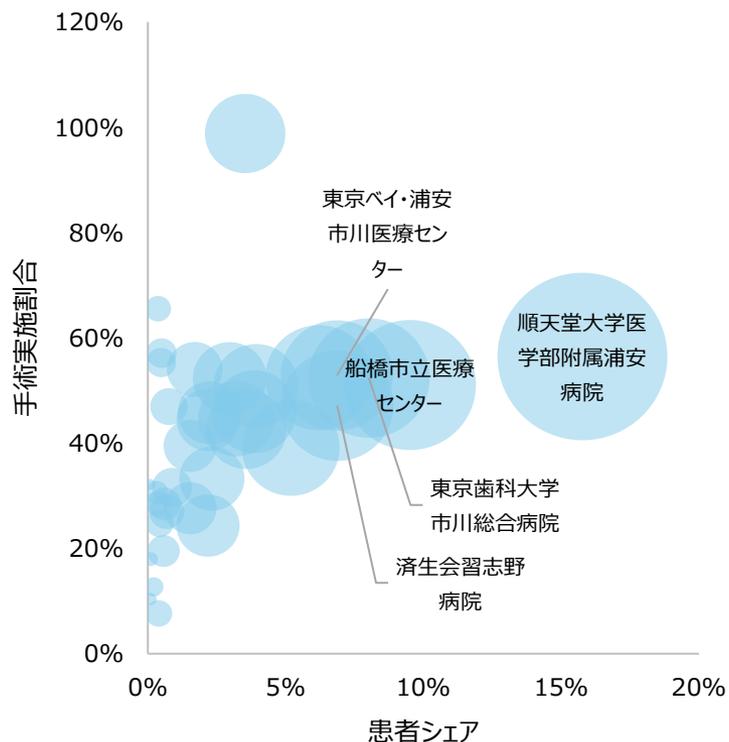


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

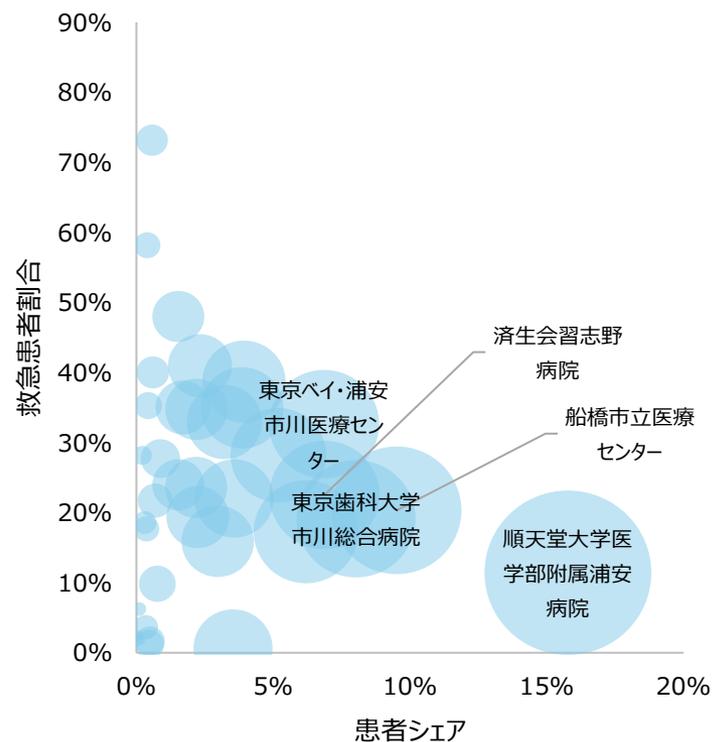
東葛南部医療圏 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

手術実施割合×患者シェア



救急患者割合×患者シェア

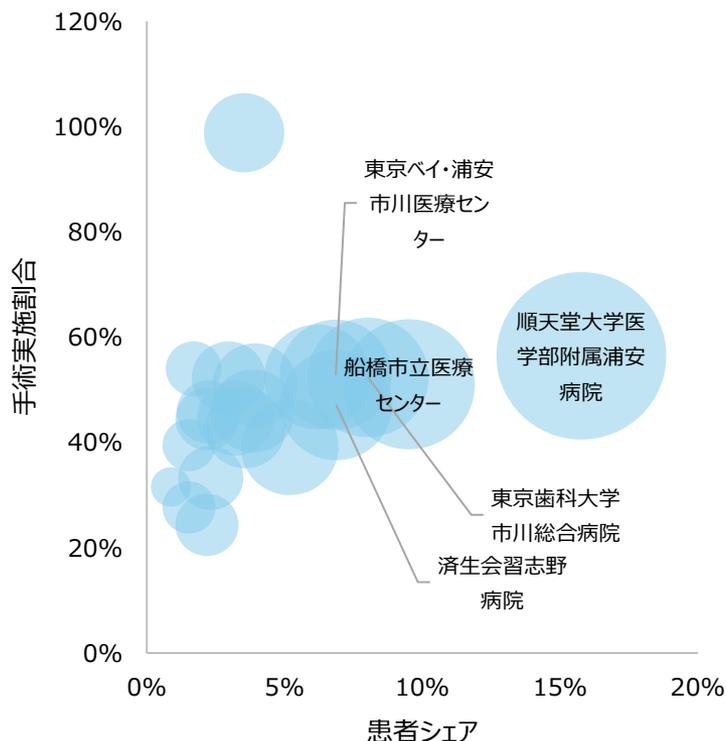


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

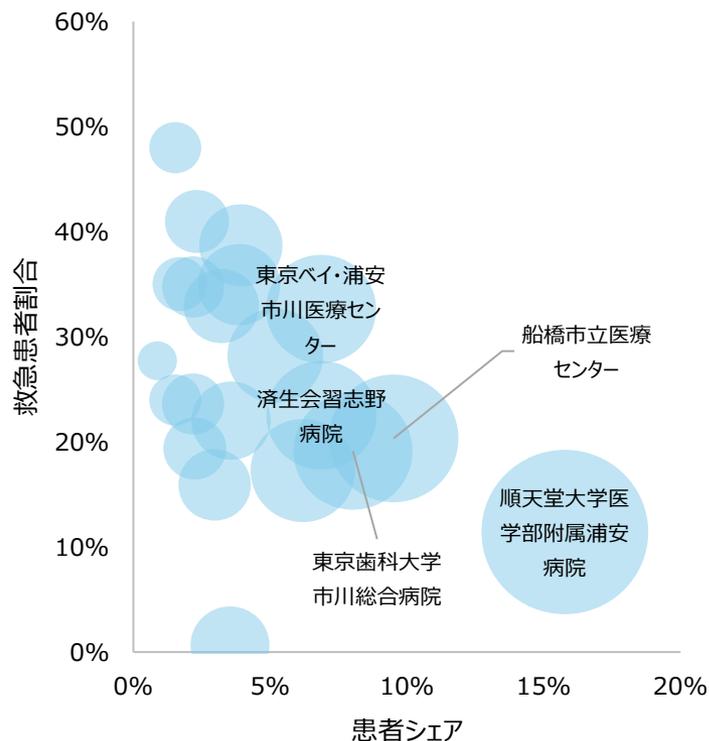
DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア（退院患者数1000人以上の病院）

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

手術実施割合×患者シェア



救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」